

障害者計画及び障害福祉計画策定に係る市民アンケート調査

集計結果

帯広市

令和5年5月

第1章 アンケート調査の概要	1
1. アンケート調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査回答結果	1
第2章 アンケート調査結果集計・分析	2
1. 集計方法	2
2. ①市民意識調査	3
（1）市民意識調査結果集計表	3
（2）第三期障害者計画調査結果比較表	14
（3）市民意識調査結果分析	17
3. ②障害のある人向け調査	22
（1）障害のある人向け調査結果集計表	22
（2）第三期障害者計画と第六期障害福祉計画結果比較表	68
（3）障害のある人向け調査結果分析	73
4. ③お世話をしている人（ケアラー）向け調査	86
（1）お世話をしている人（ケアラー）向け調査結果集計表	86
（2）お世話をしている人（ケアラー）向け調査結果分析	98

第1章 アンケート調査の概要

1. アンケート調査の目的

本調査は、帯広市が第四期帯広市障害者計画及び第七期帯広市障害福祉計画の策定に向け、市民の福祉サービスの利用状態や福祉に関する意識、意向などを把握し、施策の検討に活用することを目的として、市民アンケートを行ったものである。

2. 調査対象及び調査方法

調査期間：令和4年11月28日～令和5年1月6日

対象者：①帯広市内に居住する市民（18歳以上80歳未満）	250件
②帯広市内に居住する障害のある人及び障害のある児童	750件
③お世話をしている人（ケアラー）※②に同封	750件

実施方法：郵送及び関係機関・事業所から配布（返信用封筒同封）

①市民についてはWEB回答可

3. 調査回答結果

回答数：536件（①85件、②299件、③152件）

回答率：30.6%（①34%、②39.9%、③20.3%）

第2章 アンケート調査結果集計・分析

1. 集計方法

「②障がいのある人」の回答者のうち、0歳～17歳を「児童」と分類、18歳以上は所持手帳の種類によって「身体」「知的」「精神」、二種類以上の手帳所持者は「重複」と分類した。三種類全ての所持手帳について、「持っていない」もしくは「無回答」の場合は回答内容にて判断し分類した。各障害の件数は以下の通りである。

身体	66	22.1%
知的	99	33.1%
精神	53	17.7%
重複	41	13.7%
児童	39	13.0%
無回答	1	0.3%
合計	299	100.0%

また、「③お世話をしている人」について、同封されてきた「②障害のある人」の回答者の分類にしたがって以下のように分類した。「③お世話をしている人用」の回答のみ単独で提出された場合は、「不明」と分類した。

身体	31	20.4%
知的	41	27.0%
精神	11	7.2%
重複	19	12.5%
児童	38	25.0%
無回答	1	0.7%
不明	11	7.2%
合計	152	100.0%

2. ①市民意識調査
 (1) 市民意識調査結果集計表

1. あなたのことについて

問1 あなたの年齢を教えてください。

1	18-19歳	1	1%
2	20-24歳	5	6%
3	25-29歳	2	2%
4	30-34歳	4	5%
5	35-39歳	6	7%
6	40-44歳	9	11%
7	45-49歳	7	8%
8	50-54歳	11	13%
9	55-59歳	5	6%
10	60-64歳	10	12%
11	65歳以上	25	29%
0	無回答	0	0%
合計		85	100%

2. 生活環境について

問2 あなたがお住まいの地域は、障害のある人が生活する上で環境が整っていると思いますか。

①外出先などで困っているとき、周囲の人の手伝いを受けられる

1	そう思う	18	21%
2	思わない	27	32%
3	どちらともいえない	39	46%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

②困りごとや悩みを安心して相談できるところが身近にある

1	そう思う	17	20%
2	思わない	36	42%
3	どちらともいえない	32	38%
0	無回答	0	0%
合計		85	100%

③身の回りの用事や家事を手伝ってくれるサービスを受けられ、ひとり暮らしになっても不安を感じない

1	そう思う	9	11%
2	思わない	31	36%
3	どちらともいえない	44	52%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

④趣味を楽しむ、同じ障害や疾病の人々と過ごす場所が身近にある

1	そう思う	12	14%
2	思わない	34	40%
3	どちらともいえない	36	42%
0	無回答	3	4%
合計		85	100%

⑤道路や施設が安全で、外出しても事故やけがなどの心配がない

1	そう思う	15	18%
2	思わない	37	44%
3	どちらともいえない	32	38%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

⑥災害が発生しても、安全に避難できる

1	そう思う	22	26%
2	思わない	27	32%
3	どちらともいえない	34	40%
0	無回答	2	2%
合計		85	100%

⑦人に騙されたり、ものを奪われたりする不安がない

1	そう思う	17	20%
2	思わない	30	35%
3	どちらともいえない	37	44%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

⑧安心して暮らし続けられる住まいがある

1	そう思う	39	46%
2	思わない	6	7%
3	どちらともいえない	38	45%
0	無回答	2	2%
合計		85	100%

⑨障害のある児童も地域の学校や保育所等に通うことができる

1	そう思う	35	41%
2	思わない	7	8%
3	どちらともいえない	38	45%
0	無回答	5	6%
合計		85	100%

⑩障害や疾病に配慮した教育が受けられる

1	そう思う	26	31%
2	思わない	10	12%
3	どちらともいえない	46	54%
0	無回答	3	4%
合計		85	100%

⑪障害の有無にかかわらず、職場を選ぶことができる

1	そう思う	6	7%
2	思わない	34	40%
3	どちらともいえない	43	51%
0	無回答	2	2%
合計		85	100%

⑫同じ仕事であれば障害の有無にかかわらず対等に評価される

1	そう思う	9	11%
2	思わない	32	38%
3	どちらともいえない	42	49%
0	無回答	2	2%
合計		85	100%

⑬仕事に必要な技術や知識を学ぶことができる

1	そう思う	24	28%
2	思わない	13	15%
3	どちらともいえない	44	52%
0	無回答	4	5%
合計		85	100%

⑭住んでいる地域で必要な医療を受けられる

1	そう思う	45	53%
2	思わない	8	9%
3	どちらともいえない	31	36%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

⑮自分にあたりハビリテーションを行うことができる

1	そう思う	23	27%
2	思わない	8	9%
3	どちらともいえない	53	62%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

⑯通勤、通学または買い物などで外出するための移動手段が充実している

1	そう思う	20	24%
2	思わない	41	48%
3	どちらともいえない	23	27%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

⑰一時保育やファミリーサポートの利用など子育て支援を受けられる

1	そう思う	18	21%
2	思わない	14	16%
3	どちらともいえない	50	59%
0	無回答	3	4%
合計		85	100%

問3 日ごろ障害のある人と会話をすることはありますか。

(いずれか1つに○)

1	よく会話をする	5	6%
2	たまに会話をする	13	15%
3	挨拶をする程度で会話をするほどではない	6	7%
4	会話をするのではない	10	12%
5	日ごろ接することがない	50	59%
6	その他	0	0%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

問4 あなたは障害のある人が困った様子でいるときに手伝いをしますか。
(いずれか1つに○)

1	なるべく積極的に手伝いをしている	23	27%
2	求められれば手伝いをしている	27	32%
3	これまでに機会がない	28	33%
4	手伝いをしようと思うが行動に移すことができない	4	5%
5	特に何もしない	2	2%
6	その他	1	1%
0	無回答	0	0%
合計		85	100%

問5 〈問4で4または5と回答された方〉
手伝いができない・しない理由について教えてください。(いくつでも○)

1	どのように接したらよいかわからないから	3	33%
2	何を手伝えればよいかわからないから	1	11%
3	お節介になるような気がするから	3	33%
4	専門の人や関係者に任せたほうがよいと思うから	1	11%
5	自分にとって負担になるような気がするから	0	0%
6	特に理由はない、理由はわからない	0	0%
7	その他	1	11%
合計		9	100%

3. 福祉に関する情報について

問6 市の取り組みや市役所への手続きなどの障害福祉に関する情報について十分に伝わっていると思いますか。(いずれか1つに○)

1	そう思う	9	11%
2	どちらともいえない	46	54%
3	そう思わない	30	35%
0	無回答	0	0%
合計		85	100%

問7 障害福祉に関する情報が十分に伝わるために充実させた方がよいものは何ですか。(いくつでも○)

1	テレビやラジオでの周知	36	13%
2	広報おびひろや市が発行するパンフレット・チラシによる周知	53	20%
3	インターネットやSNS (LINE、ツイッターなど) の活用	32	12%
4	講演会や説明会、イベントなど、情報提供の機会を増やす	26	10%
5	点字や音声での情報提供	15	6%
6	手話通訳や要約筆記通訳の利用	11	4%
7	音声認識アプリなどを活用した文字での情報提供	16	6%
8	文章にふりがなやイラストをつけるなどわかりやすくする	23	9%
9	様々な情報が集約されたワンストップ窓口がある	29	11%
10	気軽に聞ける人が身近な地域にいる	26	10%
11	その他	3	1%
合計		270	100%

4. ノーマライゼーション・障害のある人への理解について

問8 ノーマライゼーションという考え方がありますが、あなたの身の回りでその考え方が浸透していると思いますか。(いずれか1つに○)

1	そう思う	8	9%
2	どちらともいえない	38	45%
3	思わない	39	46%
0	無回答	0	0%
合計		85	100%

問9 障害のある人に対する差別や偏見を感じることはありますか。(いずれか1つに○)

1	あると思う	17	20%
2	少しはあると思う	50	59%
3	ないと思う	10	12%
4	わからない	8	9%
0	無回答	0	0%
合計		85	100%

問10 〈問9で1または2と回答された方〉
実際に「ある」と感じた事柄について教えてください。(いくつでも○)

1	嫌がることを言う、嫌がらせをする	11	7%
2	じろじろと見る、もの珍しい目で見る	46	31%
3	できないことをさせようとする	10	7%
4	暴力をふるう	3	2%
5	かわりを避ける、仲間はずれにする	24	16%
6	施設や店舗などの利用を断る、制限する	5	3%
7	障害のある、なしで待遇に差をつける	11	7%
8	過剰な気遣いや価値観を押しつける	16	11%
9	障害のある人をひと括りにして個人を見ない	22	15%
10	その他	2	1%
合計		150	100%

問11 平成28年から障害者差別解消法が施行されたことで変化を感じますか。(いくつでも○)

1	差別と思われる行為が減った、なくなった	9	8%
2	差別について話題になるようになった	7	7%
3	差別と思うようなことを相談できるようになった	3	3%
4	合理的な配慮について考えてもらえるようになった	4	4%
5	合理的な配慮を受けられるようになった	2	2%
6	障害のある人の人権が守られるようになった	11	10%
7	はっきりと分からないが、何となく変化を感じる	18	17%
8	変化を感じない	32	30%
9	わからない	20	19%
合計		106	100%

問12 あなたの身の回りでは障害や障害のある人への合理的配慮があると感じますか。(いずれか1つに○)

1	ある	12	14%
2	どちらともいえない	60	71%
3	ない	12	14%
0	無回答	1	1%
合計		85	100%

問13 障害者週間記念事業をご存じですか。
(いずれか1つに○)

1	参加または会場に足を運んだことがある	0	0%
2	知っているが参加または会場に足を運んだことはない	9	11%
3	知らない	74	87%
0	無回答	2	2%
合計		85	100%

問14 福祉のひろばをご存じですか。(いずれか1つに○)

1	利用したことがある	6	7%
2	どこにあるか知っているが利用したことはない	6	7%
3	聞いたことがある程度で利用したことはない	23	27%
4	知らない	47	55%
0	無回答	3	4%
合計		85	100%

問15 ヘルプマーク、ヘルプカードをご存じですか。(いずれか1つに○)

1	知っており、利用している人を手伝ったことがある	3	4%
2	知っており、利用している人を見たことがあるが、手伝ってはいない	8	9%
3	知っている(聞いたことがある)が、利用している人を見たことはない	30	35%
4	知らない	41	48%
0	無回答	3	4%
合計		85	100%

問16 帯広市手話言語条例をご存じですか。(いずれか1つに○)

1	条例を知っており、手話を見かけたり使ったことがある	0	0%
2	条例を知っているが、手話を見かけたり使ったことはない	6	7%
3	条例を知らないが、手話を見かけたり使ったことがある	12	14%
4	条例を知らないし、手話を見かけたり使ったことはない	64	75%
0	無回答	3	4%
合計		85	100%

5. 社会的な障壁について

問17 帯広市において、次の障壁はあると感じていますか。

①物理的な障壁

1	感じている	50	59%
2	感じていない	7	8%
3	どちらともいえない	24	28%
0	無回答	4	5%
合計		85	100%

②制度的な障壁

1	感じている	26	31%
2	感じていない	10	12%
3	どちらともいえない	43	51%
0	無回答	6	7%
合計		85	100%

③文化・情報面の障壁

1	感じている	21	25%
2	感じていない	10	12%
3	どちらともいえない	48	56%
0	無回答	6	7%
合計		85	100%

④意識上の障壁

1	感じている	26	31%
2	感じていない	12	14%
3	どちらともいえない	41	48%
0	無回答	6	7%
合計		85	100%

6. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問18 帯広市は障害のある人もない人も住みやすいまちだと思いますか。
(いずれか1つに○)

1	そう思う	7	8%
2	少し思う	17	20%
3	どちらともいえない	25	29%
4	あまり思わない	13	15%
5	思わない	5	6%
6	わからない	16	19%
0	無回答	2	2%
合計		85	100%

問19 「進んでいる」または「ある程度進んでいる」と思うもの

(回答は5つまで)

1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	12	7%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	3	2%
3	地域で生活するための支援の充実	14	8%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	9	5%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	11	6%
6	入所施設や病院の充実	23	14%
7	就労支援の充実	16	9%
8	障害を早期発見し、適切な支援が受けられること	15	9%
9	障害のあるなしにかかわらず、市民がふれあう場の提供	8	5%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	14	8%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	11	6%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	3	2%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	5	3%
14	悩みや福祉に関わるサービスなどについての相談体制の充実	4	2%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	3	2%
16	ボランティアの育成・確保	3	2%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	4	2%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	2	1%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	5	3%
20	福祉機器を普及・開発すること	1	1%
21	その他	4	2%
合計		170	100%

問20 「今後重点的に進めるべき」と思うもの（回答は5つまで）

1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	24	8%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	25	8%
3	地域で生活するための支援の充実	25	8%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	23	8%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	14	5%
6	入所施設や病院の充実	21	7%
7	就労支援の充実	17	6%
8	障害を早期発見し、適切な支援が受けられること	17	6%
9	障害のあるなしにかかわらず、市民がふれあう場の提供	7	2%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	10	3%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	8	3%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	12	4%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	18	6%
14	悩みや福祉に関わるサービスなどについての相談体制の充実	10	3%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	13	4%
16	ボランティアの育成・確保	10	3%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	14	5%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	8	3%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	10	3%
20	福祉機器を普及・開発すること	8	3%
21	その他	2	1%
	合計	296	100%

2. ①市民意識調査

<その他記載>

2. 生活環境について

問4 あなたは、障害のある人が困った様子でいるときに手伝いをしますか。

40～44歳 手伝いをしたくても助けたくても個々の障害はさまざまなので知識がないので躊躇してしまう。

問5 手伝いができない・しない理由

60～64歳 腰痛のため自分のことで精一杯である。

3. 福祉に関する情報について

問7 障害福祉に関する情報が十分に伝わるために、充実させた方がよいものは何ですか。

45～49歳 障害者に確認すること。他の市町村から比較すると充実はしていないと感じます（主観ですが…）。

50～54歳 町内会に入っていない人にも広報おびひろを配る。

25～29歳 学校や学童、スーパー等生活に関わる場所で分かりやすく窓口の連絡先が載ったポスター等で情報を発信する必要があるかと思っています。

4. ノーマライゼーション・障害のある人への理解について

問10 障害のある人に対する差別や偏見を感じること あると感じた事柄

50～54歳 多少行動を見てしまう。

40～44歳 生活をしていくうえで、全く同じとはならないと思うから。

問15 ヘルプマーク、ヘルプカード 知っており利用している人を見たことがあるが手伝ってはいない理由

40～44歳 助けを求められたりしたことがない。

60～64歳 利用している人から手伝いを求められたことがないから。

50～54歳 何の障害をもっているか分かりづらい。

40～44歳 見かけただけだから。

30～34歳 姉がヘルプマークを持っている。

6. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問19 「進んでいる」または「ある程度進んでいる」と思うもの

55～59歳 わからない。

20～24歳 わからない。

問20 「今後重点的に進めるべき」と思うもの

50～54歳 行政としての発信が乏しく伝わってこない。

20～24歳 わからない。

<自由記載>

問21 障害福祉や行政の取り組みについてご意見ご要望

65歳以上	障害ということにつき今回改めて考えさせられました。情報等も更に充実させて重要性をもっと広く浸透させて行く必要があると思います。
40～44歳	このようなアンケート調査をすることにより帯広市での取り組みなどがわかり勉強になった。私も身の回りでも障がいをもった人はおらずもっと知識などを広げて少しでも助けたり支えたりしていきたいと思った。障がいのあ・なしで差別をしてはいけない！生まれつきまたは事故でそうになってしまうので。
65歳以上	身近に障害者の方が居ないためアンケート内容についても考えさせられました。私のまわりには車イスを使っている人は少くありません。車イスで外出できる様な歩道、施設など環境が必要だと思っています。
50～54歳	私の母親が養護学校で長年パートしていたので何となく慣れていましたが、数年前突然自宅に見ず知らずの障害者が入って来ました。警察官を呼び、帰ってもらいましたが、どこの誰だかわからないまま過ぎました。その時対応を一步まちがえるとパニックを起こしやすいのが障害者です。そのあと1人で歩いていたのを見かけました。そういった事がないように行政に管理してもらいたいと思います。
30～34歳	もっと知る機会があればなと思います。（市のYouTubeや広報誌、チラシやパンフレット、SNS等で老若男女に発信する機会を増やす。）コミュニケーションの場をもうける。（説明会）介護をする側の支援を手厚くしてほしい。これからの時代介護される人よりする人の方が多くなると思うので、切実をお願いします。
50～54歳	行政として取り組んでいるだろうとは思っているものの、身近に障害者がいないのもあり、伝わってこない。今まで住んでいた地域と比べると障害福祉に関わらず、発信力が低く感じ、行政の取り組みが見えないので残念。広報誌の月1回発行というのにも驚きでした。障害者については、人格と個性を尊重し、支え合うことは大切だと感じるが、障害者本人が権利ばかりを主張し、自分本位な方もいるので、あくまで個々を尊重し、支え合うという意識も必要だと感じる場面がある。

45～49歳	個人的に帯広市は良い街です。（第1次産業が発展してます）ただ福祉関係は他の市町村に劣っていると感じてます。転勤族で色々な街を見て来ましたが苫小牧市は進んでいた様に思います。（貧乏な街で空港や港から他者が入りやすい？）市の財政に比例していると個人的に考えます。帯広は全道で1番の街です。老後はこの街に住みたいと思います。
40～44歳	市外から転勤してきたのですが、ずっと手話をやっていて、こちらでも習いたいと思った時に、「どこに行けば手話サークルの情報が得られるのか」が分からず今に至っています。転居した際のおたよりの書類の中に入れるとか、図書館や市の広報、小中学校の配布物に入れるとか、市も公認している形でPRしていくと手話以外でももっと福祉について広められると思います。障害のある人の就職についても、今後労働不足が懸念される中、どこに気を付ければよいか分かれば、もっと身近に雇うことができるのに、と思っています。障害を1つの個性としてとらえることのできる世の中になれば良いと思っています。頑張ってください。
40～44歳	医療的ケアが必要な子ども達への支援がまだまだ必要だと思います。放課後支援など受け皿が少なく困り感を抱いているという話をよく聞きます。
60～64歳	障害のある人により良い社会になってほしいと思います。
65歳以上	帯広は冬の歩道の凍結が危険で、障害者の外出のさまたげになるのではないかと。これは障害者ばかりでなく、老人一般にも当てはまる。少しでも滑らなくなるような対策を望みます。
60～64歳	アンケートに答えていて、自分が障害のある人と接することがほとんどないということがわかりました。私自身、あまり活動的ではありません。けれど障害が自分に無関係だとは決して思いません。困ったときには相談ができ、安心して助けてもらえる制度があるのだと思っています。
60～64歳	身近に障害のある方がいらっしやらない（身内にも）ので、アンケートの回答があやふやになってしまいました。（すみません）小さな頃から小学、中学、高校と道徳教科に変わる障害のある方と一緒に手話であったり、点字や車いす体験など勉強（学べる場）できると良いと思います。私、中学校時代に道徳の授業があったのですが、授業の後かならず原稿用紙に感想文を書かされました。内容は決まっていた、良い子優しい子の模範解答で、身についたものはその程度のずい答えでした。なので、小さな時からあたり前に身近に障害のある方と一緒に学べ、一緒に笑い、一緒に運動する場があれば何も特別な場所をもうけなくても良いのですよ。あたり前にする環境作りを希望します。
65歳以上	自閉症の障がい者にある程度特化した施設を早く造ってほしい。札幌の施設をモデルにした施設、グループホーム、作業所が帯広、十勝には必要です。
65歳以上	特にありません。
65歳以上	帯広に住んで50年以上になります。今、住宅が程んどでしたが、当時は今考えられません。当時又、30年前頃から福祉も少しずつ変わり、高齢者が少しずつ住みづらい市になってきてます。それは年金の額では生活が成り立たない事、福祉施設は家族の負担が多いし、国保で病院は国民年金ではキツイです。また帯広市の高齢者が入所出来る所も少なく介護度で入所はとっても難しいですね。税金の使い方でも以前から思ってたが道路囲いの草刈り一現場に10人以上で少ししかない草に暇潰しのような行動中央分離帯に草が生える造り毎年雑草が生える様に仕事を増やしてる様に見えます。歩道端の大きくなるツツジ、松、他は交差点付ききは事故の元です。又この時期バス路線での交差点で右折車が停止すると直進出来ない所多い。必ず二車線は除雪してほしいです。
40～44歳	社会における各企業への積極的採用を行っていただく取り組み。これにより障害者の働く社会も広がるし、障害者への理解も通常の人達がより考え方も変わるきっかけになると思います。障害者と近い存在の人は、理解・協力もありますが、それ以外の人達への意識も高くなると思われます。
25～29歳	このアンケートに関してしまして、第2問等、障害がない人間が、騙されたり、ものを奪われる不安がない など聞かれても解らない事が多々あり、適してないと感じます。また、身体障がい者に関する質問が多く、精神障害者に関する事が少ないかと。障害は身体だけでなく精神障害者の家族への支援も必要なため、そういった項目も必要かと。
40～44歳	障害をもっているのかよくわからなかったり、グレーゾーンと言われる小、中学生がいる場合、すぐに検査や相談できるような場所がほしい。病院は半年や1年待ち、児相も数ヶ月待ち状態。 また、そのような子どもが、クラスで浮かないように、みんなの特性を認め合える学校づくりや環境づくりを、子どもたちだけでなく、各家庭にも伝わりやすいような政策があるといいと思います。
30～34歳	障害のある方の施設などの充実と施設の職員に対する研修や給料面での補助が必要と感じます。障害者福祉だけでなく、老人施設の職員に対する給料面の補助や勤務改善なども必要と感じますし早急に対応すべき問題だと思います。

25～29歳	<p>学校で親が希望すれば普通のクラスに通うことができるようですが、それは実際子供のためになっていないと感じることが多々あります。</p> <p>子どもの能力に合ったペースで、かつそのような教え方を学んだ人材がサポートすべきだと思います。</p> <p>特に中学校など学力の差が開きやすい年代ではなおさらそう感じます。</p>
45～49歳	<p>これまで勤めてきた職場で、障害のある方と一緒に仕事をする機会が無かった。そのような機会があれば、どんな考えや行為が差別なのか、手助けするとはどういうことなのか、受け入れるとはどういうことなのか、深く考えて、沢山の経験になっただろうと思う。一般の企業で障害のある方が当たり前のようにいて、当たり前で協力しあって仕事をするという環境が整っていったら良いと思う。</p>

2. ①市民意識調査

(2) 第三期障害者計画調査結果比較表

2. 生活環境について

問3 日ごろ障害のある人と会話をすることはありますか。

(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	よく会話をする	5	6%	8	8%
2	たまに会話をする	13	15%	17	18%
3	挨拶をする程度で会話をするほどではない	6	7%	12	12%
4	会話をすることはない	10	12%	6	6%
5	日ごと接することがない	50	59%	49	51%
6	その他	0	0%	4	4%
0	無回答	1	1%	1	1%
合計		85	100%	97	100%

問4 あなたは障害のある人が困った様子でいるときに手伝いをしますか。

(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	なるべく積極的に手伝いをしている	23	27%	24	25%
2	求められれば手伝いをしている	27	32%	26	27%
3	これまでに機会がない	28	33%	31	32%
4	手伝いをしようと思うが行動に移すことができない	4	5%	12	12%
5	特に何もしない	2	2%	0	0%
6	その他	1	1%	3	3%
0	無回答	0	0%	1	1%
合計		85	100%	97	100%

3. 福祉に関する情報について

問6 市の取り組みや市役所への手続きなどの障害福祉に関する情報について

十分に伝わっていると思いますか。(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	そう思う	9	11%	13	13%
2	どちらともいえない	46	54%	41	42%
3	そう思わない	30	35%	41	42%
0	無回答	0	0%	2	2%
合計		85	100%	97	100%

問9 障害のある人に対する差別や偏見を感じることはありますか。

(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	あると思う	17	20%	28	29%
2	少しはあると思う	50	59%	46	47%
3	ないと思う	10	12%	15	15%
4	わからない	8	9%	7	7%
0	無回答	0	0%	1	1%
合計		85	100%	97	100%

問10 〈問9で1または2と回答された方〉

実際に「ある」と感じた事柄について教えてください。(いくつでも○)

		合計		第三期	合計
1	嫌がることを言う、嫌がらせをする	11	7%	4	3%
2	じろじろと見る、もの珍しい目で見ると	46	31%	54	36%
3	できないことをさせようとする	10	7%	5	3%
4	暴力をふるう	3	2%	1	1%
5	かわりを避ける、仲間はずれにする	24	16%	23	15%
6	施設や店舗などの利用を断る、制限する	5	3%	7	5%
7	障害のある、なしで待遇に差をつける	11	7%	19	13%
8	過剰な気遣いや価値観を押しつける	16	11%	12	8%
9	障害のある人をひと括りにして個人を見ない	22	15%	21	14%
10	その他	2	1%	3	2%
合計		150	100%	149	100%

問13 障害者週間記念事業をご存じですか。(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	参加または会場に足を運んだことがある	0	0%	1	1%
2	知っているが参加または会場に足を運んだことはない	9	11%	12	12%
3	知らない	74	87%	84	87%
0	無回答	2	2%	0	0%
合計		85	100%	97	100%

問14 福祉のひろばをご存じですか。(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	利用したことがある	6	7%	4	4%
2	どこにあるか知っているが利用したことはない	6	7%	10	10%
3	聞いたことがある程度で利用したことはない	23	27%	29	30%
4	知らない	47	55%	54	56%
0	無回答	3	4%	0	0%
合計		85	100%	97	100%

問15 ヘルプマーク、ヘルプカードをご存じですか。(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	知っている	41	48%	53	55%
2	知らない	41	48%	44	45%
0	無回答	3	4%	0	0%
合計		85	100%	97	100%

5. 社会的な障壁について

問17 帯広市において、次の障壁はありますか。

①物理的な障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	50	59%	43	44%
2	感じていない	7	8%	10	10%
3	どちらともいえない	24	28%	37	38%
0	無回答	4	5%	7	7%
合計		85	100%	97	100%

②制度的な障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	26	31%	21	22%
2	感じていない	10	12%	12	12%
3	どちらともいえない	43	51%	56	58%
0	無回答	6	7%	8	8%
合計		85	100%	97	100%

③文化・情報面の障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	21	25%	29	30%
2	感じていない	10	12%	16	16%
3	どちらともいえない	48	56%	45	46%
0	無回答	6	7%	7	7%
合計		85	100%	97	100%

④意識上の障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	26	31%	34	35%
2	感じていない	12	14%	15	15%
3	どちらともいえない	41	48%	41	42%
0	無回答	6	7%	7	7%
合計		85	100%	97	100%

6. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問18 帯広市は障害のある人もない人も住みやすいまちだと思いますか。

(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	そう思う	7	8%	8	8%
2	少し思う	17	20%	12	12%
3	どちらともいえない	25	29%	31	32%
4	あまり思わない	13	15%	10	10%
5	思わない	5	6%	8	8%
6	わからない	16	19%	22	23%
0	無回答	2	2%	6	6%
合計		85	100%	97	100%

2. ①市民意識調査

(3) ①市民意識調査結果分析

1) 回答者について（調査票：問1）

回答者85名のうち、年齢は「65歳以上」が最も多く25名（29%）であった。次いで、「50歳～54歳」が11名（13%）、「60歳～64歳」が10名（12%）であった。

2) 生活環境について（調査票：問2～問5）

「環境が整っていると思う」との回答が多かった項目は以下の通りであった。

- | | |
|----------------------|----------|
| ⑭住んでいる地域で必要な医療を受けられる | 45名（53%） |
| ⑧安心して暮らし続けられる住まいがある | 39名（46%） |

住まいと医療の環境は整っているとの回答が多かった。

「環境が整っていないと思う」との回答が多かった項目は以下の通りであった。

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| ⑯通勤、通学または買い物などで外出するための移動手段が充実している | 41名（48%） |
| ⑤道路や施設が安全で、外出しても事故やけがなどの心配がない | 37名（44%） |
| ②困りごとや悩みを安心して相談できる場所が身近にある | 36名（42%） |

相談先、外出の際の環境が整っていないとの回答が多かった。

「どちらともいえない」との回答が多かった12項目のうち、「環境が整っていると思う」との回答が多かった項目は、「⑨地域の学校や保育所等に通う」「⑩配慮した教育を受けられる」「⑬仕事の技術や知識を学ぶ」「⑮リハビリテーションを行うことができる」「⑰子育て支援を受けられる」の5項目であった。子育て支援や教育の環境が整っているとの回答が多かった。

また、「どちらともいえない」との回答が多かった12項目のうち、「環境が整っていないと思う」との回答が多かった項目は、「①外出先で手伝いを受けられる」「③サービスを受けられ、ひとり暮らしに不安を感じない」「④同じ障害の人と過ごす場所がある」「⑥災害時に安全に避難できる」「⑦人に騙されたり等の不安がない」「⑩職場を選ぶことができる」「⑫仕事で対等に評価される」の7項目であった。

「日頃障害のある人と会話をすることがあるか」との問いでは、「日頃接することがない」人が50名（59%）で最も多かった。また、「会話をすることがない」人が10名（12%）であり、合わせると60名（71%）の人が日頃障害のある人との会話がなかった結果となった。前回調査も同様に「日頃接することがない」人が最も多く、「会話をすることがない」と人と合わせると61名（63%）という結果であった。日常的に障害のある人と接する機会は増えていないことがわかる。

「障害のある人が困った様子でいるときに手伝いをするか」との問いでは、「これまでに機会がない」人が28名(33%)と最も多かった。「手伝いをしている」との回答は50名(59%)であり、半数以上の人は何らかの手伝いをしていることがわかる。前回調査と比較すると、「手伝いをしようと思うが行動に移すことができない」との回答が12%から5%と減少し、「求められれば手伝いをしている」との回答が27%から32%に増えていることから、「手伝いをしている」人は増えていることがわかる。

「手伝いができない、しない」理由では、「どのように接したらよいかわからないから」「お節介になるような気がするから」との回答が多かった。

3) 福祉に関する情報について(調査票:問6~問7)

障害福祉に関する情報について十分に伝わっているかどうかは、「どちらともいえない」との回答が46名(54%)と最も多かった。前回調査と比較すると「思わない」との回答が41名(42%)から30名(35%)と減っており、「どちらともいえない」との回答が増えている。情報は十分に伝わっているとは言えない状況が継続していることがわかる。

情報が十分に伝わるために充実させた方がよいもので回答が多かった項目は以下の通りであり、情報源のニーズがわかる。

「広報おびひろや市が発行するパンフレット、チラシによる周知」	53件(20%)
「テレビやラジオでの周知」	36件(13%)
「インターネットやSNSの活用」	32件(12%)

4) ノーマライゼーション・障害のある人への理解について(調査票:問8~問16)

ノーマライゼーションという考え方が浸透しているかについては、「思わない」との回答が39名(46%)と最も多かった。ほぼ同数で「どちらともいえない」38名(45%)との回答があり、「そう思う」との回答は1割に満たない人数であった。ノーマライゼーションの考え方は浸透していないと言える。

障害のある人に対する差別や偏見については、「少しはあると思う」という回答が50名(59%)と最も多く、次いで「あると思う」という回答が17名(20%)と多く、差別や偏見があると感じている人が約8割存在することがわかった。

前回調査では「あると思う」「少しはあると思う」との回答が74名(76%)であり、差別や偏見があると感じている人の割合は前回調査を上回っている。しかし「あると思う」との回答が9%減少していることから、差別や偏見を感じることはあるが感じる頻度は減っていることがわかる。

差別や偏見を感じるものが「ある」と感じた事柄について、最も回答が多かったのは「じろじろと見る、もの珍しい目で見える」46名(31%)であり、前回調査と同様の結果であった。

障害者差別解消法の施行による変化は、「変化を感じない」との回答が最も多く32名(30%)、次いで「わからない」20名(19%)との回答が多かった。約半数が変化を感じていない一方で、「何となく変化を感じる」「差別と思われる行為が減った、なくなった」等何らかの変化を感じている人が約半数いることがわかった。

身の回りで合理的配慮があるかどうかは「どちらともいえない」との回答が60名(71%)と最も多かった。

「障害者週間記念事業」と「帯広市手話言語条例」は、いずれも約9割の人が「知らない」と回答している。「福祉のひろば」と「ヘルプマーク、ヘルプカード」は、「知っている」と「知らない」の回答が約半数であった。前回調査と比較すると、「障害者週間記念事業(13%→11%)」「福祉のひろば(44%→41%)」「ヘルプマーク、ヘルプカード(55%→48%)」、いずれも「知っている」との回答率は減少しており、周知が課題と言える。

5) 社会的な障壁について(調査票:問17)

「①物理的な障壁」は、「感じている」との回答が最も多かった(50名(59%))。「②制度的な障壁(43名(51%))」「③文化・情報面の障壁(48名(56%))」「④意識上の障壁(41名(48%))」は、いずれも「どちらともいえない」との回答が多い。

障壁を「感じている」人、「感じていない」人の回答数を比較すると、全ての項目で「感じている」と回答した人の方が多く、前回調査から傾向は変わっていない。特に「①物理的な障壁(44%→59%)」と「②制度的な障壁(22%→31%)」は「感じている」との回答率が上がっており、障壁をより感じている人が増えていると言える。

6) 障害のある人もない人も住みやすいまち、について(調査票:問18~問20)

帯広市が「障害のある人もない人も住みやすいまちである」と「思う」と回答した人は、「そう思う」「少し思う」を合わせて24名(28%)であった。「どちらともいえない」との回答は25名(29%)であり回答数は最も多かった。「思わない」との回答は、「あまり思わない」「思わない」を合わせて18名(21%)であった。「わからない」との回答も16名(19%)あることから、全体的には住みやすさを実感している人の割合は低いと言える。

前回調査と比較すると、「少し思う(12%→20%)」「あまり思わない(10%→15%)」の回答率が上がっている。住みやすいまちであると「思う」人の割合は20%から28%と上がっており、「思わない」との回答率が18%から21%と上がっているものの、全体としては住みやすいまちであると感じている人が増えていると言える。

住みやすいまちづくりとして「進んでいる」と思うものについて回答が多かった項目は、「入所施設や病院の充実」23件(14%)、「就労支援の充実」16件(9%)、「障害を早期

発見し、適切な支援が受けられること」15件(9%)、「地域で生活するための支援の充実」14件(8%)、「希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実」14件(8%)であった。

「今後重点的に進めるべき」と思うものについて回答が多かった項目は、「専門的な人材育成・確保」25件(8%)、「地域生活支援の充実」25件(8%)、「理解促進の教育・広報活動の充実」24件(8%)、「道路・建物などの整備」23件(8%)、「入所施設や病院の充実」21名(7%)であった。

「専門的な人材育成・確保」は「進んでいる」との回答が2%と少なく、「今後重点的に進めるべき」との回答が最も多かったことから、重点課題と感じている人が多いと言える。

7) 障害福祉や行政の取組みについて(調査票:問21)

全回答者85名のうち22名(26%)の記載があった。

普段、障害のある人と接する機会が少ないとの意見が多く、当たり前で接する機会が学校や職場、社会の中であると良いとの意見が多く見られた。

今回のアンケートが障害ということを考えるきっかけになったとの意見が複数あり、理解促進につながる機会となった。

記載された内容を7項目に分け、主だった意見を以下抜粋した。

項目	主な意見
1) 支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・介護をする側の支援を手厚くしてほしい。 ・医療的ケアが必要な子供たちへの支援がまだまだ必要。 ・自閉症に特化した施設を早く作ってほしい。 ・グレーゾーンの子供がすぐに検査や相談できる場がない。 ・施設の充実と職員に対する待遇改善が必要。
2) 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすで外出できる環境が必要。 ・冬の歩道の凍結が危険で、障害者ばかりでなく外出の妨げになっている。
3) 相談支援・情報支援	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと知る機会があると良い。 ・転居後、どこに行けば福祉の情報が得られるのかわからなかった。 ・行政の情報発信力が低く取組みが見えづらい。
4) 障がいや病気の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に障害者がいないのでわからない。 ・個々を尊重し支え合うという意識が必要。 ・障害を一つの個性として捉えることのできる世の中になれば良い。 ・企業で障害のある人と当たり前で協力し合って仕事をするという環境が整うと良い。
5) 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな時から当たり前で身近に障害のある人と一緒に学べ、笑い、運動する場があれば特別な場所は設けなくても良い。当たり前で

	<p>る環境づくりを希望。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性を認め合える学校づくりや環境づくり。
6) 地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの場があると良い。
7) アンケート調査全般	<ul style="list-style-type: none"> ・障害ということに改めて考えさせられた。 ・帯広市の取組みがわかり勉強になった。 ・自分が障害のある人と接することがほとんどないことがわかった。

3. ②障害のある人向け調査

(1) 障害のある人向け調査結果集計表

1. あなたのことについて

問1 あなたの年齢について教えてください。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	18歳未満	39	13%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%
	就学前	5	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	13%	0	0%
	小学生	12	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	12	31%	0	0%
	中学生	14	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	14	36%	0	0%
	高校生(相当年齢)以上	8	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	21%	0	0%
2	18-19歳	5	2%	5	2%	0	0%	3	3%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%
3	20-24歳	10	3%	10	4%	0	0%	9	9%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
4	25-29歳	16	5%	16	6%	0	0%	12	12%	0	0%	4	10%	0	0%	0	0%
5	30-34歳	19	6%	19	7%	1	2%	14	14%	1	2%	3	7%	0	0%	0	0%
6	35-39歳	27	9%	27	10%	3	5%	16	16%	6	11%	2	5%	0	0%	0	0%
7	40-44歳	20	7%	20	8%	4	6%	7	7%	7	13%	2	5%	0	0%	0	0%
8	45-49歳	19	6%	19	7%	0	0%	11	11%	5	9%	3	7%	0	0%	0	0%
9	50-54歳	30	10%	30	12%	3	5%	10	10%	9	17%	8	20%	0	0%	0	0%
10	55-59歳	19	6%	19	7%	4	6%	6	6%	9	17%	0	0%	0	0%	0	0%
11	60-64歳	19	6%	19	7%	5	8%	5	5%	3	6%	6	15%	0	0%	0	0%
12	65-69歳	17	6%	17	7%	6	9%	4	4%	7	13%	0	0%	0	0%	0	0%
13	70-74歳	27	9%	27	10%	22	33%	1	1%	1	2%	3	7%	0	0%	0	0%
14	75-79歳	22	7%	22	8%	11	17%	0	0%	3	6%	7	17%	0	0%	1	100%
15	80歳以上	8	3%	8	3%	7	11%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	2	1%	2	1%	0	0%	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
	合計	299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問2 あなたは、だれと一緒に生活していますか。(いくつでも〇)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	配偶者	48	14%	47	16%	39	52%	0	0%	1	2%	7	14%	1	2%	0	0%
2	親	111	31%	72	25%	6	8%	41	37%	8	15%	17	35%	39	62%	0	0%
3	子	13	4%	13	4%	8	11%	2	2%	1	2%	2	4%	0	0%	0	0%
4	兄弟姉妹	41	12%	20	7%	3	4%	11	10%	1	2%	5	10%	21	33%	0	0%
5	祖父母	7	2%	5	2%	1	1%	4	4%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
6	孫	2	1%	2	1%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	一人で暮らしている	37	10%	37	13%	15	20%	5	5%	14	25%	3	6%	0	0%	0	0%
8	グループホームや福祉施設で生活している	90	25%	90	31%	0	0%	46	41%	30	55%	14	29%	0	0%	0	0%
9	その他	3	1%	3	1%	1	1%	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	2	1%	2	1%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%
	合計	354	100%	291	100%	75	100%	111	100%	55	100%	49	100%	63	100%	1	100%

問3 身体障害者手帳をお持ちですか？（○は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	1級	34	11%	32	12%	17	26%	0	0%	0	0%	15	37%	2	5%	0	0%
2	2級	22	7%	21	8%	12	18%	0	0%	0	0%	9	22%	1	3%	0	0%
3	3級	23	8%	20	8%	14	21%	0	0%	0	0%	6	15%	3	8%	0	0%
4	4級	21	7%	20	8%	16	24%	0	0%	0	0%	4	10%	1	3%	0	0%
5	5級	4	1%	4	2%	3	5%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
6	6級	6	2%	6	2%	2	3%	0	0%	0	0%	4	10%	0	0%	0	0%
7	持っていない	189	63%	157	60%	2	3%	99	100%	53	100%	2	5%	32	82%	1	100%
0	無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問4 身体障害者手帳の種別は？

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	視覚障害	7	2%	7	2%	3	4%	0	0%	0	0%	4	8%	0	0%	0	0%
2	聴覚・平衡機能障害	9	3%	8	3%	6	7%	0	0%	0	0%	2	4%	1	2%	0	0%
3	音声・言語・そしゃく機能障害	6	2%	6	2%	3	4%	0	0%	0	0%	3	6%	0	0%	0	0%
4	肢体不自由	80	24%	71	25%	50	60%	0	0%	0	0%	21	42%	9	20%	0	0%
	（上肢）	20	6%	17	6%	14	—	0	—	0	—	3	—	3	—	0	—
	（下肢）	45	14%	41	14%	30	—	0	—	0	—	11	—	4	—	0	—
	（体幹）	10	3%	8	3%	4	—	0	—	0	—	4	—	2	—	0	—
	（脳病変による運動機能障害）	5	2%	5	2%	2	—	0	—	0	—	3	—	0	—	0	—
5	内部障害	26	8%	25	9%	17	20%	0	0%	0	0%	8	16%	1	2%	0	0%
	（心臓）	12	4%	11	4%	7	—	0	—	0	—	4	—	1	—	0	—
	（じん臓）	8	2%	8	3%	6	—	0	—	0	—	2	—	0	—	0	—
	（呼吸器）	2	1%	2	1%	1	—	0	—	0	—	1	—	0	—	0	—
	（ぼうこう）	2	1%	2	1%	2	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	（直腸）	2	1%	2	1%	1	—	0	—	0	—	1	—	0	—	0	—
	（小腸）	0	0%	0	0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	（ほか）	0	0%	0	0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
0	無回答	202	61%	169	59%	4	5%	99	100%	53	100%	12	24%	33	75%	1	100%
合計		330	100%	286	100%	83	100%	99	100%	53	100%	50	100%	44	100%	1	100%

問5 療育手帳をお持ちですか？（〇は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	A	65	22%	54	21%	0	0%	38	38%	0	0%	16	39%	11	28%	0	0%
2	B	79	26%	60	23%	0	0%	52	53%	0	0%	8	20%	19	49%	0	0%
3	持っていない	146	49%	137	53%	66	100%	1	1%	53	100%	17	41%	9	23%	0	0%
0	無回答	9	3%	9	3%	0	0%	8	8%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問6 精神障害者手帳をお持ちですか？（〇は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	1級	7	2%	7	3%	0	0%	0	0%	3	6%	4	10%	0	0%	0	0%
2	2級	52	17%	51	20%	0	0%	0	0%	38	72%	13	32%	1	3%	0	0%
3	3級	16	5%	12	5%	0	0%	0	0%	9	17%	3	7%	4	10%	0	0%
4	持っていない	194	65%	165	63%	65	98%	80	81%	2	4%	18	44%	29	74%	0	0%
5	持っていないが自立支援医療受給者証を持っている	23	8%	20	8%	1	2%	16	16%	1	2%	2	5%	3	8%	0	0%
0	無回答	7	2%	5	2%	0	0%	3	3%	0	0%	1	2%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問7 手帳に記載以外の難病（特定疾患）や障害などの診断を受けたことがありますか。（いくつでも〇）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	難病	26	8%	22	8%	11	16%	3	3%	4	7%	4	9%	4	10%	0	0%
2	発達障害	57	19%	32	12%	0	0%	16	16%	8	15%	8	18%	25	61%	0	0%
3	高次脳機能障害	7	2%	7	3%	1	1%	0	0%	3	6%	3	7%	0	0%	0	0%
4	その他	22	7%	20	7%	1	1%	9	9%	5	9%	5	11%	2	5%	0	0%
0	無回答	196	64%	186	70%	54	81%	73	72%	34	63%	24	55%	10	24%	1	100%
合計		308	100%	267	100%	67	100%	101	100%	54	100%	44	100%	41	100%	1	100%

問8 介護認定を受けていますか？（〇は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	要支援認定	9	5%	9	5%	4	6%	2	4%	3	7%	0	0%	0	0%	0	0%
2	要介護認定	19	10%	19	10%	11	18%	1	1%	3	7%	4	14%	0	0%	0	0%
3	受けていない	138	75%	138	75%	45	73%	36	84%	37	80%	20	69%	0	0%	0	0%
0	無回答	17	9%	17	9%	2	3%	6	11%	3	7%	5	17%	0	0%	1	100%
合計		183	100%	183	100%	62	100%	45	100%	46	100%	29	100%	0	0%	1	100%

問9 医療的ケアは受けていますか？（いくつでも○）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	気管切開	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	人口呼吸器（レスピレーター）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3	吸入	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
4	吸引	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	胃ろう・腸ろう	4	1%	4	2%	0	0%	1	1%	0	0%	3	7%	0	0%	0	0%
6	鼻腔経管栄養	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	中心静脈栄養	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8	透析	1	0%	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9	カテーテル留置	3	1%	3	1%	3	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10	ストマ（人工肛門・人工ぼうこう）	2	1%	2	1%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	服薬管理	26	9%	25	10%	10	15%	7	7%	3	6%	5	12%	1	3%	0	0%
12	受けていない	178	59%	144	55%	35	51%	54	55%	32	59%	23	56%	34	87%	0	0%
13	その他	7	2%	6	2%	3	4%	1	1%	1	2%	1	2%	1	3%	0	0%
0	無回答	79	26%	76	29%	14	21%	35	35%	17	31%	9	22%	3	8%	1	100%
合計		302	100%	263	100%	68	100%	99	100%	54	100%	41	100%	39	100%	1	100%

2. 生活環境について

問10 あなたのお住まいの地域は障害のある人が生活するうえで環境が整っていると思いますか。（当てはまるものに○）

①外出先などで困っている時、周囲の人の手伝いを受けられる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	78	26%	73	28%	12	18%	37	37%	11	21%	13	32%	5	13%	0	0%
2	思わない	80	27%	67	26%	18	27%	22	22%	16	30%	11	27%	13	33%	0	0%
3	どちらともいえない	120	40%	101	39%	27	41%	35	35%	24	45%	15	37%	19	49%	0	0%
0	無回答	21	7%	19	7%	9	14%	5	5%	2	4%	2	5%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

②困り事や悩みを安心して相談できるところが身近にある。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	153	51%	133	51%	20	30%	58	59%	33	62%	22	54%	20	51%	0	0%
2	思わない	55	18%	49	19%	21	32%	11	11%	9	17%	8	20%	6	15%	0	0%
3	どちらともいえない	69	23%	59	23%	17	26%	24	24%	10	19%	8	20%	10	26%	0	0%
0	無回答	22	7%	19	7%	8	12%	6	6%	1	2%	3	7%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

③身の回りの用事や家事を手伝ってくれるサービスを受けられ、一人暮らしになっても不安を感じない。

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	64	21%	62	24%	7	11%	21	21%	20	38%	14	34%	2	5%	0	0%
2	思わない	98	33%	82	32%	26	39%	28	28%	15	28%	13	32%	16	41%	0	0%
3	どちらともいえない	108	36%	90	35%	26	39%	39	39%	14	26%	11	27%	18	46%	0	0%
0	無回答	29	10%	26	10%	7	11%	11	11%	4	8%	3	7%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

④趣味を楽しむ、同じ障害や疾病の人々と過ごす場所が身近にある。

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	110	37%	99	38%	10	15%	45	45%	23	43%	21	51%	11	28%	0	0%
2	思わない	92	31%	79	30%	27	41%	26	26%	16	30%	10	24%	13	33%	0	0%
3	どちらともいえない	74	25%	61	23%	19	29%	23	23%	12	23%	7	17%	13	33%	0	0%
0	無回答	23	8%	21	8%	10	15%	5	5%	2	4%	3	7%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑤道路や施設が安全で、外出しても事故やけがなどの心配がない。

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	97	32%	92	35%	11	17%	39	39%	23	43%	19	46%	5	13%	0	0%
2	思わない	95	32%	77	30%	29	44%	22	22%	14	26%	12	29%	18	46%	0	0%
3	どちらともいえない	85	28%	73	28%	18	27%	33	33%	15	28%	7	17%	12	31%	0	0%
0	無回答	22	7%	18	7%	8	12%	5	5%	1	2%	3	7%	4	10%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑥災害が発生しても、安全に避難できる。

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	94	31%	89	34%	13	20%	40	40%	20	38%	16	39%	5	13%	0	0%
2	思わない	84	28%	68	26%	24	36%	20	20%	13	25%	11	27%	16	41%	0	0%
3	どちらともいえない	100	33%	85	33%	23	35%	35	35%	18	34%	9	22%	15	38%	0	0%
0	無回答	21	7%	18	7%	6	9%	4	4%	2	4%	5	12%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑦人に騙されたり、ものを奪われる不安がない。

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	92	31%	89	34%	25	38%	33	33%	16	30%	15	37%	3	8%	0	0%
2	思わない	94	31%	74	28%	16	24%	27	27%	17	32%	14	34%	20	51%	0	0%
3	どちらともいえない	97	32%	84	32%	20	30%	34	34%	19	36%	11	27%	13	33%	0	0%
0	無回答	16	5%	13	5%	5	8%	5	5%	1	2%	1	2%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑧安心して暮らし続けられる住まいがある。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	185	62%	163	63%	41	62%	65	66%	32	60%	25	61%	22	56%	0	0%
2	思わない	45	15%	36	14%	7	11%	14	14%	9	17%	6	15%	9	23%	0	0%
3	どちらともいえない	49	16%	43	17%	12	18%	16	16%	11	21%	4	10%	6	15%	0	0%
0	無回答	20	7%	18	7%	6	9%	4	4%	1	2%	6	15%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑨障害のある児童も地域の学校や保育所等に通うことができる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	101	34%	82	32%	15	23%	43	43%	14	26%	10	24%	19	49%	0	0%
2	思わない	32	11%	28	11%	14	21%	5	5%	1	2%	8	20%	4	10%	0	0%
3	どちらともいえない	120	40%	106	41%	18	27%	42	42%	32	60%	14	34%	14	36%	0	0%
0	無回答	46	15%	44	17%	19	29%	9	9%	6	11%	9	22%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑩障害や疾病に配慮した教育が受けられる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	80	27%	62	24%	9	14%	35	35%	10	19%	8	20%	18	46%	0	0%
2	思わない	42	14%	36	14%	13	20%	9	9%	6	11%	8	20%	6	15%	0	0%
3	どちらともいえない	134	45%	121	47%	26	39%	47	47%	31	58%	17	41%	13	33%	0	0%
0	無回答	43	14%	41	16%	18	27%	8	8%	6	11%	8	20%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑪障害の有無にかかわらず、職場を選ぶことができる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	33	11%	29	11%	1	2%	13	13%	10	19%	5	12%	4	10%	0	0%
2	思わない	111	37%	97	37%	32	48%	31	31%	18	34%	16	39%	14	36%	0	0%
3	どちらともいえない	112	37%	94	36%	16	24%	41	41%	23	43%	14	34%	18	46%	0	0%
0	無回答	43	14%	40	15%	17	26%	14	14%	2	4%	6	15%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑫同じ仕事であれば障がいの有無にかかわらず対等に評価される。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	41	14%	40	15%	7	11%	16	16%	8	15%	9	22%	1	3%	0	0%
2	思わない	97	32%	84	32%	25	38%	28	28%	18	34%	13	32%	13	33%	0	0%
3	どちらともいえない	119	40%	97	37%	18	27%	41	41%	24	45%	14	34%	22	56%	0	0%
0	無回答	42	14%	39	15%	16	24%	14	14%	3	6%	5	12%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑬仕事に必要な技術や知識を学ぶことができる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	58	19%	53	20%	7	11%	23	23%	15	28%	8	20%	5	13%	0	0%
2	思わない	80	27%	68	26%	18	27%	23	23%	13	25%	14	34%	12	31%	0	0%
3	どちらともいえない	117	39%	98	38%	24	36%	38	38%	21	40%	15	37%	19	49%	0	0%
0	無回答	44	15%	41	16%	17	26%	15	15%	4	8%	4	10%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑭住んでいる地域で必要な医療を受けられる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	170	57%	153	59%	33	50%	58	59%	36	68%	26	63%	17	44%	0	0%
2	思わない	28	9%	22	8%	9	14%	5	5%	5	9%	3	7%	6	15%	0	0%
3	どちらともいえない	72	24%	59	23%	11	17%	30	30%	9	17%	9	22%	13	33%	0	0%
0	無回答	29	10%	26	10%	13	20%	6	6%	3	6%	3	7%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑮自分にあったリハビリテーションを行うことができる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	86	29%	76	29%	15	23%	27	27%	20	38%	14	34%	10	26%	0	0%
2	思わない	38	13%	33	13%	10	15%	8	8%	9	17%	6	15%	5	13%	0	0%
3	どちらともいえない	139	46%	118	45%	25	38%	55	56%	22	42%	16	39%	21	54%	0	0%
0	無回答	36	12%	33	13%	16	24%	9	9%	2	4%	5	12%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑯通勤、通学または買い物などで外出するための移動手段が充実している。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	90	30%	81	31%	12	18%	35	35%	22	42%	12	29%	9	23%	0	0%
2	思わない	98	33%	81	31%	25	38%	27	27%	17	32%	12	29%	17	44%	0	0%
3	どちらともいえない	81	27%	71	27%	15	23%	32	32%	12	23%	12	29%	10	26%	0	0%
0	無回答	30	10%	27	10%	14	21%	5	5%	2	4%	5	12%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑰一時保育やファミリーサポートの利用など子育て支援を受けられる。

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	38	13%	25	10%	4	6%	10	10%	7	13%	4	10%	13	33%	0	0%
2	思わない	39	13%	34	13%	10	15%	14	14%	3	6%	7	17%	5	13%	0	0%
3	どちらともいえない	163	55%	145	56%	32	48%	57	58%	36	68%	20	49%	18	46%	0	0%
0	無回答	59	20%	56	22%	20	30%	18	18%	7	13%	10	24%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

3. 福祉に関する情報について

問1 1 市の取り組みや市役所への手続きなどの障害福祉に関する情報について十分に伝わっていると思いますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	71	24%	64	25%	18	27%	21	21%	14	26%	11	27%	7	18%	0	0%
2	どちらともいえない	113	38%	96	37%	24	36%	34	34%	21	40%	17	41%	17	44%	0	0%
3	そう思わない	97	32%	84	32%	21	32%	36	36%	16	30%	11	27%	13	33%	0	0%
0	無回答	18	6%	16	6%	3	5%	8	8%	2	4%	2	5%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問1 2 障害福祉に関する情報が十分に伝わるために充実させたほうが良いものは何ですか。(いくつでも〇)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	テレビやラジオの周知	124	15%	109	16%	21	11%	43	18%	25	17%	20	20%	15	12%	0	0%
2	広報おびひろ	141	17%	123	18%	45	24%	40	16%	24	16%	14	14%	18	14%	0	0%
3	インターネットSNS	93	11%	74	11%	17	9%	32	13%	14	9%	11	11%	19	15%	0	0%
4	講演会や説明会	66	8%	52	8%	13	7%	19	8%	13	9%	7	7%	14	11%	0	0%
5	点字や音声での情報提供	32	4%	29	4%	9	5%	7	3%	8	5%	5	5%	3	2%	0	0%
6	手話通訳や要約筆記通訳の利用	24	3%	20	3%	5	3%	4	2%	7	5%	4	4%	4	3%	0	0%
7	音声認識アプリなどを活用した文字での情報提供	28	3%	23	3%	7	4%	7	3%	5	3%	4	4%	5	4%	0	0%
8	文章にふりがながやイラストをつける	85	10%	68	10%	14	8%	27	11%	13	9%	14	14%	17	13%	0	0%
9	様々な情報が集約されたワンストップ	84	10%	70	10%	22	12%	22	9%	17	11%	9	9%	14	11%	0	0%
10	気軽に聞ける人が身近な地域にいる	132	16%	114	17%	32	17%	44	18%	25	17%	13	13%	18	14%	0	0%
11	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%
合計		810	100%	683	100%	185	100%	245	100%	151	100%	101	100%	127	100%	1	100%

4. 意思疎通について

問1 3 日常生活において意思疎通に困ることはありますか。どのような時ですか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	手話通訳・要約筆記通訳が確保できない	6	2%	6	2%	3	5%	1	1%	1	2%	1	2%	0	0%	0	0%
2	筆談など障害特性に合わせた対応をしてもらえないとき	18	6%	14	5%	5	8%	5	5%	0	0%	4	10%	4	10%	0	0%
3	難しい言葉を頻繁に使用されるとき	82	27%	69	27%	8	12%	40	40%	13	25%	8	20%	13	33%	0	0%
4	図や絵による場所の表示や行動の指示が不十分なとき	19	6%	17	7%	2	3%	9	9%	2	4%	4	10%	2	5%	0	0%
5	字幕、ルビによる内容理解の補助が不十分なとき	5	2%	5	2%	1	2%	1	1%	0	0%	3	7%	0	0%	0	0%
6	その他	9	3%	8	3%	0	0%	3	3%	2	4%	3	7%	1	3%	0	0%
7	特に困ることはない	127	42%	112	43%	39	59%	34	34%	25	47%	14	34%	15	38%	0	0%
0	無回答	33	11%	29	11%	8	12%	6	6%	10	19%	4	10%	4	10%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

5. 防災などにかかわる対応について

問14 あなた、または、あなたの家族は、自身の避難所がどこにあるか知っていますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	知っている	201	67%	173	67%	52	79%	61	62%	35	66%	25	61%	28	72%	0	0%
2	どちらともいえない	45	15%	40	15%	12	18%	15	15%	7	13%	6	15%	5	13%	0	0%
3	知らない	45	15%	41	16%	2	3%	21	21%	10	19%	8	20%	4	10%	0	0%
0	無回答	8	3%	6	2%	0	0%	2	2%	1	2%	2	5%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問15 あなた、またはあなたの家族は、災害が発生したとき避難できますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	ひとりで避難できる	92	31%	87	33%	27	41%	17	17%	28	53%	15	37%	5	13%	0	0%
2	家族が避難を手伝ってくれる	103	34%	77	30%	25	38%	36	36%	5	9%	11	27%	26	67%	0	0%
3	近隣の住民が手伝ってくれる	5	2%	4	2%	2	3%	1	1%	0	0%	1	2%	1	3%	0	0%
4	ヘルパーなどが手伝ってくれる	37	12%	37	14%	0	0%	29	29%	4	8%	4	10%	0	0%	0	0%
5	避難することは難しい、できない	50	17%	44	17%	11	17%	11	11%	14	26%	8	20%	6	15%	0	0%
0	無回答	12	4%	11	4%	1	2%	5	5%	2	4%	2	5%	1	3%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問16 もし災害が発生した場合、困ると思うことはなんですか。(いくつでも〇)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	安全なところまですみやかに避難することができない	93	10%	77	10%	21	12%	27	9%	16	9%	13	9%	16	11%	0	0%
2	救助を求めることができない	78	8%	62	8%	7	4%	32	11%	12	7%	11	8%	16	11%	0	0%
3	被害の状況、避難場所などの情報が入手できない	85	9%	76	9%	9	5%	35	12%	18	10%	14	10%	9	6%	0	0%
4	避難場所の設備等(トイレ等)や生活環境が不安	161	17%	136	17%	44	24%	44	15%	27	15%	21	15%	25	18%	0	0%
5	避難場所などで周囲とコミュニケーションがとれない	125	13%	104	13%	14	8%	54	18%	21	11%	15	11%	21	15%	0	0%
6	人の多い場所が苦手で避難所などで生活できない	120	13%	100	12%	15	8%	40	13%	29	16%	16	12%	20	14%	0	0%
7	補装具や日常生活表具の使用が難しくなる	32	3%	28	3%	13	7%	4	1%	4	2%	7	5%	4	3%	0	0%
8	補装具や日常生活用具の入手が難しくなる	31	3%	28	3%	9	5%	6	2%	6	3%	7	5%	3	2%	0	0%
9	投薬や治療が受けられない	90	10%	83	10%	28	15%	17	6%	25	14%	13	9%	7	5%	0	0%
10	福祉サービスの利用ができない	50	5%	40	5%	5	3%	14	5%	13	7%	8	6%	10	7%	0	0%
11	医療的ケアの電源確保	11	1%	9	1%	5	3%	1	0%	2	1%	1	1%	2	1%	0	0%
12	特になし	42	4%	37	5%	7	4%	16	5%	5	3%	9	6%	5	4%	0	0%
13	その他	11	1%	10	1%	2	1%	1	0%	4	2%	3	2%	1	1%	0	0%
0	無回答	14	1%	13	2%	2	1%	8	3%	1	1%	1	1%	1	1%	1	100%
合計		943	100%	803	100%	181	100%	299	100%	183	100%	139	100%	140	100%	1	100%

問17 あなた、またはあなたの家族は災害や急病などの緊急時に適切な機関に通報できますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	電話で通報できる	201	67%	178	68%	52	79%	55	56%	40	75%	31	76%	23	59%	0	0%
2	FAXで通報できる	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3	緊急通報システムで通報できる	4	1%	4	2%	2	3%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4	通報することは難しい、できない	44	15%	37	14%	5	8%	19	19%	7	13%	6	15%	7	18%	0	0%
5	わからない	38	13%	30	12%	4	6%	20	20%	4	8%	2	5%	8	21%	0	0%
0	無回答	12	4%	11	4%	3	5%	3	3%	2	4%	2	5%	1	3%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

6. ノーマライゼーション・障害のある人への理解について

問18 ノーマライゼーションという考え方がありますが、あなたの身の回りでその考え方が浸透していると思いますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	35	12%	33	13%	5	8%	14	14%	9	17%	5	12%	2	5%	0	0%
2	どちらともいえない	148	49%	134	52%	34	52%	59	60%	21	40%	20	49%	14	36%	0	0%
3	思わない	100	33%	80	31%	24	36%	21	21%	22	42%	13	32%	20	51%	0	0%
0	無回答	16	5%	13	5%	3	5%	5	5%	1	2%	3	7%	3	8%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問19 障害のある人に対する差別や偏見を感じることはありますか(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	あると思う	101	34%	80	31%	18	27%	21	21%	24	45%	17	41%	21	54%	0	0%
2	少しはあると思う	118	39%	108	42%	31	47%	44	44%	19	36%	14	34%	10	26%	0	0%
3	ないと思う	22	7%	21	8%	5	8%	8	8%	5	9%	3	7%	1	3%	0	0%
4	わからない	46	15%	41	16%	9	14%	23	23%	4	8%	5	12%	5	13%	0	0%
0	無回答	12	4%	10	4%	3	5%	3	3%	1	2%	2	5%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問20 問19で実際に「ある」と感じた事柄について教えてください。(いくつでも○)

	合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答		
1	嫌がることを言う、嫌がらせをする	60	13%	51	13%	8	8%	16	13%	17	16%	10	16%	9	13%	0	0%
2	じろじろと見る、もの珍しい目で見る	126	27%	106	27%	31	30%	43	34%	14	13%	18	29%	20	28%	0	0%
3	できないことをさせようとする	37	8%	29	7%	4	4%	8	6%	11	10%	6	10%	8	11%	0	0%
4	暴力をふるう	8	2%	7	2%	0	0%	2	2%	3	3%	2	3%	1	1%	0	0%
5	かかわりを避ける、仲間はずれにする	8	2%	7	2%	0	0%	2	2%	3	3%	2	3%	1	1%	0	0%
6	施設や店舗などの利用を断る、制限する	14	3%	13	3%	3	3%	3	2%	4	4%	3	5%	1	1%	0	0%
7	障害のある、なしで待遇に差をつける	54	11%	50	13%	16	16%	14	11%	14	13%	6	10%	4	6%	0	0%
8	過剰な気遣いや価値観を押し付ける	54	11%	42	11%	14	14%	8	6%	16	15%	4	6%	12	17%	0	0%
9	障害のある人をひと括りにして個人を見ない	82	17%	70	18%	18	18%	22	17%	23	21%	7	11%	12	17%	0	0%
10	その他	7	1%	5	1%	3	3%	0	0%	1	1%	1	2%	2	3%	0	0%
0	無回答	21	4%	19	5%	5	5%	8	6%	2	2%	3	5%	2	3%	1	100%
	合計	471	100%	399	100%	102	100%	126	100%	108	100%	62	100%	72	100%	1	100%

問21 平成28年から障害者差別解消法が施行されたことで変化を感じますか。(いくつでも○)

	合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答		
1	差別と思われる行為が減った、なくなった	22	6%	21	6%	6	7%	5	4%	4	5%	6	10%	1	2%	0	0%
2	差別について話題になるようになった	20	5%	15	4%	5	6%	5	4%	3	4%	2	3%	5	11%	0	0%
3	差別と思うようなことを相談できるようになった	21	5%	18	5%	3	3%	3	2%	9	12%	3	5%	3	7%	0	0%
4	合理的な配慮について考えてもらえるようになった	17	4%	16	5%	3	3%	6	5%	4	5%	3	5%	1	2%	0	0%
5	合理的な配慮を受けられるようになった	13	3%	12	3%	2	2%	3	2%	2	3%	5	8%	1	2%	0	0%
6	障害のある人の人権が守られるようになった	29	7%	28	8%	9	10%	7	6%	7	9%	5	8%	1	2%	0	0%
7	はっきりと分からないが、何となく変化を感じる	50	13%	46	13%	19	21%	14	12%	6	8%	7	12%	4	9%	0	0%
8	変化を感じない	89	23%	78	23%	23	26%	23	19%	22	30%	10	17%	11	24%	0	0%
9	わからない	112	29%	95	28%	14	16%	51	42%	13	18%	17	29%	17	37%	0	0%
0	無回答	17	4%	15	4%	5	6%	4	3%	4	5%	1	2%	2	4%	1	100%
	合計	390	100%	344	100%	89	100%	121	100%	74	100%	59	100%	46	100%	1	100%

問22 あなたの身の回りでは、障害や障害のある人への合理的配慮があると感じますか。(○は1つ)

	合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答		
1	ある	76	25%	69	27%	20	30%	26	26%	10	19%	13	32%	7	18%	0	0%
2	どちらでもない	156	52%	133	51%	30	45%	54	55%	29	55%	20	49%	23	59%	0	0%
3	ない	40	13%	33	13%	10	15%	6	6%	10	19%	7	17%	7	18%	0	0%
0	無回答	27	9%	25	10%	6	9%	13	13%	4	8%	1	2%	2	5%	1	100%
	合計	299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問23 障害者週間記念事業をご存じですか（○は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	参加または会場に足を運んだことがある	23	8%	22	8%	9	14%	8	8%	1	2%	4	10%	1	3%	0	0%
2	知っているが参加または会場に足を運んだことはない	48	16%	42	16%	6	9%	23	23%	4	8%	9	22%	6	15%	0	0%
3	知らない	215	72%	185	71%	47	71%	66	67%	45	85%	27	66%	30	77%	0	0%
0	無回答	13	4%	11	4%	4	6%	2	2%	3	6%	1	2%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問24 福祉のひろばをご存じですか。（○は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	利用したことがある	40	13%	40	15%	6	9%	17	17%	13	25%	4	10%	0	0%	0	0%
2	どこにあるか知っているが、利用したことはない	35	12%	34	13%	5	8%	16	16%	3	6%	10	24%	1	3%	0	0%
3	聞いたことがある程度で、利用したことはない	69	23%	59	23%	22	33%	19	19%	4	8%	14	34%	10	26%	0	0%
4	知らない	144	48%	118	45%	30	45%	46	46%	31	58%	11	27%	26	67%	0	0%
0	無回答	11	4%	9	3%	3	5%	1	1%	2	4%	2	5%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問25 ヘルプマーク、ヘルプカードをご存じですか。（○は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	知っており、利用したことがある	28	9%	24	9%	7	11%	7	7%	7	13%	3	7%	4	10%	0	0%
2	知っている（聞いたことがある）が利用したことはない	116	39%	96	37%	26	39%	38	38%	19	36%	13	32%	20	51%	0	0%
3	知らない	143	48%	130	50%	29	44%	53	54%	26	49%	22	54%	13	33%	0	0%
0	無回答	12	4%	10	4%	4	6%	1	1%	1	2%	3	7%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問26 帯広市手話言語条例をご存じですか。（○は1つ）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	条例を知っており手話を見かけたり使ったことがある	12	4%	11	4%	4	6%	2	2%	3	6%	2	5%	1	3%	0	0%
2	条例を知っているが手話を見かけたり使ったことはない	21	7%	20	8%	9	14%	8	8%	0	0%	3	7%	1	3%	0	0%
3	条例を知らないが手話を見かけたり使ったことがある	41	14%	34	13%	7	11%	10	10%	11	21%	6	15%	7	18%	0	0%
4	条例を知らないし手話を見かけたり使ったことはない	202	68%	174	67%	40	61%	75	76%	37	70%	22	54%	28	72%	0	0%
0	無回答	23	8%	21	8%	6	9%	4	4%	2	4%	8	20%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

7. 社会的な障壁について

問27 帯広市において次の障壁はあると感じていますか。(①から④まで、それぞれ1つずつ〇)

①物理的な障壁		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	感じている	94	31%	84	32%	28	42%	24	24%	19	36%	13	32%	10	26%	0	0%
2	感じていない	100	33%	85	33%	20	30%	33	33%	19	36%	13	32%	15	38%	0	0%
3	どちらともいえない	73	24%	61	23%	12	18%	27	27%	11	21%	11	27%	12	31%	0	0%
0	無回答	32	11%	30	12%	6	9%	15	15%	4	8%	4	10%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

②制度的な障壁		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	感じている	59	20%	51	20%	11	17%	20	20%	12	23%	8	20%	8	21%	0	0%
2	感じていない	73	24%	61	23%	20	30%	18	18%	14	26%	9	22%	12	31%	0	0%
3	どちらともいえない	130	43%	113	43%	25	38%	46	46%	22	42%	20	49%	17	44%	0	0%
0	無回答	37	12%	35	13%	10	15%	15	15%	5	9%	4	10%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

③文化・情報面の障壁		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	感じている	59	20%	53	20%	11	17%	25	25%	9	17%	8	20%	6	15%	0	0%
2	感じていない	86	29%	74	28%	25	38%	17	17%	19	36%	13	32%	12	31%	0	0%
3	どちらともいえない	114	38%	95	37%	20	30%	42	42%	19	36%	14	34%	19	49%	0	0%
0	無回答	40	13%	38	15%	10	15%	15	15%	6	11%	6	15%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

④意識上の障壁		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	感じている	96	32%	80	31%	17	26%	28	28%	28	53%	7	17%	16	41%	0	0%
2	感じていない	70	23%	60	23%	24	36%	17	17%	9	17%	10	24%	10	26%	0	0%
3	どちらともいえない	101	34%	90	35%	18	27%	40	40%	12	23%	20	49%	11	28%	0	0%
0	無回答	32	11%	30	12%	7	11%	14	14%	4	8%	4	10%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

8. 必要な支援・相談体制について

問28 今の暮らしについて当てはまるもの、また今後このように暮らしたい、暮らす予定について当てはまるものに○をつけてください。(今と今後の欄に1つずつ)

【今】		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	一般の住宅で一人暮らし	38	13%	38	15%	15	23%	5	5%	14	26%	4	10%	0	0%	0	0%
2	家族と一緒に暮らし	147	49%	110	42%	41	62%	43	43%	11	21%	15	37%	37	95%	0	0%
3	グループホームでの暮らし	38	13%	38	15%	0	0%	12	12%	19	36%	7	17%	0	0%	0	0%
4	福祉施設(入所施設)での暮らし	42	14%	42	16%	0	0%	34	34%	2	4%	6	15%	0	0%	0	0%
5	その他	3	1%	3	1%	1	2%	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	31	10%	29	11%	9	14%	4	4%	7	13%	8	20%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%
【今後】		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	一般の住宅で一人暮らし	43	14%	36	14%	8	12%	13	13%	12	23%	3	7%	7	18%	0	0%
2	家族と一緒に暮らし	65	22%	48	18%	18	27%	15	15%	6	11%	9	22%	17	44%	0	0%
3	グループホームでの暮らし	53	18%	48	18%	7	11%	25	25%	11	21%	5	12%	5	13%	0	0%
4	福祉施設(入所施設)での暮らし	56	19%	52	20%	11	17%	21	21%	10	19%	10	24%	4	10%	0	0%
5	その他	6	2%	4	2%	1	2%	0	0%	2	4%	1	2%	2	5%	0	0%
0	無回答	76	25%	72	28%	21	32%	25	25%	12	23%	13	32%	4	10%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問29 次の項目についてあなたがお手伝いを必要とするものは?(いくつでも)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	食事	91	7%	77	7%	9	6%	39	7%	15	10%	14	7%	14	6%	0	0%
2	トイレ(排せつ)	43	3%	31	3%	5	3%	12	2%	4	3%	10	5%	12	5%	0	0%
3	入浴	73	6%	57	6%	10	6%	26	5%	8	5%	13	7%	16	6%	0	0%
4	衣服の着脱	37	3%	25	2%	6	4%	7	1%	3	2%	9	5%	12	5%	0	0%
5	身だしなみ	68	5%	50	5%	8	5%	29	6%	4	3%	9	5%	18	7%	0	0%
6	室内の移動	20	2%	18	2%	4	3%	3	1%	4	3%	7	4%	2	1%	0	0%
7	買い物や通院などの外出	141	11%	112	11%	23	14%	57	11%	13	8%	19	10%	29	11%	0	0%
8	お金の管理	129	10%	104	10%	7	4%	67	13%	12	8%	18	10%	25	10%	0	0%
9	薬の管理	108	8%	86	8%	9	6%	51	10%	12	8%	14	7%	22	9%	0	0%
10	他の人に自分の意思を伝える	84	7%	65	6%	1	1%	41	8%	11	7%	12	6%	19	8%	0	0%
11	書類の管理や手続き	167	13%	139	14%	23	14%	70	13%	27	17%	19	10%	28	11%	0	0%
12	入院時の治療の同意	123	10%	98	10%	13	8%	51	10%	16	10%	18	10%	25	10%	0	0%
13	施設やサービスの契約	125	10%	100	10%	12	8%	58	11%	14	9%	16	8%	25	10%	0	0%
14	その他	11	1%	10	1%	2	1%	2	0%	5	3%	1	1%	1	0%	0	0%
0	無回答	60	5%	55	5%	27	17%	8	2%	9	6%	10	5%	5	2%	1	100%
合計		1280	100%	1027	100%	159	100%	521	100%	157	100%	189	100%	253	100%	1	100%

問30 あなたが一人ではできないことは誰に手伝ってもらいますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	配偶者	42	14%	42	16%	33	50%	0	0%	2	4%	7	17%	0	0%	0	0%
2	親	106	35%	70	27%	6	9%	44	44%	7	13%	13	32%	36	92%	0	0%
3	子	8	3%	8	3%	7	11%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
4	兄弟姉妹	15	5%	14	5%	5	8%	4	4%	2	4%	3	7%	1	3%	0	0%
5	祖父母	2	1%	2	1%	0	0%	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
6	孫	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	ヘルパーや施設の職員	87	29%	87	33%	3	5%	44	44%	28	53%	12	29%	0	0%	0	0%
8	決まった人はいない	20	7%	20	8%	6	9%	3	3%	10	19%	1	2%	0	0%	0	0%
9	その他	4	1%	4	2%	0	0%	1	1%	2	4%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	15	5%	13	5%	6	9%	2	2%	1	2%	3	7%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問31 普段お世話をしてくれる家族などの急病や休養など緊急の理由であなたのお世話ができなくなったときどのように対応しますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	福祉サービスを利用する	114	38%	109	42%	22	33%	47	47%	18	34%	22	54%	5	13%	0	0%
2	親族に協力してもらう	64	21%	44	17%	16	24%	19	19%	2	4%	7	17%	20	51%	0	0%
3	友人、知人に協力してもらう	13	4%	11	4%	4	6%	2	2%	4	8%	1	2%	2	5%	0	0%
4	かかりつけの医師に対応してもらう	7	2%	7	3%	2	3%	0	0%	3	6%	2	5%	0	0%	0	0%
5	特別な対応は必要ない	24	8%	22	8%	6	9%	6	6%	9	17%	1	2%	2	5%	0	0%
6	対応に困っている	38	13%	30	12%	8	12%	8	8%	11	21%	3	7%	8	21%	0	0%
7	その他	6	2%	6	2%	0	0%	4	4%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	33	11%	31	12%	8	12%	13	13%	4	8%	5	12%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問32 日ごろの生活や障害のことなどで困った時誰に相談しますか。(○は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	家族や親族	146	49%	119	46%	48	73%	45	45%	8	15%	18	44%	27	69%	0	0%
2	近所の人	2	1%	2	1%	1	2%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
3	民生委員・児童委員	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4	知人や友人	8	3%	7	3%	2	3%	2	2%	3	6%	0	0%	1	3%	0	0%
5	職場の上司や同僚	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	市役所や保健所、児童相談所の職員	3	1%	3	1%	1	2%	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
7	病院の医師や看護師	17	6%	17	7%	5	8%	1	1%	7	13%	4	10%	0	0%	0	0%
8	障害福祉サービス事業所などの職員	58	19%	57	22%	2	3%	28	28%	19	36%	8	20%	1	3%	0	0%
9	相談支援事業所の職員	15	5%	13	5%	1	2%	4	4%	6	11%	2	5%	2	5%	0	0%
10	保育所・幼稚園・認定こども園の職員	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	学校(小・中・高・特別支援学校)の教職員	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%
12	子育て支援センターやこども発達相談室	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
13	親の会など当事者団体の関係者	2	1%	2	1%	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	ボランティア	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	相談できる人がいない	7	2%	7	3%	2	3%	1	1%	3	6%	1	2%	0	0%	0	0%
16	相談する人がわからない	12	4%	9	3%	1	2%	3	3%	3	6%	2	5%	3	8%	0	0%
17	その他	8	3%	7	3%	0	0%	2	2%	2	4%	3	7%	1	3%	0	0%
0	無回答	18	6%	16	6%	3	5%	9	9%	1	2%	2	5%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問33 あなたが地域で生活していく上で、どのような相談体制が必要ですか。(いくつでも○)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	地域の身近なところで相談することができること	98	13%	83	13%	25	15%	29	13%	22	12%	7	9%	15	13%	0	0%
2	電話、ファクシミリ、メールなどを使って相談ができること	69	9%	63	10%	16	10%	16	7%	22	12%	9	12%	6	5%	0	0%
3	いつでも(24時間)相談ができること	82	11%	70	11%	21	13%	21	10%	22	12%	6	8%	12	10%	0	0%
4	1か所で用件を済ますことができる窓口があること	100	13%	82	13%	34	21%	20	9%	18	10%	10	13%	18	16%	0	0%
5	障害の特性を理解した専門の相談員に相談できること	122	16%	99	15%	21	13%	41	19%	28	15%	9	12%	23	20%	0	0%
6	継続的に相談に応じてくれる人がいること	109	14%	95	15%	21	13%	35	16%	29	16%	10	13%	14	12%	0	0%
7	訪問してもらって相談ができること	78	10%	68	11%	16	10%	22	10%	20	11%	10	13%	10	9%	0	0%
8	同じ悩みがある人による相談ができること	48	6%	38	6%	4	2%	8	4%	21	11%	5	7%	10	9%	0	0%
9	わからない	54	7%	46	7%	7	4%	25	12%	5	3%	9	12%	8	7%	0	0%
10	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%
合計		761	100%	645	100%	165	100%	217	100%	187	100%	75	100%	116	100%	1	100%

9. 障害福祉サービス等の利用状況について

問34 それぞれのサービスについて、利用している場合は満足度、利用していない場合は今後の利用希望について、いずれか1つに○をつけてください。

①居宅介護

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	12	4%	11	4%	3	5%	3	3%	2	4%	3	7%	1	3%	0	0%
2	どちらでもない	32	11%	29	11%	4	6%	11	11%	7	13%	7	17%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	255	85%	220	85%	59	89%	85	86%	44	83%	31	76%	35	90%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	19	6%	18	7%	10	15%	1	1%	5	9%	2	5%	1	3%	0	0%
2	希望しない	52	17%	33	13%	6	9%	16	16%	8	15%	3	7%	19	49%	0	0%
3	わからない	66	22%	55	21%	12	18%	28	28%	10	19%	5	12%	11	28%	0	0%
0	無回答	162	54%	154	59%	38	58%	54	55%	30	57%	31	76%	8	21%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

②重度訪問介護

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	4	2%	4	2%	0	0%	1	1%	1	2%	2	5%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	24	9%	24	9%	5	8%	8	8%	4	8%	7	17%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	231	89%	231	89%	61	92%	89	90%	48	91%	32	78%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	16	6%	16	6%	12	18%	1	1%	2	4%	1	2%	0	0%	0	0%
2	希望しない	39	15%	39	15%	8	12%	19	19%	9	17%	3	7%	0	0%	0	0%
3	わからない	65	25%	65	25%	16	24%	29	29%	13	25%	7	17%	0	0%	0	0%
0	無回答	140	54%	140	54%	30	45%	50	51%	29	55%	30	73%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

③同行援護

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	1	13%	1	13%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	7	88%	7	88%	2	67%	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	1	100%
合計		8	100%	8	100%	3	100%	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	1	13%	1	13%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	希望しない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3	わからない	1	13%	1	13%	0	0%	0	0%	0	0%	1	25%	0	0%	0	0%
0	無回答	6	75%	6	75%	2	67%	0	0%	0	0%	3	75%	0	0%	1	100%
合計		8	100%	8	100%	3	100%	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	1	100%

④行動援護

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	10	4%	10	5%	0	0%	7	7%	1	2%	2	5%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	18	8%	14	7%	0	0%	7	7%	3	6%	4	10%	4	12%	0	0%
3	不満	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	198	87%	168	87%	0	0%	85	86%	48	91%	34	85%	30	88%	1	100%
合計		227	100%	193	100%	0	0%	99	100%	53	100%	40	100%	34	100%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	13	6%	7	4%	0	0%	4	4%	2	4%	1	3%	6	18%	0	0%
2	希望しない	34	15%	27	14%	0	0%	14	14%	8	15%	5	13%	7	21%	0	0%
3	わからない	59	26%	46	24%	0	0%	28	28%	12	23%	6	15%	13	38%	0	0%
0	無回答	121	53%	113	59%	0	0%	53	54%	31	58%	28	70%	8	24%	1	100%
合計		227	100%	193	100%	0	0%	99	100%	53	100%	40	100%	34	100%	1	100%

⑤療養介護

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	6	2%	6	2%	0	0%	3	3%	2	4%	1	2%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	21	8%	21	8%	3	5%	8	8%	4	8%	6	15%	0	0%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	233	90%	233	90%	63	95%	88	89%	47	89%	34	83%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	21	8%	21	8%	11	17%	3	3%	4	8%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	34	13%	34	13%	6	9%	16	16%	8	15%	4	10%	0	0%	0	0%
3	わからない	69	27%	69	27%	20	30%	30	30%	11	21%	8	20%	0	0%	0	0%
0	無回答	136	52%	136	52%	29	44%	50	51%	30	57%	26	63%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑥生活介護

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	32	12%	32	12%	2	3%	16	16%	5	9%	9	22%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	29	11%	29	11%	5	8%	14	14%	5	9%	5	12%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	198	76%	198	76%	59	89%	69	70%	42	79%	27	66%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	24	9%	24	9%	12	18%	5	5%	5	9%	2	5%	0	0%	0	0%
2	希望しない	31	12%	31	12%	4	6%	13	13%	10	19%	4	10%	0	0%	0	0%
3	わからない	56	22%	56	22%	20	30%	22	22%	8	15%	6	15%	0	0%	0	0%
0	無回答	149	57%	149	57%	30	45%	59	60%	30	57%	29	71%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑦短期入所

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	9	3%	9	3%	1	2%	6	6%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	27	9%	23	9%	2	3%	12	12%	5	9%	4	10%	4	10%	0	0%
3	不満	8	3%	7	3%	0	0%	5	5%	0	0%	2	5%	1	3%	0	0%
0	無回答	255	85%	221	85%	63	95%	76	77%	48	91%	33	80%	34	87%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	29	10%	24	9%	11	17%	5	5%	5	9%	3	7%	5	13%	0	0%
2	希望しない	46	15%	33	13%	5	8%	14	14%	8	15%	6	15%	13	33%	0	0%
3	わからない	65	22%	52	20%	16	24%	22	22%	10	19%	4	10%	13	33%	0	0%
0	無回答	159	53%	151	58%	34	52%	58	59%	30	57%	28	68%	8	21%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑧重度障害者等包括支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	2	1%	2	1%	1	2%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	26	9%	23	9%	3	5%	10	10%	4	8%	6	15%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	271	91%	235	90%	62	94%	88	89%	49	92%	35	85%	36	92%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	13	4%	10	4%	7	11%	1	1%	2	4%	0	0%	3	8%	0	0%
2	希望しない	58	19%	39	15%	5	8%	18	18%	10	19%	6	15%	19	49%	0	0%
3	わからない	75	25%	64	25%	18	27%	28	28%	11	21%	7	17%	11	28%	0	0%
0	無回答	153	51%	147	57%	36	55%	52	53%	30	57%	28	68%	6	15%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

⑨施設入所支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	25	10%	25	10%	1	2%	16	16%	3	6%	5	12%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	31	12%	31	12%	3	5%	14	14%	7	13%	7	17%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	203	78%	203	78%	62	94%	69	70%	42	79%	29	71%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	27	10%	27	10%	10	15%	9	9%	5	9%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	34	13%	34	13%	8	12%	14	14%	8	15%	4	10%	0	0%	0	0%
3	わからない	45	17%	45	17%	18	27%	16	16%	7	13%	4	10%	0	0%	0	0%
0	無回答	154	59%	154	59%	30	45%	60	61%	33	62%	30	73%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑩ 自立訓練

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	7	3%	7	3%	0	0%	4	4%	2	4%	1	2%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	28	11%	28	11%	5	8%	10	10%	5	9%	8	20%	0	0%	0	0%
3	不満	2	1%	2	1%	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	223	86%	223	86%	61	92%	83	84%	46	87%	32	78%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	19	7%	19	7%	8	12%	5	5%	4	8%	2	5%	0	0%	0	0%
2	希望しない	27	10%	27	10%	8	12%	9	9%	8	15%	2	5%	0	0%	0	0%
3	わからない	66	25%	66	25%	17	26%	31	31%	10	19%	8	20%	0	0%	0	0%
0	無回答	148	57%	148	57%	33	50%	54	55%	31	58%	29	71%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑪ 就労移行支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	18	7%	18	7%	0	0%	11	11%	4	8%	3	7%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	23	9%	23	9%	4	6%	10	10%	5	9%	4	10%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	218	84%	218	84%	62	94%	77	78%	44	83%	34	83%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	6	2%	6	2%	1	2%	1	1%	1	2%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	47	18%	47	18%	16	24%	17	17%	8	15%	6	15%	0	0%	0	0%
3	わからない	55	21%	55	21%	16	24%	22	22%	13	25%	4	10%	0	0%	0	0%
0	無回答	152	58%	152	58%	33	50%	59	60%	31	58%	28	68%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑫就労継続支援（A型）

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	8	3%	8	3%	1	2%	4	4%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	25	10%	25	10%	5	8%	10	10%	6	11%	4	10%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	226	87%	226	87%	60	91%	85	86%	44	83%	36	88%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	5	2%	5	2%	1	2%	1	1%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%
2	希望しない	49	19%	49	19%	15	23%	19	19%	7	13%	8	20%	0	0%	0	0%
3	わからない	56	22%	56	22%	16	24%	23	23%	14	26%	3	7%	0	0%	0	0%
0	無回答	150	58%	150	58%	34	52%	56	57%	29	55%	30	73%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑬就労継続支援（B型）

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	46	18%	46	18%	1	2%	25	25%	15	28%	5	12%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	41	16%	41	16%	4	6%	21	21%	7	13%	9	22%	0	0%	0	0%
3	不満	5	2%	5	2%	0	0%	1	1%	3	6%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	168	65%	168	65%	61	92%	52	53%	28	53%	26	63%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	5	2%	5	2%	0	0%	2	2%	1	2%	2	5%	0	0%	0	0%
2	希望しない	42	16%	42	16%	16	24%	14	14%	5	9%	7	17%	0	0%	0	0%
3	わからない	32	12%	32	12%	16	24%	10	10%	4	8%	2	5%	0	0%	0	0%
0	無回答	181	70%	181	70%	34	52%	73	74%	43	81%	30	73%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑭就労定着支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	4	2%	4	2%	0	0%	2	2%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	24	9%	24	9%	4	6%	10	10%	6	11%	4	10%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	231	89%	231	89%	62	94%	86	87%	47	89%	35	85%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	6	2%	6	2%	1	2%	2	2%	2	4%	1	2%	0	0%	0	0%
2	希望しない	45	17%	45	17%	15	23%	14	14%	8	15%	8	20%	0	0%	0	0%
3	わからない	64	25%	64	25%	17	26%	30	30%	14	26%	3	7%	0	0%	0	0%
0	無回答	145	56%	145	56%	33	50%	53	54%	29	55%	29	71%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑮ 自立生活援助

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	6	2%	6	2%	1	2%	3	3%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	28	11%	28	11%	4	6%	12	12%	6	11%	6	15%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	225	87%	225	87%	61	92%	83	84%	45	85%	35	85%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	17	7%	17	7%	7	11%	3	3%	4	8%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	30	12%	30	12%	7	11%	15	15%	6	11%	2	5%	0	0%	0	0%
3	わからない	64	25%	64	25%	19	29%	27	27%	11	21%	7	17%	0	0%	0	0%
0	無回答	149	57%	149	57%	33	50%	54	55%	32	60%	29	71%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑯ 共同生活援助

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	25	10%	25	10%	0	0%	8	8%	13	25%	4	10%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	35	13%	35	13%	5	8%	13	13%	11	21%	6	15%	0	0%	0	0%
3	不満	5	2%	5	2%	0	0%	2	2%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	195	75%	195	75%	61	92%	76	77%	26	49%	31	76%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	26	10%	26	10%	6	9%	11	11%	6	11%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	37	14%	37	14%	9	14%	16	16%	7	13%	5	12%	0	0%	0	0%
3	わからない	42	16%	42	16%	18	27%	18	18%	3	6%	3	7%	0	0%	0	0%
0	無回答	155	60%	155	60%	33	50%	54	55%	37	70%	30	73%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑰地域移行支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	5	2%	5	2%	0	0%	4	4%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	27	10%	27	10%	5	8%	11	11%	5	9%	6	15%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	227	87%	227	87%	61	92%	83	84%	47	89%	35	85%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	13	5%	13	5%	4	6%	1	1%	5	9%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	35	13%	35	13%	9	14%	15	15%	7	13%	4	10%	0	0%	0	0%
3	わからない	66	25%	66	25%	20	30%	29	29%	11	21%	6	15%	0	0%	0	0%
0	無回答	146	56%	146	56%	33	50%	54	55%	30	57%	28	68%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

⑱地域定着支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	2	1%	2	1%	0	0%	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	26	10%	26	10%	5	8%	11	11%	5	9%	5	12%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	231	89%	231	89%	61	92%	87	88%	47	89%	35	85%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	17	7%	17	7%	8	12%	1	1%	5	9%	3	7%	0	0%	0	0%
2	希望しない	32	12%	32	12%	6	9%	16	16%	6	11%	4	10%	0	0%	0	0%
3	わからない	67	26%	67	26%	18	27%	31	31%	12	23%	6	15%	0	0%	0	0%
0	無回答	144	55%	144	55%	34	52%	51	52%	30	57%	28	68%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

①計画相談支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	38	15%	38	15%	3	5%	20	20%	9	17%	6	15%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	37	14%	37	14%	6	9%	16	16%	10	19%	5	12%	0	0%	0	0%
3	不満	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
0	無回答	184	71%	184	71%	57	86%	63	64%	34	64%	29	71%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	14	5%	14	5%	5	8%	3	3%	5	9%	1	2%	0	0%	0	0%
2	希望しない	23	9%	23	9%	6	9%	8	8%	5	9%	4	10%	0	0%	0	0%
3	わからない	45	17%	45	17%	17	26%	17	17%	6	11%	5	12%	0	0%	0	0%
0	無回答	178	68%	178	68%	38	58%	71	72%	37	70%	31	76%	0	0%	1	100%
合計		260	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	0	0%	1	100%

②児童発達支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	6	15%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	6	15%	0	0%
2	どちらでもない	3	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
3	不満	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
0	無回答	29	74%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	29	74%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	7	18%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7	18%	0	0%
2	希望しない	9	23%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	9	23%	0	0%
3	わからない	10	26%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	10	26%	0	0%
0	無回答	13	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	13	33%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

②放課後等デイサービス

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	11	28%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	11	28%	0	0%
2	どちらでもない	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%	0	0%
3	不満	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
0	無回答	23	59%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	23	59%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	8	21%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	21%	0	0%
2	希望しない	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%	0	0%
3	わからない	10	26%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	10	26%	0	0%
0	無回答	17	44%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	17	44%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

②医療型児童発達支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	3	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	36	92%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	36	92%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	3	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
2	希望しない	15	38%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	15	38%	0	0%
3	わからない	13	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	13	33%	0	0%
0	無回答	8	21%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	21%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

② 居宅訪問型児童発達支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	3	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	36	92%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	36	92%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
2	希望しない	16	41%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	16	41%	0	0%
3	わからない	14	36%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	14	36%	0	0%
0	無回答	8	21%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	21%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

④ 保育所等訪問支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
2	どちらでもない	3	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	35	90%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	35	90%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%
今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%
2	希望しない	20	51%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	20	51%	0	0%
3	わからない	6	15%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	6	15%	0	0%
0	無回答	11	28%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	11	28%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

⑤ 福祉型児童入所支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
2	どちらでもない	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	36	92%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	36	92%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%
2	希望しない	16	41%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	16	41%	0	0%
3	わからない	12	31%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	12	31%	0	0%
0	無回答	9	23%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	9	23%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

㊸医療型児童入所支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	3	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	36	92%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	36	92%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	希望しない	19	49%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	19	49%	0	0%
3	わからない	11	28%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	11	28%	0	0%
0	無回答	9	23%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	9	23%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

㊸障害児相談支援・計画相談支援

満足度		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	8	21%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	8	21%	0	0%
2	どちらでもない	6	15%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	6	15%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	25	64%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	25	64%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

今後の利用希望		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	5	13%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	13%	0	0%
2	希望しない	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%	0	0%
3	わからない	12	31%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	12	31%	0	0%
0	無回答	18	46%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	18	46%	0	0%
合計		39	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	39	100%	0	0%

㊸日中一時支援

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	25	8%	16	6%	0	0%	10	10%	1	2%	5	12%	9	23%	0	0%
2	どちらでもない	23	8%	18	7%	4	6%	7	7%	3	6%	4	10%	5	13%	0	0%
3	不満	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%
0	無回答	249	83%	226	87%	62	94%	82	83%	49	92%	32	78%	23	59%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	13	4%	10	4%	5	8%	2	2%	2	4%	1	2%	3	8%	0	0%
2	希望しない	33	11%	27	10%	4	6%	9	9%	12	23%	2	5%	6	15%	0	0%
3	わからない	54	18%	42	16%	12	18%	22	22%	5	9%	3	7%	12	31%	0	0%
0	無回答	199	67%	181	70%	45	68%	66	67%	34	64%	35	85%	18	46%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

㊹移動支援

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	13	4%	12	5%	1	2%	9	9%	0	0%	2	5%	1	3%	0	0%
2	どちらでもない	19	6%	15	6%	3	5%	6	6%	3	6%	3	7%	4	10%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	267	89%	233	90%	62	94%	84	85%	50	94%	36	88%	34	87%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	19	6%	15	6%	6	9%	5	5%	3	6%	1	2%	4	10%	0	0%
2	希望しない	43	14%	30	12%	4	6%	11	11%	11	21%	4	10%	13	33%	0	0%
3	わからない	50	17%	36	14%	10	15%	18	18%	5	9%	3	7%	14	36%	0	0%
0	無回答	187	63%	179	69%	46	70%	65	66%	34	64%	33	80%	8	21%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

㊺訪問入浴

満足度		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	満足	2	1%	2	1%	0	0%	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
2	どちらでもない	16	5%	13	5%	3	5%	5	5%	3	6%	2	5%	3	8%	0	0%
3	不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	281	94%	245	94%	63	95%	93	94%	50	94%	38	93%	36	92%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%
今後の利用希望		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	希望する	9	3%	9	3%	3	5%	2	2%	2	4%	2	5%	0	0%	0	0%
2	希望しない	58	19%	37	14%	5	8%	15	15%	12	23%	5	12%	21	54%	0	0%
3	わからない	59	20%	47	18%	14	21%	25	25%	5	9%	3	7%	12	31%	0	0%
0	無回答	173	58%	167	64%	44	67%	57	58%	34	64%	31	76%	6	15%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問35 あなたが利用しているまたは利用していたサービスのうち、不満に思っているサービスがあれば、回答してください。

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	居宅介護(ホームヘルプ)	8	3%	6	2%	1	2%	1	1%	3	6%	1	2%	2	5%	0	0%
2	重度訪問介護	4	1%	4	2%	1	2%	1	1%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%
3	同行援護	4	1%	4	2%	0	0%	2	2%	1	2%	1	2%	0	0%	0	0%
4	行動援護	4	1%	3	1%	0	0%	0	0%	3	6%	0	0%	1	3%	0	0%
5	療養介護	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	生活介護	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
7	短期入所(ショートステイ)	7	2%	6	2%	1	2%	3	3%	0	0%	2	5%	1	3%	0	0%
8	重度障害者等包括支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9	施設入所支援	4	1%	4	2%	1	2%	2	2%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
10	自立訓練	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	就労移行支援	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
12	就労継続支援(A型)	4	1%	4	2%	0	0%	1	1%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%
13	就労継続支援(B型)	6	2%	6	2%	0	0%	2	2%	3	6%	1	2%	0	0%	0	0%
14	就労定着支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	自立生活援助	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
16	共同生活援助(グループホーム)	4	1%	4	2%	0	0%	2	2%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%
17	地域移行支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
18	地域定着支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
19	計画相談支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	児童発達支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
21	放課後等デイサービス	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
22	医療型児童発達支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
23	居宅訪問型児童発達支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
24	保育所等訪問支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
25	福祉型児童入所支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
26	医療型児童入所支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
27	障害児相談支援・計画相談支援	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
28	日中一時支援	3	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	8%	0	0%
29	移動支援	1	0%	1	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
30	訪問入浴	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
0	無回答	246	82%	215	83%	61	92%	83	84%	35	66%	35	85%	31	79%	1	100%
	合計	299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

【理由】	合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1 サービス内容が希望や適性に合っていないと感じるから	7	2%	5	2%	0	0%	2	2%	3	6%	0	0%	2	5%	0	0%
2 障害の特性に応じた配慮が足りないと感じるから	8	3%	7	3%	1	2%	1	1%	4	8%	1	2%	1	3%	0	0%
3 サービスについての計画の提示や十分な説明が足りないと感じるから	4	1%	3	1%	0	0%	3	3%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
4 苦情対応など事業所の対応方法について説明がないと感じるから	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
5 サービス提供者と十分なコミュニケーションが取れていないと感じるから	4	1%	4	2%	0	0%	2	2%	1	2%	1	2%	0	0%	0	0%
6 その他	8	3%	7	3%	1	2%	3	3%	3	6%	0	0%	1	3%	0	0%
0 無回答	267	89%	233	90%	64	97%	88	89%	41	77%	39	95%	34	87%	1	100%
合計	299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

〈高校生（相当年齢）以上の方に伺います ※在学中の人は除く〉

10.仕事について

問36 あなたは仕事をしていますか？（○は1つ）

	合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1 仕事（一般就労）をしている	20	7%	20	8%	9	14%	8	8%	0	0%	3	7%	0	0%	0	0%
2 仕事（就労支援施設への通所）をしている	88	33%	88	34%	3	5%	49	49%	27	51%	9	22%	0	0%	0	0%
3 仕事をしたことはあるが今はしていない	54	20%	54	21%	25	38%	5	5%	18	34%	6	15%	0	0%	0	0%
4 これまで仕事をしたことがない	46	17%	46	18%	7	11%	29	29%	1	2%	9	22%	0	0%	0	0%
5 その他	9	3%	9	3%	2	3%	1	1%	3	6%	3	7%	0	0%	0	0%
0 無回答	51	19%	43	17%	20	30%	7	7%	4	8%	11	27%	8	100%	1	100%
合計	268	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	8	100%	1	100%

問37 仕事に関してあなたには相談相手や理解者がいますか？（○は1つ）

	合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1 職場の同僚	17	6%	17	7%	6	9%	5	5%	3	6%	3	7%	0	0%	0	0%
2 職場の上司	27	10%	27	10%	4	6%	11	11%	10	19%	2	5%	0	0%	0	0%
3 職場適応援助者（ジョブコーチ）	7	3%	7	3%	0	0%	5	5%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%
4 福祉関係者	51	19%	51	20%	1	2%	26	26%	17	32%	7	17%	0	0%	0	0%
5 家族	50	19%	50	19%	20	30%	18	18%	5	9%	7	17%	0	0%	0	0%
6 友人・知人	2	1%	2	1%	1	2%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
7 いない	23	9%	23	9%	4	6%	10	10%	9	17%	0	0%	0	0%	0	0%
8 その他	6	2%	6	2%	2	3%	1	1%	1	2%	2	5%	0	0%	0	0%
0 無回答	85	32%	77	30%	28	42%	23	23%	7	13%	18	44%	8	100%	1	100%
合計	268	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	8	100%	1	100%

問38 仕事をする上で、配慮があると感じる（感じた）ことがありますか。（いくつでも○）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
1	スロープや昇降機などを設置している	22	5%	22	5%	3	4%	8	5%	7	7%	4	6%	0	0%	0	0%
2	デスクの配置や構造、仕切りの入りなどに配慮している	25	6%	25	6%	3	4%	8	5%	7	7%	7	10%	0	0%	0	0%
3	障害の特性に応じた専用の業務ソフトなどを導入している	11	3%	11	3%	0	0%	2	1%	6	6%	3	4%	0	0%	0	0%
4	写真や図入りマニュアルなど業務を見えるかたちになっている	22	5%	22	5%	2	2%	12	8%	4	4%	4	6%	0	0%	0	0%
5	出勤時間や勤務時間の調整、在宅勤務など柔軟に対応している	47	11%	47	11%	9	11%	17	11%	15	15%	6	8%	0	0%	0	0%
6	業務内容や業務量を調整している	45	11%	45	11%	6	7%	23	14%	11	11%	5	7%	0	0%	0	0%
7	支援員や通訳者など専門職員を配置している	35	8%	35	8%	4	5%	18	11%	10	10%	3	4%	0	0%	0	0%
8	職場適応援助者（ジョブコーチ）を配置している	8	2%	8	2%	1	1%	3	2%	0	0%	4	6%	0	0%	0	0%
9	障害について職員が研修している	24	6%	24	6%	1	1%	11	7%	9	9%	3	4%	0	0%	0	0%
10	配慮を感じたことはない	21	5%	21	5%	5	6%	5	3%	7	7%	4	6%	0	0%	0	0%
11	その他	14	3%	14	3%	5	6%	4	3%	4	4%	1	1%	0	0%	0	0%
0	無回答	152	36%	144	34%	46	54%	49	31%	21	21%	27	38%	8	100%	1	100%
	合計	426	100%	418	100%	85	100%	160	100%	101	100%	71	100%	8	100%	1	100%

問39 仕事を始める、または続けるために必要なことは何ですか。（いくつでも○）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
1	自分にあった仕事や働く場を見つけられる	95	15%	95	15%	15	12%	46	18%	24	13%	10	14%	0	0%	0	0%
2	就職や仕事に関する情報を手に入れやすい	34	5%	34	5%	4	3%	15	6%	13	7%	2	3%	0	0%	0	0%
3	仕事の仕方や社会生活の基本的なマナーを教えてくれる	39	6%	39	6%	1	1%	25	10%	8	4%	5	7%	0	0%	0	0%
4	職場適応援助者（ジョブコーチ）を利用できる	19	3%	19	3%	1	1%	11	4%	5	3%	2	3%	0	0%	0	0%
5	上司や同僚の理解・支援	68	11%	68	11%	11	9%	28	11%	24	13%	5	7%	0	0%	0	0%
6	勤務時間や業務量を調整できる	65	10%	65	10%	12	10%	25	10%	23	13%	5	7%	0	0%	0	0%
7	長い期間在籍して働くことができる	40	6%	40	6%	8	6%	15	6%	13	7%	4	6%	0	0%	0	0%
8	障害のある人もない人も給料や待遇の差がない	54	8%	54	8%	13	10%	17	7%	19	10%	5	7%	0	0%	0	0%
9	行政が事業主に指導や助成をする	20	3%	20	3%	3	2%	5	2%	10	6%	2	3%	0	0%	0	0%
10	在宅勤務ができる	18	3%	18	3%	5	4%	6	2%	5	3%	2	3%	0	0%	0	0%
11	交通手段を確保してくれる	57	9%	57	9%	7	6%	28	11%	19	10%	3	4%	0	0%	0	0%
12	通勤にヘルパー利用が認められる	9	1%	9	1%	2	2%	3	1%	1	1%	3	4%	0	0%	0	0%
13	その他	10	2%	10	2%	2	2%	2	1%	4	2%	2	3%	0	0%	0	0%
0	無回答	117	18%	109	17%	40	32%	35	13%	13	7%	20	29%	8	100%	1	100%
	合計	645	100%	637	100%	124	100%	261	100%	181	100%	70	100%	8	100%	1	100%

問40 (仕事をしていない方に伺います) 現在、仕事をしていない理由は何ですか。(いくつでも○)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
1	仕事ができるところが見つからない	23	7%	23	7%	6	7%	6	5%	8	11%	3	6%	0	0%	0	0%
2	通勤が困難	13	4%	13	4%	6	7%	3	3%	2	3%	2	4%	0	0%	0	0%
3	理解や支援が受けられない	15	4%	15	5%	2	2%	7	6%	6	8%	0	0%	0	0%	0	0%
4	体調面で就業が困難	24	7%	24	7%	11	13%	3	3%	4	5%	6	12%	0	0%	0	0%
5	仕事についていくことが困難	29	9%	29	9%	2	2%	16	13%	6	8%	5	10%	0	0%	0	0%
6	人間関係に不安がある	14	4%	14	4%	3	4%	4	3%	6	8%	1	2%	0	0%	0	0%
7	医師や家族に止められている	4	1%	4	1%	2	2%	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
8	働く意欲がわからない	11	3%	11	3%	3	4%	4	3%	3	4%	1	2%	0	0%	0	0%
9	勤務中に介助が受けられない	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10	その他	29	9%	29	9%	6	7%	8	7%	8	11%	7	14%	0	0%	0	0%
0	無回答	172	51%	164	50%	41	50%	67	56%	31	41%	24	49%	8	100%	1	100%
	合計	335	100%	327	100%	82	100%	119	100%	76	100%	49	100%	8	100%	1	100%

<18歳未満の方に伺います>

11. 学校など日常の過ごし方について

問41 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(いくつでも○)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
1	幼稚園、保育園、こども園	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	児童発達支援	5	12%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	12%	0	0%
3	小中学校	23	56%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	23	56%	0	0%
4	高校	7	17%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7	17%	0	0%
5	どこにも通っていない	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
6	その他	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%	0	0%
0	無回答	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
	合計	41	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	41	100%	0	0%

問4 2 あなたは夏休み、冬休みなどの長期休暇中はどう過ごしていますか。(いくつでも○)

	合計	合計(者)	身体	知的	精神	重複	児童	無回答
1 自宅で家族と過ごす	30	9%	0	0%	0	0%	0	0%
2 塾・習い事に通う	7	2%	0	0%	0	0%	7	9%
3 部活動(学校内)	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
4 学童保育へ行く	2	1%	0	0%	0	0%	2	3%
5 短期入所を利用する	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6 日中一時支援を利用する	14	4%	0	0%	0	0%	14	18%
7 一人で過ごす	4	1%	0	0%	0	0%	4	5%
8 ヘルパー等と外出する	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
9 児童発達支援・放課後デイサービスを利用する	16	5%	0	0%	0	0%	16	21%
10 特に何もしていない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11 その他	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
0 無回答	261	77%	260	100%	66	100%	99	100%
合計	337	100%	260	100%	66	100%	99	100%

問4 3 あなたは放課後や夏休みなど学校や保育所等以外の時間はどのように過ごしたいと思いますか。(いくつでも○)

	合計	合計(者)	身体	知的	精神	重複	児童	無回答
1 同世代の子どもと遊びたい	19	6%	0	0%	0	0%	0	0%
2 学校、児童館や学童保育所など身近な施設で過ごしたい	2	1%	0	0%	0	0%	2	2%
3 塾・習い事に通いたい	4	1%	0	0%	0	0%	4	5%
4 放課後デイサービスを利用したい	13	4%	0	0%	0	0%	13	16%
5 ヘルパー等と外出したい	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
6 趣味活動をした	11	3%	0	0%	0	0%	11	13%
7 地域の方と交流したい	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
8 自宅でゆっくり過ごしたい	28	8%	0	0%	0	0%	0	0%
9 特にな	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
10 その他	1	0%	0	0%	0	0%	1	1%
0 無回答	261	76%	260	100%	66	100%	99	100%
合計	342	100%	260	100%	66	100%	99	100%

問4 4 あなたは外出時にどのようなサービスがあるとよいと思いますか。(いくつでも○)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	外出時の介助者等の派遣	9	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	9	14%	0	0%
2	介助者付の送迎サービス	7	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7	11%	0	0%
3	待ち時間に利用できるプレイスペース	10	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	10	15%	0	0%
4	イベントや遊び場の情報	14	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	14	22%	0	0%
5	バスやタクシーの助成	19	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	19	29%	0	0%
6	その他	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
0	無回答	265	82%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	5	8%	1	100%
合計		325	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	65	100%	1	100%

1 2. 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などについて

問4 5 あなたは文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などの活動を行っていますか。(○は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	行っている	71	24%	64	25%	14	21%	28	28%	11	21%	11	27%	7	18%	0	0%
2	行っていない	139	46%	108	42%	25	38%	43	43%	25	47%	15	37%	31	79%	0	0%
0	無回答	89	30%	88	34%	27	41%	28	28%	17	32%	15	37%	1	3%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問4 6 活動する上での課題・問題点がありますか。(いくつでも○)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	身近にできる場所や環境がない	55	13%	46	12%	9	10%	21	14%	12	14%	4	8%	9	15%	0	0%
2	移動手段がない	44	10%	37	10%	8	9%	16	11%	9	11%	4	8%	7	11%	0	0%
3	お金がかかる	53	12%	45	12%	12	13%	13	9%	14	17%	6	12%	8	13%	0	0%
4	活動をPRする機会がない	6	1%	6	2%	0	0%	4	3%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%
5	身近に指導者・協力者がいない	23	5%	18	5%	4	4%	7	5%	4	5%	3	6%	5	8%	0	0%
6	身近に必要な人数を揃えられない	6	1%	5	1%	1	1%	2	1%	1	1%	1	2%	1	2%	0	0%
7	情報が不足している	45	10%	36	10%	9	10%	15	10%	8	10%	4	8%	9	15%	0	0%
8	特にない	68	16%	53	14%	13	14%	24	16%	8	10%	8	16%	15	24%	0	0%
9	その他	12	3%	11	3%	0	0%	6	4%	4	5%	1	2%	1	2%	0	0%
0	無回答	124	28%	117	31%	34	38%	41	28%	21	25%	20	39%	7	11%	1	100%
合計		436	100%	374	100%	90	100%	149	100%	83	100%	51	100%	62	100%	1	100%

13. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問48 帯広市は障害のある人もない人も住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	そう思う	52	17%	44	17%	7	11%	20	20%	11	21%	6	15%	8	21%	0	0%
2	少し思う	47	16%	44	17%	15	23%	15	15%	7	13%	7	17%	3	8%	0	0%
3	どちらともいえない	71	24%	62	24%	20	30%	25	25%	7	13%	10	24%	9	23%	0	0%
4	あまり思わない	34	11%	27	10%	6	9%	10	10%	9	17%	2	5%	7	18%	0	0%
5	思わない	22	7%	16	6%	4	6%	4	4%	5	9%	3	7%	6	15%	0	0%
6	わからない	41	14%	37	14%	3	5%	21	21%	9	17%	4	10%	4	10%	0	0%
0	無回答	32	11%	30	12%	11	17%	4	4%	5	9%	9	22%	2	5%	1	100%
合計		299	100%	260	100%	66	100%	99	100%	53	100%	41	100%	39	100%	1	100%

問49 次の選択肢のうち「進んでいる」または「ある程度進んでいる」と思うものを教えてください。(回答は5つまで)

		合計		合計(者)		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	34	7%	29	6%	8	8%	9	5%	5	5%	7	10%	5	7%	0	0%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	17	3%	13	3%	2	2%	5	3%	4	4%	2	3%	4	5%	0	0%
3	地域で生活するための支援の充実	29	6%	27	6%	4	4%	10	6%	9	8%	4	6%	2	3%	0	0%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	32	6%	30	7%	5	5%	11	6%	7	7%	7	10%	2	3%	0	0%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	18	3%	17	4%	7	7%	4	2%	4	4%	2	3%	1	1%	0	0%
6	入所施設や病院の充実	33	6%	31	7%	5	5%	8	5%	13	12%	5	7%	2	3%	0	0%
7	就労支援の充実	30	6%	29	6%	5	5%	11	6%	11	10%	2	3%	1	1%	0	0%
8	発達相談の充実等により障害を早期発見し適切な支援を受けられること	20	4%	11	2%	1	1%	7	4%	1	1%	2	3%	9	12%	0	0%
9	障害のあるなしにかかわらず市民がふれあう場の提供	14	3%	12	3%	2	2%	7	4%	3	3%	0	0%	2	3%	0	0%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	15	3%	5	1%	2	2%	2	1%	0	0%	1	1%	10	14%	0	0%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	10	2%	5	1%	2	2%	3	2%	0	0%	0	0%	5	7%	0	0%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	14	3%	10	2%	2	2%	3	2%	4	4%	1	1%	4	5%	0	0%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	14	3%	11	2%	1	1%	5	3%	3	3%	2	3%	3	4%	0	0%
14	悩みや福祉にかかわるサービスなどについての相談体制の充実	23	4%	21	5%	2	2%	6	4%	8	8%	5	7%	2	3%	0	0%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	11	2%	11	2%	3	3%	3	2%	2	2%	3	4%	0	0%	0	0%
16	ボランティアの育成・確保	13	2%	12	3%	5	5%	4	2%	1	1%	2	3%	1	1%	0	0%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	17	3%	12	3%	1	1%	7	4%	2	2%	2	3%	5	7%	0	0%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	7	1%	6	1%	3	3%	3	2%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	3	1%	3	1%	2	2%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	福祉機器を普及・開発すること	4	1%	4	1%	2	2%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
21	その他	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
0	無回答	163	31%	151	34%	38	37%	60	35%	29	27%	23	32%	12	16%	1	100%
合計		523	100%	450	100%	102	100%	170	100%	106	100%	71	100%	73	100%	1	100%

問50 次の選択肢のうち「今後重点的に進めるべき」と思うものを教えてください。（回答は5つまで）

		合計		合計（者）		身体		知的		精神		重複		児童		無回答	
1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	53	7%	42	6%	5	3%	18	7%	12	9%	7	7%	11	8%	0	0%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	65	8%	52	8%	9	5%	24	10%	11	8%	8	8%	13	10%	0	0%
3	地域で生活するための支援の充実	61	8%	47	7%	12	7%	18	7%	13	10%	4	4%	14	11%	0	0%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	51	7%	41	6%	16	10%	12	5%	7	5%	6	6%	10	8%	0	0%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	34	4%	30	5%	12	7%	5	2%	8	6%	5	5%	4	3%	0	0%
6	入所施設や病院の充実	56	7%	46	7%	16	10%	11	5%	8	6%	11	11%	10	8%	0	0%
7	就労支援の充実	42	5%	35	5%	7	4%	11	5%	10	7%	7	7%	7	5%	0	0%
8	発達相談の充実等により障害を早期発見し適切な支援を受けられること	22	3%	16	2%	3	2%	7	3%	3	2%	3	3%	6	5%	0	0%
9	障害のあるなしにかかわらず市民がふれあう場の提供	26	3%	25	4%	7	4%	11	5%	4	3%	3	3%	1	1%	0	0%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	17	2%	10	2%	4	2%	3	1%	2	1%	1	1%	7	5%	0	0%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	8	1%	5	1%	1	1%	2	1%	0	0%	2	2%	3	2%	0	0%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	20	3%	19	3%	7	4%	7	3%	3	2%	2	2%	1	1%	0	0%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	30	4%	21	3%	2	1%	9	4%	5	4%	5	5%	9	7%	0	0%
14	悩みや福祉にかかわるサービスなどについての相談体制の充実	35	4%	31	5%	10	6%	12	5%	7	5%	2	2%	4	3%	0	0%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	26	3%	21	3%	4	2%	12	5%	2	1%	3	3%	5	4%	0	0%
16	ボランティアの育成・確保	19	2%	17	3%	4	2%	5	2%	3	2%	5	5%	2	2%	0	0%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	45	6%	37	6%	10	6%	13	5%	6	4%	8	8%	8	6%	0	0%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	13	2%	11	2%	3	2%	4	2%	2	1%	2	2%	2	2%	0	0%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	24	3%	22	3%	6	4%	10	4%	4	3%	2	2%	2	2%	0	0%
20	福祉機器を普及・開発すること	14	2%	10	2%	3	2%	5	2%	1	1%	1	1%	4	3%	0	0%
21	その他	4	1%	3	0%	1	1%	0	0%	2	1%	0	0%	1	1%	0	0%
0	無回答	116	15%	109	17%	26	15%	44	18%	21	16%	17	16%	7	5%	1	100%
	合計	781	100%	650	100%	168	100%	243	100%	134	100%	104	100%	131	100%	1	100%

3. ②障害のある人向け調査

<その他記載>

1. あなたのことについて

問2 あなたはだれと一緒に生活していますか。

身体	35～39歳	配偶者の親
知的	45～49歳	下宿
重複	20～24歳	彼氏

問7 あなたは手帳に記載以外の難病（特定疾患）や障害などの診断を受けたことがありますか。

身体	80歳以上	難病～天ぼう症
知的	30～34歳	ダウン症
知的	50～54歳	精神発達遅滞
知的	35～39歳	てんかん
知的	25～29歳	精神遅達
知的	20～24歳	知的障害
知的	35～39歳	知的障がい
精神	50～54歳	精神科 統合失調症
精神	55～59歳	座骨神経痛
精神	65～69歳	特にありません。
精神	40～44歳	統合失調症
精神	65～69歳	受けたことがない
重複	35～39歳	自閉症
重複	25～29歳	フォロー四徴症、左肺動脈欠損
重複	75～79歳	人工透析
重複	50～54歳	ぜん息
児童	就学前	ダウン症
児童	小学生	知的症
身体	75～79歳	2週に一度抗癌剤治療を受けている（サポートあり）
身体	70～74歳	免疫療法
身体	60～64歳	人工関節
知的	35～39歳	精神科受診・投薬（自閉症、てんかん）
精神	65～69歳	医療相談
重複	70～74歳	心臓 ペースメーカー装着
児童	小学生	認知行動療法（ペアレントトレーニング・カウンセリング）

3. 福祉に関する情報について

問12 障害福祉に関する情報が十分に伝わるために、充実させた方がよいものは何ですか。

身体	40～44歳	平日のみではなく土日もある制度
知的	35～39歳	分かりません
知的	55～59歳	わからない
知的	40～44歳	わからない
知的	60～64歳	回答不能
知的	20～24歳	むずかしい事がわからないので教えてくれる人がいるといいな
精神	75～79歳	身近な人が知っていて教えてほしい
精神	70～74歳	サポートして下さる方がいる
重複	60～64歳	地域活動支援センターの職員
重複	75～79歳	なにかない
重複	50～54歳	電話をして欲しい
児童	小学生	知的障害のない発達障害児の保護者会の充実及び、教育現場においての周知、教育委員会との連携

4. 意思疎通について

問13 日常生活において意思疎通に困ることはありますか。あれば、それはどのようなときですか。

知的	35～39歳	自分の要求することを表現できず、何を要求しているのか理解されないときがある。
知的	55～59歳	わからない
知的	25～29歳	全ての場面→知的障害：重度
精神	50～54歳	偏見の目で見られるので一方的に攻撃されたり、決めつけられて話が出来ない時がある。
重複	30～34歳	意思疎通不可

重複	50～54歳	役所の書類が理解が出来ない。字を読み書けない。
重複	18～19歳	だれかいてほしい
児童	小学生	見通しが持てない時や新規場面等で不安になった際に理解のある大人がいなくて言葉が出てこないで意思疎通に困ることがある。

5. 防災などにかかわる対応について

問16 もし災害が発生した場合、困ると思うことはなんですか。

身体	35～39歳	透析がきちんと出来るかが心配です。
身体	40～44歳	災害時に薬を持っていけない
知的	20～24歳	会話はできません。多動・奇声、音に対するこだわり等避難所は無理です。
精神	45～49歳	人間関係のトラブル（しがらみ等）
精神	70～74歳	携帯電話が持っていない
精神	60～64歳	ペットのこと
重複	75～79歳	透析が心配
重複	50～54歳	水、薬がいつも考えています
重複	25～29歳	発汗、よだれが多いので着替えやタオル類が必要。洗濯できないと困る。
児童	小学生	パニックになった時等、本人が周りの目を気にして動けない等。

6. ノーマライゼーション・障害のある人への理解について

問20 実際に障害のある人に対する差別や偏見が「ある」と感じた事柄について教えてください。

身体	70～74歳	良くしてくれる人もいる
身体	80歳以上	気を使って出来るかもしれない事をやらせない
精神	45～49歳	同じ当事者からの偏見
精神	65～69歳	特になし
重複	50～54歳	スーパーのレジで父親がレジの方に注意した。差別的な出来事だった！
児童	中学生	帯広市に来てからはほとんどありません
児童	小学生	特別支援教育を受けている児童としてバカにされやすい。実際に、「〇〇くんは〇〇教育なんだろう？バカなの？」とからかわれたり、身体のおぎのぎこちなさをマネされからかわれたり、聴覚過敏に使用する道具を勝手にさわられる等いじめにつながりかねない事があった。子ども達同士の中で差別的発言があっても本人は説明できなかったり、記憶があいまいになったりして困る事が多い。

8. 必要な支援・相談体制について

問28 あなたの暮らしについて伺います。今の暮らしについて当てはまるもの、また、今後このように暮らしたい、または暮らす予定について当てはまるものは？

(今)	身体	75～79歳	市営住宅で一人暮らし
	知的	45～49歳	下宿
	重複	20～24歳	彼氏と一緒に住んでる。
(今後)	重複	50～54歳	下宿
	身体	75～79歳	市営住宅で一人暮らし
	精神	70～74歳	今の所に居られなくなった時病院に入りたいです
	精神	65～69歳	まずは自分のことは自分でできるところに入居したい。
	重複	50～54歳	下宿
	児童	小学生	現在子どものため大人になった際にヘルパーさん等に頼りながらの一般住宅で一人暮らしができてほしいと考えます。
児童	就学前	わからない	

問29 あなたがお手伝いを必要とするものは？

身体	70～74歳	今のところ無し
知的	40～44歳	料理
知的	40～44歳	朝起きれるか心配
精神	45～49歳	当事者同士の関係（ひっぱられたり、ひっつかれた時など）
精神	65～69歳	特になし
精神	55～59歳	そうじ
精神	50～54歳	そうじ
重複	50～54歳	衣類の片付け
児童	小学生	見た目にわかりにくい障害のため気持ちや言葉を引き出してくれる人が必要

問30 あなたが一人ではできないことは誰に手伝ってもらいますか。

知的	30～34歳	知人
精神	40～44歳	ケアマネージャー
精神	70～74歳	福祉サービス事業所の方
重複	20～24歳	彼氏

問31 普段お世話してくれる家族などの急病や急用など、緊急の理由であなたのお世話ができなくなったとき、あなたはどのようにしますか。

知的	30～34歳	施設に入所しているので職員が対応してくれる
知的	50～54歳	施設に入所しているので特に問題はない
知的	40～44歳	わからない
知的	20～24歳	どうしたらいいかわからない
精神	70～74歳	今の所、福祉サービス事業所です。すみません。
精神	50～54歳	家族とは疎遠

問32 日ごろの生活や障害のことなどで困ったとき、あなたは誰に相談しますか。

知的	50～54歳	困っていることは他者に相談できない
知的	45～49歳	相談できない
精神	70～74歳	福祉サービス事業所
精神	60～64歳	教会の牧師
重複	20～24歳	彼氏
重複	30～34歳	相談できない
重複	75～79歳	施設職員
児童	小学生	困っていない

問33 あなたが地域で生活していく上でどのような相談体制が必要ですか。

身体	75～79歳	まだ1人暮らしが浅いのでどうしたらいいのかわからないでいます
身体	75～79歳	申し訳ありませんが、障害程度に関係なく十把一絡のアンケートでは今の私には答えようがありません。
知的	50～54歳	地域では生活できない。
精神	45～49歳	ピアサポート オープンダイアログ
精神	70～74歳	友人
精神	40～44歳	相談したくない
児童	小学生	学校等に居場所や相談体制が必要

9. 障害福祉サービス等の利用状況について

問35 あなたが利用している、または利用していたサービスのうち、不満に思っているサービスがあれば、回答してください。

		サービス	理由
知的	65～69歳	16 共同生活援助（グループホーム）	入居者とうまくいかない
知的	30～34歳	16 共同生活援助（グループホーム）	自分と合わない支援員がいる
知的	30～34歳	7 短期入所（ショートステイ）	コロナ禍で2022年は希望しても利用できなかった。
精神	45～49歳	16 共同生活援助（グループホーム）	ミスマッチな支援だから…。でもここしか居場所がないので受け入れている。
精神	35～39歳	16 共同生活援助（グループホーム）	前に支援者の判断で決まりごとを決められたことがあった。
精神	40～44歳	6 生活介護	就労支援は助成金目当ての所しかない。
児童	高校生（相当年齢）以上	28 日中一時支援	日数が足りない
児童	就学前	28 日中一時支援	希望の事業所の待機が多く、受け入れてもらえなかった。

10. 仕事について

問36 あなたは、仕事をしていますか。

精神	60～64歳	家事
精神	50～54歳	ボランティア
重複	60～64歳	アルバイト
重複	30～34歳	福祉サービス事業所

重複	25～29歳	できない
知的	35～39歳	生活支援通所

問37 仕事に関して、あなたは相談相手や理解者がいますか。

知的	25～29歳	できない
重複	30～34歳	相談できない
重複	25～29歳	仕事はできない

問38 仕事をする上で、配慮があると感じる（感じた）ことがありますか。

知的	35～39歳	今まで仕事をしたことがないのでわからない
知的	20～24歳	仕事はしていません
知的	45～49歳	仕事に就くことができない
知的	20～24歳	わからない
精神	45～49歳	自分にあった仕事がかかからない
精神	65～69歳	仕事をしていない。病院を退院してから、65才になっている。
精神	65～69歳	統合失調症そのものがおかしすぎる障害である
重複	45～49歳	まだ会社に戻っていない

問39 仕事を始める、または続けるために必要なことは何ですか。

知的	55～59歳	働いた事がないので分からない
知的	40～44歳	する気はない
精神	75～79歳	特になし
精神	65～69歳	仕事の必要性がない
精神	65～69歳	精神障害がなくなる限り、駄目である。
重複	35～39歳	入所施設なのでわからない。

問40 (仕事をしていない方に伺います) 現在、仕事をしていない理由は何ですか。

知的	50～54歳	仕事の出来る身体状況ではない
知的	35～39歳	重度の自閉症で仕事出来るレベルでない。
知的	40～44歳	わからない
知的	20～24歳	交通ルール等わからないので一人で外出はできません
知的	45～49歳	重度のため難しい
知的	25～29歳	能力がないです
知的	45～49歳	芸能人の後方支援など、今住んでいる街に直接必要関係ないことを行っている。また通所利用中。
精神	45～49歳	自助グループの活動に力を入れている
精神	75～79歳	年だから
精神	65～69歳	身体的に就労ができない
精神	65～69歳	生活保護と年金を受けている
精神	75～79歳	年だから
精神	70～74歳	足が不自由になってきているので働けないと思います。何かはしたいです。
精神	65～69歳	精神障害がひど過ぎます。
精神	60～64歳	家の仕事で手一杯
重複	35～39歳	仕事をしたことがないのでわからない
重複	30～34歳	重度障がいのため
重複	60～64歳	施設入所のため
重複	75～79歳	定年
重複	70～74歳	高齢のため体力がなくなってきている
重複	18～19歳	視覚、聴覚に障害がある。人に言われた事、物事の理解が難しい。
重複	25～29歳	できない

1.1. 学校など日常の過ごし方について

問41 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。

児童	就学前	ろう学校
児童	小学生	養護学校
児童	小学生	特別支援学級へ登校している（障がいに対しての理解が少なく、交流へ行きにくい、不登校ぎみだった。
児童	中学生	中学校に在籍はしているが、不登校

問42 あなたは夏休み、冬休みなどの長期休暇中はどのように過ごしていますか。

児童	小学生	友だちの家にいる
----	-----	----------

問4 3 あなたは放課後や夏休みなど、学校や保育所等以外の時間はどのように過ごしたいと思いますか。

児童	中学生	日中一時支援
----	-----	--------

1 2. 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などについて

問4 6 活動する上での課題・問題点はありますか。

知的	30～34歳	コロナがあり外に出れない
知的	25～29歳	指導者や環境が整ってない
知的	30～34歳	賃金が少ない
知的	18～19歳	スポーツを始めたい。
知的	20～24歳	ありません
知的	40～44歳	どこかわからない
精神	45～49歳	仲間がなかなか見つからない（とくに当事者の）
精神	55～59歳	読書
精神	65～69歳	問題はない
精神	70～74歳	散歩の時間をきめています
重複	25～29歳	できない
児童	小学生	スポーツ（少年団など）系が優位すぎる点が課題

問4 7 今後、活動を始めてみたいことがあれば、ご回答ください。

身体	70～74歳	リハビリをしたいが、身支度ができない。
身体	40～44歳	何があるかわからないです
身体	70～74歳	コロナで出歩く事が出来ず、街中での行事、盆踊り、広小路でのイベントなど早く明るい活動が出来ますよう願います。（年に何度かしか見に行けない身体なので）
知的	55～59歳	可能であれば、旅行に行きたい。
知的	50～54歳	特になし
知的	25～29歳	ダンス、太鼓など
知的	40～44歳	友達ほしい
精神	45～49歳	車を使わないで移動しよう！！公共交通、バス、JR等を使って出掛ける（温泉、スイーツ、イベントに）公共交通を皆さんにもっと利用、活用してほしい！！
重複	40～44歳	まだ考えています。少しずつ、できれば、すすみたいと思っています。
重複	25～29歳	音楽を演奏したり音楽を学んだりしてみたい、歌たくさん歌って動画配信などしてみたい
児童	小学生	体を動かすこと（ダンス）
児童	小学生	次年度より中学生となります。学校の部活動でデジタルを使用したデザインやイラスト等にとりくみたいと考えていますがwifiの使用に対して制限がある様なので、困っています(市教委さんの規定で)。部活動で、自分で持っているipad等を使いたくても通信機器とみなされるので使えない可能性があるとの事で、クロームブックにつなげることのできる液タブを購入して学校で使えたならば、部活動でも活躍できるのになあと、本人も、家族（保護者）も残念に思っています。3Dプリンターがある学校がある様ですがなぜデジタル（ICT）を使用したデザイン活動が認めにくいのでしょうか。

1 3. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問4 9 「進んでいる」または「ある程度進んでいる」と思うもの

児童	就学前	児童通所支援事業所がとても素晴らしい。
----	-----	---------------------

問5 0 「今後重点的に進めるべき」と思うもの

身体	75～79歳	ボランティアの育成・確保をもっともっと充実させてほしい
----	--------	-----------------------------

<自由記載>

問5 1 障害福祉や行政の取り組みについてご意見やご要望

身体	35～39歳	障害者あての郵便物等を配慮してほしい。（封筒で自分又は家族が障害者であるとわかってしまうから）→障害福祉課を表記しないでほしい。
身体	40～44歳	歩道のちょっとした段差でもつまづいてしまいます。フラットにすることが可能でしたらフラットにしていだけたら非常に助かります。
身体	75～79歳	私は今年4月に難聴4級障害手帳を受けた者ですが、割と障害程度が軽いので今のところはあまり不自由は感じなくおりますが帯広市が障害福祉に関して、熱心に取り組んでいることを知り、大変心強く思いました。感謝申し上げます。

身体	60～64歳	私自身ではありませんが親が認知症になりみるみる間に要支援1から要介護5という区分になりました。90才以上です。初めて施設探しをしていますけどこも大勢の方が入所待ちという実態です。毎月のかかる費用、入所費用、昔の人で年金も少ない状態です。お金がないと入所できる所もないのか…特養の施設が増えることを願うばかりです。長生き…介護が充実できますように！特養以外の施設は家族が病院に連れて行かなければならない所ばかりそれとても大変なことです。私も手が少し不自由なので悩みます。少しでも皆さんが幸せでありますように！
身体	70～74歳	色々わからない所があり答がうまくいかず説明の言葉が理解出来ない所があり回答出来ずすみません。主人は50代で病気により私も50代で病気（ガン）になっているので色々あり介護については自分がどうしようと思っています。
身体	75～79歳	今回も有難うございます。障害のある私は細い事が大変です。封書の中の用紙すき間なく折って入っており、私のように手の第一関節に力が入らないと出すのすごく大変です。折り目も大変でしょうが…。 歩けないので車イスです。玄関から一人で外に出られません。福祉サービスで習字教室に通っていましたが主人が亡くなり玄関から出入りが出来なくなってから残念ながらやめました 車イスのまま送迎してもらえるのですが運転手の方が玄関の中までの必要性はないのでと代表の方の話です。こうして障害者の行動がなくなるのです。タクシーは往復3千円位かかります。通院は介護タクシーです。会社によって違うようですが高いです。車イスを乗せて押してもらっただけなのに…。 右手はグーが出来ず食事は障害者用の箸でないと使えません。3,800円です。高いと思いませんか。 自宅を（玄関）を直したくても介護保険で1度直すと次回は介護認定が4とか5にならないと使えません。ねたきりになってからどうするのか良くわかりません。体が少しでも動いている内に利用したいと思いませんか。
身体	80歳以上	・道路～点字ブロックが冬になると・・・！！ ・歩く方がいないからかな・・・！！ ・冬・・・除雪が良くない。 介護問題もいろいろとあります。 1～5迄の意味がよく理解できない 遅くなり申し訳ありません。皆様いつもお世話になってます。心より感謝です。健康にはくれぐれもご自愛下さい。
身体	65～69歳	生活にゆとりが生まれないと人は他への配慮や思いやりと云った面で充分とは思えない。やはり、1人1人が心のゆとりが生まれる市の方向性を生み出してほしい…デス。
知的	30～34歳	特になし
知的	45～49歳	アンケートの内容が難しくよくわかりませんでした。
知的	30～34歳	就労継続支援事業所と利用者が不正受給をしている（工賃）。作業もしていないのにタイムカードと出勤簿にしたこととしてチェックを入れていた。内部調査は無いのでしょうか？理解が出来ません！事業所と利用者がずるくておかしいです！
知的	25～29歳	障害を持つての子の親でありながら色んな福祉サービスの内容を知らないの提供してもらえぬ場や、あと自分達も勉強していかないといけないと思います。 やはりニュースで障害者施設での障害者への虐待の事件がとても心苦しいです。弱い立場の障害者を守ってくれる社会であってほしいです
知的	30～34歳	質問が難しい
知的	30～34歳	このアンケートは質問が多すぎて疲れました。あと質問が難しくすぎてわからないことが多かったです。

知的	45～49歳	最近自分が住んでいる街に飲食店の出店や営業があいついで多くなってきている気がします。たしかに他の市町村と比べて食料自給率そのものが圧倒的に高いのでそうなっているんだなというのはわかりますが、地元の企業でも人の募集が行っているにもかかわらず、外部の企業にこのまま出店や営業を託しているのでしょうか？そして、これらの仕事を直接希望しない住民や障害者全員ただちに住んでいる場所や地域から立ち去ってくださいますか？とも言いたいのでしょうか？もしこの件で市役所としての明確な答たえがあるようでしたら、次回以降の広報誌などで記してほしいものです。また、現在自分が通所している作業所もそうですが、建物がかなり古いまま使用されている所もあります。地震もそうですが利用者のケガなども心配になってきました。今はお金がないので、建て替えはムリだ！ガマンして通所してくれと言われてしまえばそれまでですが、このまま何も対応せず、無視し続けていくしかないのでしょうか？いずれにしてもコワイ話ではありません。
知的	30～34歳	高等養護学校卒業後は、同年代の人と交流する場がない。（交流する場あればいい。定期的にもある程度障害の理解、知識のある方の開催であること。親は入所を希望しているが、安心して暮せる入所施設をお願いします。
知的	35～39歳	現在親と在宅生活して居ます。親も高齢であり、入所施設を希望するも、空気がなく、親として亡き後の不安が大きいです。たとえば入所したとしても、金銭の不安もあります。今は、障害者年金（本人）で生活していますが、障害者にはとても厳しい金額だと親としては思います。（入所費を支払うと）1万円しか残らず、それで消耗品も買う事が出来るのでしょうか？本当に不安しかありません。親が無くなった後、不測のお金は兄弟の負担をお願いする事など出きません。子育て給付金などとても優遇されている様に思われますが、行政はどうして障害者には厳しいのでしょうか？入所施設も少なく、倒れるまで子育てすれば良いのでしょうか？障害者も安心して生活出来る様に、どうか検討して頂きたいです。
精神	45～49歳	就労継続支援事業所の職員の方がとても優しく接してくれています。
精神	30～34歳	グループホームの保証人や賃貸契約する時の緊急連絡先が必要になった時困った。保証人がいないグループホームがあると思う。また、賃貸契約する時の緊急連絡先を行政が用意してくれると助かる。（家族がいない、頼れない）割引や無料サービスについてインターネットを通じて教えてほしい。（帯広動物園やバス、映画館など）情報を教えてもらえると助かる。
精神	45～49歳	サービス等高齢者用住宅はありますが障害者にはないのであればいいなあ～と思います。サービス付き障害者用住宅、当事者との家族等が入居できるマンション。グループホームよりそっちの方が住みやすい。
精神	40～44歳	B型就労支援に通っていますが、昼休みの時間に、食器洗い当番が割り当てられてる。自分の食器は自分で洗うとか、当番なら就労時間に洗わせるものではないのですか？できる人にはやらせ、できない人には仕方ない。一般社会よりひどいです。送迎1時間以上乗ってて、就労のルールについて行けないから、ケアマネにやめたいと言ったら知らないと言われた。ケアマネも就労も国からお金をもらって、やりたい放題。精神科医が行けというから、仕方なく行ってるのに、なぜ働きたいの？とか、わけわからんルール押しつけられて、B型就労支援なんて3Kだし、無くなればいい。ケアマネは、仕事やめるなら家族の許可とれと、おどしてきた。私、知的障害じゃなくて、ただの精神障害で、全て自己管理してます。色々就労行っただけど、できる人は使う、できない人は放っておく、障害の知識のない人雇う場所はあるのに、なぜ障害福祉は劣悪なのですか？工賃払ってやってるんだから働けみたいな。ちなみに、とあるB型就労で、知的障害の人無理矢理働かせて、お金も渡さない、給料明細もケアマネに渡してる、職員が本人には渡せないからとケアマネに渡してましたよ。生理用品もくれなくて、足りないよと本人が言った。知識のない人を悪用するところもあるんですよ。見つけて改善されるといいですね。
精神	60～64歳	心の病の手芸の会に20年通ってました。先日、調子を崩しました。私が連れて行った人は裁縫道具をもつなど世話をしないとなりません。その人はミシンを使うので、そのことと駐車場のことで頭がいっぱいで、2回その人は、裁縫道具を忘れました。（教えてくれる）ボランティアの人が怒り、私は出入り禁止になりました。心の病のボランティアなら当事者が調子を崩したときのこと大目に見てほしいと思いました。

精神	50～54歳	まだまだ、障害を持つ人への理解がなく、悲しい思いやくやしい思いを沢山してきました。行政も信用できず相談をしてもムダだと感じているので相談は余りしません。親、きょうだいとは発症した時から疎遠なので例えば家を借りるにも保証人にはなってもらえないのでそういう支援があれば良いと思う。他にも書きたい事があるけれど、物価高で生活も苦しいのでどうにかしてほしい。福祉のお金も減らされているので、ますますどう生きていって良いか困っています。
精神	40～44歳	以前就労継続支援B型事業所に居ました。そのことを全て書きます。その時にケガをして、今でも苦しんでいます。新しくA型に移りましたが仕事の支障をきたしています。事業所の職員には、バカにされて時給を下げられました。障害者はバカだから、すぐ騙せると思っています。仕事を頑張る人よりも、仕事中に遊んででもいいから毎日出勤簿書いてくれる人の方が会社としてその人の方が偉いと言われました。助成金がもらえるからです。それで僕は仕事できるから皆の分の仕事を1人でやって同じ時給でした。文句を言ったら時給下がりました。仕事量が更に増えました。イジメです。B型の支援施設でノルマを課すのもおかしい話です。ケガしても「ケガしろなんて命令してない、勝手にケガしたんでしょ?」と、職員は障害者の種類によって差別をします。精神的にも不安定になり悪化し、病状も増えました。
精神	80歳以上	・日中障害者が利用する施設がほしい。お金がかからない所。 ・年金だけの人でも医療費をただにしてほしい。
精神	50～54歳	帯広市役所の市民相談課にも、もう少し障害のある人の相談員がいた方が良いと思います。まだまだ帯広市では、ヘルプマークの意味や普及が遅いと思います。障害者でも1人の人間ですが、ヘルプマークの意味を知らない人や企業などが少ないと思います。眼の障害、耳の障害、心の障害に適した相談員がいると良いと思います。後、相談するのに時間を気にせず、障害者が納得いくまで相談にのってもらえる様にしてほしいです。後、企業の方や市民1人1人がヘルプマークの意味を知ってもらえる様にセミナーや精神障害の病院の先生などの話を聞いてわかってもらえる様な帯広市にほしいです。まだまだ帯広市は障害者が働きづらく、ひきこもりになっていく人も多いです。ひきこもりの方もいきなりなってしまうと困っている人も多いですし、その家族の方もいきなりひきこもってしまうとどう接して良いか、わからなくなってしまうかもしれません。そういう方々にもぜひヘルプマークを持ってほしいです。障害者として、これからの帯広市がどうやって障害者にやさしい市になってくれるか、きたいしています。もう少し働きやすい様に…もう少しくらしやすい様に…
精神	65～69歳	今後とも何かとよろしくお願いいたします。年齢が一つ一つふえるたび何かと体の衰えを感じています。
精神	55～59歳	生活保護、障害年金を上げてほしい。施設で働いているが、お金をもっとほしい。
重複	75～79歳	質問項目が多すぎる。
重複	50～54歳	今はコロナのため外にも出ないようにしています。食事の買物だけで就労支援事業所で感染して休みになっています。5回のワクチンをしています。一度目は熱は出ませんでした。かぜになったようで薬を飲んで7日で母にうつり15日で家庭内感染が治りました。皆が気を付けてほしいです。また休みになりました。二度目また1人の感染で大変な思いをしております。就労支援事業所で32年お世話になっています。今は母子家庭で親子仲良くそれなりに二人で頑張っていますが、この先がどうなるか心配しています。長男も管外で福祉の仕事をして今は帰ってこれないので何かあった時は、福祉にお願い致します。お正月には長男と話しもします。コロナのため町内、老人会も何もできなく、お隣りでもあいさつだけの日々の暮しです。それぞれ頑張るしかないと思います。私が車で乗せてお世話をした親戚も天国に先きに行き、心配してくれた人もいません。
重複	18～19歳	昨年、短期入所の利用を考えて施設へ予約の連絡を入れましたが、コロナウイルスの感染対策のために受け入れを断られました。その時の利用の理由が緊急でなかったのなんとか乗り切りましたが、もしそうでなかった場合に利用ができないと本当に困ってしまうと思います。普段から相談支援員さんには介護している親がたまに疲れたら利用してもよいと声をかけていただけてるのにコロナ対策を理由に拒否をされてしまったら、どこに頼れば良いのか。安心して障害者を預けられる施設がないです。
児童	高校生（相当年齢）以上	入所施設に空きがなくかなりの人が待機しています。重度障害者は介護が必要なためグループホームでは生活できません。重度の障害者が安心して暮らせる施設を増やして下さい。お願い

児童	小学生	<p>今回初めてこのようなアンケートが届きました。18歳以上の人は障害福祉課18歳未満の人は子育て支援課となっていますが、ここに何故帯広市教育委員会及び北海道教育委員会の名称がないのでしょうか。福祉、教育、家庭の連携をしない時代になっているはずではないのでしょうか。管轄省庁が違う事も影響がある事を理解していますが、このようなアンケートを取る場合くらいは、連携の姿勢だけでも良いので見せて欲しかったなあと一市民としても思います。特に前ページ13-10希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実においては「進んでいる」「ある程度進んでいる」とは全く思えません。我が子は特別支援学級在籍の上交流級（通常学級）で学んでおりましたが、13-10の様な体制でサポート支援を受けているであろう子達に、支援の手がとられ、不登校寸前になったことがあります。教育現場との連携を強く要望いたします。</p>
児童	高校生（相当年齢）以上	<p>もっと成人したりしても、補助金や、援助がほしいです！色々補助もほしいです！事業所も、もっと気持ちが悪くなったり、助けてくれる所がほしいです。</p>

3. ②障害のある人向け調査

(2) 第三期障害者計画と第六期障害福祉計画結果比較表

6. ノーマライゼーション・障害のある人への理解について

問18 ノーマライゼーションという考え方がありますが、あなたの身の回りでその考え方が浸透していると思いますか。(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	そう思う	35	12%	93	25%
2	どちらともいえない	148	49%	187	50%
3	思わない	100	33%	72	19%
0	無回答	16	5%	19	5%
合計		299	100%	371	100%

問19 障害のある人に対する差別や偏見を感じることはありますか(いずれか1つに○)

		合計		第三期	合計
1	あると思う	101	34%	94	25%
2	少しはあると思う	118	39%	150	40%
3	ないと思う	22	7%	66	18%
4	わからない	46	15%	40	11%
0	無回答	12	4%	21	6%
合計		299	100%	371	100%

問20 問19で実際に「ある」と感じた事柄について教えてください。(いくつでも○)

		合計		第三期	合計
1	嫌がることを言う、嫌がらせをする	60	13%	41	9%
2	じろじろと見る、もの珍しい目で見ると	126	27%	132	29%
3	できないことをさせようとする	37	8%	31	7%
4	暴力をふるう	8	2%	4	1%
5	かわりを避ける、仲間はずれにする	8	2%	50	11%
6	施設や店舗などの利用を断る、制限する	14	3%	14	3%
7	障害のある、なしで待遇に差をつける	54	11%	40	9%
8	過剰な気遣いや価値観を押し付ける	54	11%	45	10%
9	障害のある人をひと括りにして個人を見ない	82	17%	74	16%
10	その他	7	1%	10	2%
0	無回答	21	4%	17	4%
合計		471	100%	458	100%

問21 平成28年から障害者差別解消法が施行されたことで変化を感じますか。

(いくつでも○)

		合計		第三期	合計
1	差別と思われる行為が減った、なくなった	22	6%	13	3%
2	差別について話題になるようになった	20	5%	28	6%
3	差別と思うようなことを相談できるようになった	21	5%	11	2%
4	合理的な配慮について考えてもらえるようになった	17	4%	18	4%
5	合理的な配慮を受けられるようになった	13	3%	10	2%
6	障害のある人の人権が守られるようになった	29	7%	42	9%
7	はっきりと分からないが、何となく変化を感じる	50	13%	73	16%
8	変化を感じない	89	23%	60	13%
9	わからない	112	29%	158	35%
0	無回答	17	4%	35	8%
合計		390	100%	448	100%

問23 障害者週間記念事業をご存じですか（いずれか1つに○）

		合計		第三期	合計
1	参加または会場に足を運んだことがある	23	8%	58	16%
2	知っているが参加または会場に足を運んだことはない	48	16%	80	22%
3	知らない	215	72%	216	58%
0	無回答	13	4%	17	5%
合計		299	100%	371	100%

問25 ヘルプマーク、ヘルプカードをご存じですか。（いずれか1つに○）

		合計		第三期	合計
1	知っている	144	48%	164	44%
2	知らない	143	48%	191	51%
0	無回答	12	4%	16	4%
合計		299	100%	371	100%

7. 社会的な障壁について

問27 帯広市において次の障壁はありますか。

①物理的な障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	94	31%	137	37%
2	感じていない	100	33%	77	21%
3	どちらともいえない	73	24%	117	32%
0	無回答	32	11%	40	11%
合計		299	100%	371	100%

②制度的な障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	59	20%	69	19%
2	感じていない	73	24%	60	16%
3	どちらともいえない	130	43%	193	52%
0	無回答	37	12%	49	13%
合計		299	100%	371	100%

③文化・情報面の障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	59	20%	77	21%
2	感じていない	86	29%	69	19%
3	どちらともいえない	114	38%	177	48%
0	無回答	40	13%	48	13%
合計		299	100%	371	100%

④意識上の障壁

		合計		第三期	合計
1	感じている	96	32%	106	29%
2	感じていない	70	23%	67	18%
3	どちらともいえない	101	34%	154	42%
0	無回答	32	11%	44	12%
合計		299	100%	371	100%

8. 必要な支援・相談体制について

問33 あなたが地域で生活していく上で、どのような相談体制が必要ですか。

(いくつでも○)

		合計		第六期	合計
1	地域の身近なところで相談することができること	98	13%	133	12%
2	電話、ファクシミリ、メールなどを使って相談ができること	69	9%	85	8%
3	いつでも(24時間)相談ができること	82	11%	93	8%
4	1か所で用件を済ますことができる窓口があること	100	13%	149	13%
5	障害の特性を理解した専門の相談員に相談できること	122	16%	212	19%
6	継続的に相談に応じてくれる人がいること	109	14%	188	17%
7	訪問してもらって相談ができること	78	10%	70	6%
8	同じ悩みがある人による相談ができること	48	6%	85	8%
9	わからない	54	7%	70	6%
10	その他	0	0%	13	1%
0	無回答	1	0%	31	3%
合計		761	100%	1129	100%

10.仕事について

問36 あなたは仕事をしていますか？

		合計		第三期	合計
1	仕事(一般就労)をしている	20	7%	48	13%
2	仕事(就労支援施設への通所)をしている	88	33%	77	21%
3	仕事をしたことはあるが今はしていない	54	20%	117	32%
4	これまで仕事をしたことがない	46	17%	54	15%
5	その他	9	3%	31	8%
0	無回答	51	19%	44	12%
合計		268	100%	371	100%

問38 仕事をする上で、配慮があると感じる(感じた)ことがありますか。

		合計		第三期	合計
1	スロープや昇降機などを設置している	22	5%	22	5%
2	デスクの配置や構造、仕切りの入りなどに配慮している	25	6%	6	1%
3	障害の特性に応じた専用の業務ソフトなどを導入している	11	3%	8	2%
4	写真や図入りマニュアルなど業務を見えるかたちになっている	22	5%	5	1%
5	出勤時間や勤務時間の調整、在宅勤務など柔軟に対応している	47	11%	37	8%
6	業務内容や業務量を調整している	45	11%	51	11%
7	支援員や通訳者など専門職員を配置している	35	8%	18	4%
8	職場適応援助者(ジョブコーチ)を配置している	8	2%	10	2%
9	障害について職員が研修している	24	6%	25	6%
10	配慮を感じたことはない	21	5%	71	16%
11	その他	14	3%	43	10%
0	無回答	152	36%	150	34%
合計		426	100%	446	100%

12. 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などについて

問45 あなたは文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などの活動を行っていますか。

		合計		第三期	合計
1	行っている	71	24%	101	27%
2	行っていない	139	46%	229	62%
0	無回答	89	30%	41	11%
合計		299	100%	371	100%

13. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問48 帯広市は障害のある人もない人も住みやすいまちだと思いますか。(1つに○)

		合計		第三期	合計
1	そう思う	52	17%	64	17%
2	少し思う	47	16%	78	21%
3	どちらともいえない	71	24%	93	25%
4	あまり思わない	34	11%	34	9%
5	思わない	22	7%	22	6%
6	わからない	41	14%	44	12%
0	無回答	32	11%	36	10%
合計		299	100%	371	100%

問49 次の選択肢のうち「進んでいる」または「ある程度進んでいる」と思うものを教えてください。(回答は5つまで)

		合計		第六期	合計
1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	34	7%	82	8%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	17	3%	48	5%
3	地域で生活するための支援の充実	29	6%	66	7%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	32	6%	46	5%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	18	3%	37	4%
6	入所施設や病院の充実	33	6%	64	6%
7	就労支援の充実	30	6%	74	7%
8	発達相談の充実等により障害を早期発見し適切な支援を受けられること	20	4%	56	6%
9	障害のあるなしにかかわらず市民がふれあう場の提供	14	3%	32	3%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	15	3%	25	2%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	10	2%	35	3%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	14	3%	35	3%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	14	3%	26	3%
14	悩みや福祉にかかわるサービスなどについての相談体制の充実	23	4%	55	5%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	11	2%	28	3%
16	ボランティアの育成・確保	13	2%	13	1%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	17	3%	52	5%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	7	1%	20	2%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	3	1%	13	1%
20	福祉機器を普及・開発すること	4	1%	15	1%
21	その他	2	0%	7	1%
0	無回答	163	31%	185	18%
合計		523	100%	1014	100%

問50 次の選択肢のうち「今後重点的に進めるべき」と思うものを教えてください。（回答は5つまで）

		合計		第六期	合計
1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	53	7%	108	8%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	65	8%	109	8%
3	地域で生活するための支援の充実	61	8%	84	6%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	51	7%	87	6%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	34	4%	70	5%
6	入所施設や病院の充実	56	7%	80	6%
7	就労支援の充実	42	5%	89	6%
8	発達相談の充実等により障害を早期発見し適切な支援を受けられること	22	3%	73	5%
9	障害のあるなしにかかわらず市民がふれあう場の提供	26	3%	55	4%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	17	2%	20	1%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	8	1%	23	2%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	20	3%	55	4%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	30	4%	97	7%
14	悩みや福祉にかかわるサービスなどについての相談体制の充実	35	4%	76	5%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	26	3%	51	4%
16	ボランティアの育成・確保	19	2%	39	3%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	45	6%	60	4%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	13	2%	36	3%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	24	3%	48	3%
20	福祉機器を普及・開発すること	14	2%	37	3%
21	その他	4	1%	7	0%
0	無回答	116	15%	115	8%
合計		781	100%	1419	100%

3. ②障害のある人向け調査結果

(3) ②障害のある人向け調査結果分析

1) 対象者について（調査票：問1～問9）

年齢は、全体では「18歳未満」が最も多く39名（13%）であった。

18歳以上の回答では、「50～54歳」が最も多く30名（12%）、次いで「35～39歳」・「70～74歳」が27名ずつ（同率10%）となっている。

障害別の内訳は、「身体」は「70～74歳」22名（33%）が多く、「知的」は「35～39歳」16名（16%）、「精神」は「50～54歳」・「55～59歳」が9名ずつ（同率17%）、「重複」は「50～54歳」8名（20%）が多かった。障害種別により世代の割合が異なっている。

生活実態は、全体では「親」と一緒に生活している人が111名（31%）と多かった。

次いで多かったのが「グループホームや福祉施設で生活している」人で、90名（25%）であった。「知的」「精神」「重複」の割合が高い。

「身体」	1) 「配偶者」	39名（52%）
	2) 「一人で暮らしている」	15名（20%）
「知的」	1) 「グループホームや福祉施設」	46名（41%）
	2) 「親」	41名（37%）
「精神」	1) 「グループホームや福祉施設」	30名（55%）
	2) 「一人で暮らしている」	14名（25%）
「重複」	1) 「親」	17名（35%）
	2) 「グループホームや福祉施設」	14名（29%）
「児童」	1) 「親」	39名（62%）
	2) 「兄弟姉妹」	21名（33%）

障害者手帳の所持は、「身体障害者手帳」110名（37%）、「療育手帳」144名（48%）、「精神保健福祉手帳」75名（24%）であった。

「身体障害者手帳」は、「1級」が34名（11%）、種別は「肢体不自由」が80名（24%）と最も多かった。

「療育手帳」は「B」が79名（26%）と最も多かった。「知的」「児童」は「B」が多く、「重複」は「A」が多かった。

「精神保健福祉手帳」は「2級」が52名（17%）と最も多かった。

難病や障害などの診断を受けたことがある人は112名であり、うち「発達障害」が57名（19%）と最も多かった。介護認定を受けている人は28名であった。

医療的ケアの種類は、「服薬管理」が26名と最も多かった。

2) 生活環境について（調査票：問10）

「環境が整っていると思う」との回答が多かった項目は以下の通りであった。

- | | |
|----------------------------|------------|
| ⑧安心して暮らし続けられる住まいがある | 185名 (62%) |
| ⑭住んでいる地域に必要な医療を受けられる | 170名 (57%) |
| ②困り事や悩みを安心して相談できるところが身近にある | 153名 (51%) |

「⑧住まい」「⑭医療」は、どの障害種別においても「環境が整っている」との回答が最も多い。「②相談」は、「身体」は「環境が整っていない」との回答が最も多く、他の障害種別では「環境が整っている」との回答が最も多かった。

「環境が整っていると思わない」との回答が多かった項目は以下の通りであった。

- | | |
|--|------------|
| ⑪障害の有無に関わらず、職場を選ぶことができる | 111名 (37%) |
| ③身の回りの用事や家事を手伝ってくれるサービスを受けられ、一人暮らしになっても不安を感じない | 98名 (33%) |
| ⑯通勤、通学または買い物などで外出するための移動手段が充実している | 98名 (33%) |

「⑪職場の選択」は、「身体」「重複」では「環境が整っていない」と回答する人が多かった。「③一人暮らしへの不安」は、「身体」「知的」「児童」において「環境が整っていない」との回答が多く、一人暮らしになった時に不安を感じると思っている人が多いことがわかる。「⑯移動手段」は、「身体」「重複」「児童」において「環境が整っていない」と回答する人が多く、移動手段の充実が必要と言える。

「どちらともいえない」との回答が多かった項目は以下の通りであった。

- | | |
|---------------------------------|------------|
| ⑰一時保育やファミリーサポートの利用など子育て支援を受けられる | 163名 (55%) |
| ⑮自分にあたりハビリテーションを行うことができる | 139名 (46%) |
| ⑩障害や疾病に配慮した教育を受けられる | 134名 (45%) |

3) 福祉に関する情報について（問11～問12）

「市の取り組みや市役所への手続きなどの障害福祉に関する情報について十分に伝わっていると思いますか」という問いに対して、「どちらともいえない」「そう思わない」の回答は210名（70%）であり、7割の人が十分に情報を得ているとは感じていない。

「児童」では、その割合が77%と上がり、「児童」においてその傾向が強いように見られる。

「情報が十分に伝わるために充実させたほうが良いもの」として、回答が多かったものは以下の通りである。

- | | |
|--------------------|------------|
| 「広報おびひろ」 | 141名 (17%) |
| 「気軽に聴ける人が身近な地域にいる」 | 132名 (16%) |
| 「テレビやラジオの周知」 | 124名 (15%) |

障害種別で最も回答が多かった項目を見ると、以下のように違いが現れている。

「身体」～「広報おびひろ」	45名 (24%)
「知的」～「気軽に聞ける人が身近な地域にいる」	44名 (18%)
「精神」～「テレビやラジオの周知」	25名 (17%)
「気軽に聞ける人が身近な地域にいる」	25名 (17%)
「重複」～「テレビやラジオの周知」	20名 (20%)
「児童」～「インターネットやSNS」	19名 (15%)

情報を得る手段が、障害種別や年代によって異なることが読み取れる。

また、「気軽に聞ける人が身近な地域にいる」「テレビやラジオの周知」と回答した方が一定数いることから、自らが調べて情報を得ることが難しい人が多いのではないかと推察される。

4) 意思疎通について (問13)

日常生活の意思疎通について、「特に困ることはない」との回答が127名(42%)と半数近くを占めている。

「困ること」の回答としては、「難しい言葉を頻繁に使用される時」との回答が82名(27%)と多く、そのうち「知的」の回答が40名であった。「難しい言葉」が意思疎通を阻む一要因であることがわかった。

5) 防災にかかわる対応について (問14～問17)

自身の避難所の場所は、「知っている」と回答した人が201名(67%)と最も多かった。障害種別で見ても、いずれも「知っている」との回答が最も多かった。防災に対する意識は高まっていると言える。

避難については、「家族が避難を手伝ってくれる」が103名(34%)と最も多く、次いで「ひとりで避難できる」が92名(31%)であった。

「身体」「精神」「重複」では「ひとりで避難できる」が最も多く、「知的」「児童」では「家族が避難を手伝ってくれる」が最も多かった。

一方、「避難することは難しい、できない」との回答が50名(17%)あり、どの障害種別においても一定数の回答があることから、災害時の避難については検討すべき課題であると言える。

災害時に困ることで、回答が多かった項目は以下の通りであった。

「避難場所の設備等(トイレ等)や生活環境が不安」	161件 (17%)
「避難場所などで周囲とコミュニケーションがとれない」	125件 (13%)
「人の多い場所が苦手で避難所などで生活できない」	120件 (13%)

「安全なところまですみやかに避難することができない」 93件 (10%)

「投薬や治療が受けられない」 90件 (10%)

障害種別で見ると、「身体」「重複」「児童」では「避難場所の設備等（トイレ等）や生活環境が不安」が最も多かった。「知的」では「避難場所などで周囲とコミュニケーションがとれない」、「精神」では「人の多い場所が苦手な避難所などで生活できない」が最も多かった。

前項の問いと同様に、「安全なところまですみやかに避難することができない」との回答も1割あり、避難行動と避難生活に心配があることがわかる。

緊急時の通報については、「電話で通報できる」との回答が201名 (67%) と最も多かった。「通報することは難しい、できない」「わからない」との回答を合わせると82名 (28%) となっている。緊急時に適切な通報が難しい人が3割弱の割合でいることがわかり、避難行動と併せて検討が必要と言える。

6) ノーマライゼーション・障害のある人への理解について（問18～問26）

ノーマライゼーションという考え方が浸透しているかについて、「どちらともいえない」との回答が148名 (49%) と、前回調査と同様に最も多かった。次いで「浸透していると思わない」との回答が100名 (33%) であり、前回調査の72名 (19%) を上回った。「浸透していると思う」との回答は35名 (12%) であり、前回調査の93名 (25%) を下回った。

障害種別で見ると、「精神」「児童」は「浸透していると思わない」と回答する人が最も多かった。

ノーマライゼーションの考え方については、前回調査よりも浸透していないという結果が見える。

障害のある人に対する差別や偏見については、「少しはあると思う」という回答が118名 (39%) と最も多く、次いで「あると思う」という回答が101名 (34%) と多く、差別や偏見があると感じている人が約7割強存在することがわかった。

「ないと思う」と回答した人は22名 (7%) であるのに対し、前回調査では66名 (18%) であり、差別や偏見はないと感じている人の割合は前回調査を下回っている。

差別や偏見を感じるものが「ある」と感じた事柄について、最も回答が多かったのは「じろじろと見る、もの珍しい目で見る」126名 (27%) であり、前回調査と同様の結果であった。障害種別では、「精神」が「障害のある人を一括りにして個人を見ない」の回答が最も多くなっている。心理的な差別や偏見を感じている人が多いと推察される。

障害者差別解消法の施行による変化は、「わからない」との回答が最も多く112名

(29%)、前回調査も同様の結果となっている。

次いで多かった回答は「変化を感じない」89名(23%)であった。前回調査では「はっきりと分からないが、何となく変化を感じる」73名(16%)が2番目に多かったことから、障害者差別解消法による変化が感じづらくなっている状況がわかる。

一方、「差別と思うようなことを相談できるようになった(3%→6%)」「差別と思われる行為が減った、なくなった(2%→5%)」との回答が、少数ではあるが前回調査から増加しており、権利擁護に関する相談体制や配慮ある関わりが増えている状況がわかる。

合理的配慮については、「考えてもらえるようになった」「受けられるようになった」との回答は、前回調査と比較して割合の変化はなかった。合理的配慮があるかとの問いでは、「どちらでもない」との回答が156名(52%)と最も多かった。

「障害者週間記念事業」は、前回調査より「参加または会場に足を運んだことがある(16%→8%)」「知っているが参加または会場に足を運んだことはない(22%→16%)」との回答数が下がっており、認知度が下がっていることがわかる。

「福祉のひろば」と「ヘルプマーク、ヘルプカード」は、「利用したことがない人」も含めると、「知っている」と「知らない」の回答がほぼ同数であった。「ヘルプマーク、ヘルプカード」は、「知っている」の回答の割合が上がっており(44%→48%)、若干だが周知が進んでいることがわかる。

ただし、「障害者週間記念事業」、「福祉のひろば」、「ヘルプマーク、ヘルプカード」、「帯広市手話言語条例」のいずれも回答者の半数近く(もしくは半数以上)が「知らない」と回答しており、周知が課題と言える。

7) 社会的な障壁について(問:27)

「①物理的な障壁」は、「感じていない」との回答が最も多かった(100名(33%))。「②制度的な障壁(130名(43%))」「③文化・情報面の障壁(114名(38%))」「④意識上の障壁(101名(34%))」は、いずれも「どちらともいえない」との回答が多い。

障壁を「感じている」人、「感じていない」人の回答数を比較すると、「①物理的な障壁」「②制度的な障壁」「③文化・情報面の障壁」の三項目は「感じていない」と回答した人の方が多かった。前回調査では、いずれの項目も「感じている」と回答した人が多かったことから、社会的障壁は少なくなっている状況がわかる。

一方、「④意識上の障壁」は、前回同様「感じている」と回答した人の方が多かったことから、前回調査以降も障壁は継続していることがわかる。

障害種別で見ると、「身体」は「①物理的な障壁」を「感じている」との回答割合が高い。「知的」は「②制度的な障壁」「③文化・情報面の障壁」「④意識上の障壁」のいずれも「感じている」との回答が「感じていない」の回答を上回った。「精神」「児童」は「④意識上の障壁」を「感じている」との回答が最も多かった。それぞれの障壁に対して、障害種別によ

り感じ方にばらつきがあると言える。

8) 必要な支援・相談体制について (問28～問33)

今の暮らしと今後の暮らしについて、現在の生活は「家族と一緒に暮らし」との回答が最も多く147名(49%)と全体のほぼ半数であった。障害種別で見ると、「身体」「知的」「重複」「児童」ではいずれも家族と同居の方が最も多かったが、「精神」は「グループホーム」と回答した人が最も多かった。

今後の暮らしについては、「家族と一緒に暮らし」を希望(あるいは予定)する人が65名(22%)と最も多かった。

障害種別で最も多い回答が、「身体」「児童」が「家族と一緒に暮らし」、「知的」は「グループホームでの暮らし」、「精神」は「一般の住宅で一人暮らし」、「重複」は「福祉施設(入所施設)」という結果であった。障害種別により、希望する(予定する)生活にばらつきがあることがわかる。

「身体」：【現在】「家族」 41名(62%)	【今後】「家族」 18名(27%)
「知的」：【現在】「家族」 43名(43%)	【今後】「グループホーム」 25名(25%)
「精神」：【現在】「グループホーム」 19名(36%)	【今後】「一人暮らし」 12名(23%)
「重複」：【現在】「家族」 15名(37%)	【今後】「施設」 10名(24%)
「児童」：【現在】「家族」 37名(95%)	【今後】「家族」 17名(44%)

「お手伝いを必要とするもの」として、回答が多かったものは以下の通りである。

「書類の管理や手続き」	167名(13%)
「買い物や通院などの外出」	141名(11%)
「お金の管理」	129名(10%)
「施設やサービスの契約」	125名(10%)
「入院時の治療の同意」	123名(10%)

障害種別で見ると、「身体」「知的」「精神」は「書類の管理や手続き」の回答率が高く、「身体」「重複」「児童」は「買い物や通院などの外出」の回答率が高い。また、お手伝いを必要とする項目の全回答数1,220件(無回答を除いた総件数)のうち、半数近くの513件が「知的」の人の回答であり、アンケート回答率を鑑みても他の障害種別と比較して顕著に多い。このことから「知的」の人がよりお手伝いを必要としていることがわかる。

「誰に手伝ってもらっているか」との問いには、「親」との回答が106名(35%)と最も多かった。障害種別で見ると、「知的」「重複」「児童」は「親」との回答が多かった。「身体」は「配偶者」の回答が最も多く、「知的」「精神」は「ヘルパーや施設の職員」との回答が多かった。また、「精神」は「決まった人がいない」との回答率が他の障害種別と比べると高く、特定の支援者がいない人が他の障害種別より多いことがわかる。

緊急時の対応は、「福祉サービスの利用」114名(38%)が最も多かった。「児童」は「親

族に協力してもらおう」が最も多い20名(51%)であった。この結果から、緊急時の支援としても福祉サービスのニーズが高いことがわかる。

「日頃の相談先」については、「家族や親族」と回答した方が146名(49%)で全体の半数に上った。次いで、「障害福祉サービス事業所などの職員」58名(19%)であった。ここでは、「精神」を除くすべての障害種別において「家族や親族」と回答した人が最も多かった。「精神」では「障害福祉サービス事業所などの職員」が最も多く19名(36%)であった。

「必要な相談体制」について、回答が多かった項目は以下の通りであった。

「障害の特性を理解した専門の相談員に相談できること」 122件(16%)

「継続的に相談に応じてくれる人がいること」 109件(14%)

「1か所で要件を済ますことができる窓口があること」 100件(13%)

前回調査も同様の順で回答数が多く、引き続き相談体制には「専門性」「継続性」「利便性」が求められている。

9) 障害福祉サービス等の利用状況について(問34~35)

利用しているサービスの「満足度」について、全体的に無回答の割合が高くサービス利用者の回答が少ない。また、回答があっても「どちらでもない」との回答が多かった。

回答者のうち、「満足」の回答率が高かった項目は以下の通りであった。

「③同行援護」 1名(100%)

「②①放課後等デイサービス」 11名(69%)

「②⑩児童発達支援」 6名(60%)

「②⑦障害児相談支援・計画相談支援」 8名(57%)

「⑥生活介護」 32名(52%)

「⑬就労継続支援(B型)」 46名(50%)

「⑲計画相談支援」 38名(50%)

「⑳日中一時支援」 25名(50%)

回答者のうち、「不満」の回答率が高かった項目は以下の通りであった。

「⑦短期入所」 8名(18%)

「②⑩児童発達支援」 1名(10%)

「①⑥共同生活援助」 5名(8%)

「②①放課後等デイサービス」 1名(7%)

「⑩自立訓練」 2名(5%)

「⑬就労継続支援(B型)」 5名(5%)

「⑳日中一時支援」 2名(4%)

また別の問いで、「利用している、利用していたサービスで最も不満に思っているもの」

の回答では、246名(82%)が無回答であり、不満を感じている人が少ない(もしくはサービス利用者の回答が少ない)ことが推察される。

「不満」との回答が多かった項目は以下の通りであった。

「①居宅介護」	8名(3%)
「⑦短期入所」	7名(2%)
「⑬就労継続支援(B型)」	6名(2%)

障害種別で見ると、「精神」は4項目(①居宅介護、④行動援護、⑫就労継続支援(B型)、⑬就労継続支援(A型)、「知的」「重複」は「⑦短期入所」、「児童」は「⑳日中一時支援」に「不満」と回答している人が多かった。

不満に思っている理由として最も回答が多かったのは「障害の特性に応じた配慮が足りないと感じるから」8名(3%)であった。問51の自由記載では、「合っていない支援だが、他に居場所がない」「支援者判断により決まり事を決められた」といった意見も見られた。

次いで、「サービス内容が希望や適性にあってないと感じる」の項目を選択した方が全体で7名(2%)であった。問51の自由記載では、「日数が足りない」「希望の事業所は待機が多く受け入れてもらえない」など、希望通りにサービス利用ができない現状があることがわかった。

今後のサービス利用の希望については、全体的に無回答の割合が高い。また、回答があっても「わからない」「希望しない」との回答が多かった。

「希望する」との回答数が多かった項目は以下の通りであり、居住支援のサービスの今後の利用希望が多いことがわかる。

「⑦短期入所」	29名
「⑨施設入所支援」	27名
「⑯共同生活援助」	26名
「⑥生活介護」	24名
「⑤療養介護」	21名

10) 仕事について(高校生相当年齢以上(在宅中除く) 問36~40)

仕事について、「仕事(就労支援施設への通所)をしている」人が88名(33%)と最も多く、次いで「仕事をしたことはあるが今はしていない」人が54名(20%)と多かった。

前回調査と比較すると、「仕事をしたことはあるが今はしていない(32%→20%)」人の回答率と、「仕事(一般就労)をしている(13%→7%)」人の回答率が下がり、「仕事(就労支援施設への通所)をしている(21%→33%)」人の回答率が上がっていることから、就労支援施設へ通所している人が増えていることがわかる。

障害種別では、「知的」「精神」「重複」で「仕事(就労支援施設への通所)をしている」人が最も多く、「重複」では「これまで仕事をしたことがない」人も同率で最も多い結果と

なった。「身体」は「仕事をしたことはあるが今はしていない」人が最も多かった。

仕事に関しての相談相手や理解者は、「福祉関係者」が51名（19%）と最も多かった。「知的」「精神」「重複」で回答者が多く、前項の問いで「仕事（就労支援施設への通所）をしている」人が最も多かったことが結果につながったと言える。

次いで多かった回答は「家族」50名（19%）であり、「身体」「重複」の回答率が高かった。

また、職場内・職場適応援助者など職場関係の人が相談相手や理解者であるとの回答は合わせて51名（19%）、家族・友人・知人は合わせて52名（20%）、相談相手がいないと回答している人は9%であった。

仕事をする上で配慮があると感じることにについて、回答が多かった項目は以下の通りであった。

「出勤時間や勤務時間の調整、在宅勤務など柔軟に対応している」	47件（11%）
「業務内容や業務量を調整している」	45件（11%）
「支援員や通訳者など専門職員を配置している」	35名（8%）

勤務体系等に関することで配慮を感じる人が多いことがわかる。

前回調査と比較すると、「配慮を感じたことはない」との回答が16%から5%に減少しており、配慮を感じている人が増えている状況がわかる。

仕事を始める、また続けるために必要なことについて、回答が多かった項目は「自分にあった仕事や働く場を見つけられる」95件（15%）であった。障害種別で見ても、いずれの障害種別においても回答が最も多かった。また、「精神」では「上司や同僚の理解・支援」が同率で最も回答が多い結果となった。

現在仕事をしていない人が、その理由として回答しているのは、「仕事についていくことが困難」と「その他」が最も多く29名（9%）となった。障害種別で見ると、「身体」は「体調面」、「知的」は「業務内容」、「精神」は「就労先」に課題を感じている傾向が読み取れる。仕事をしていない理由に障害種別による違いが現れている。

11) 学校など日常の過ごし方について（18歳未満 問41～問44）

「児童」の日中の過ごし方は、「小中学校」が23件（56%）と最も多かった。また、次に多い「高校」7件（17%）も含めると、教育機関で過ごしている割合が73%と高かった。

夏休みなどの長期休暇中の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が30件と最も多かった。次いで「児童発達支援・放課後等デイサービスを利用する」が16件、「日中一時支援を利用する」が14件と回答が多く、合計すると30件と「自宅で家族と過ごす」と同率の結果となっている。

放課後や長期休暇過ごし方の希望は、「自宅でゆっくり過ごしたい」が28件、次いで「同世代の子と遊びたい」19件、「放課後デイサービスを利用したい」13件の順で回答が多かった。自宅以外の遊べる場所、過ごせる場所へのニーズも多い。

外出時に希望するサービスについては、「バスやタクシーの助成」が19件と最も多く、移動手段についての必要性がわかる。

12) 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などについて (問45～問47)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動などの活動については、「行っていない」との回答が139名(46%)と約半数を占めた。前回調査と比較すると、「行っている」との回答が27%から24%と減少しており、活動を行っている人が減っている状況がわかる。

活動する上での課題や問題点としては、無回答に次いで「特になし」が68件で最も多かった。回答数が多かった項目は以下の通りであった。

「身近にできる場所や環境がない」	55件
「お金がかかる」	53件
「情報が不足している」	45件
「移動手段がない」	44件

今後始めてみたい活動については、「旅行」、「ダンス」、「音楽の演奏」、「歌の動画配信」、「地域の行事への参加」などの楽しめる内容への記載の他に、「リハビリ」という医療に関する記載、「学校の部活動でデジタルを使用したデザインやイラストに取り組みたい」など教育における活動の記載も見られた。「何かあるかわからない」という記載もあり、上記の課題や問題点と併せると、希望する活動はあるが、活動の場所や情報、お金や移動手段がないなど、環境が整わず活動できていない状況があることがわかる。

13) 障害のある人もない人も住みやすいまち、について (問48～問50)

帯広市が「障害のある人もない人も住みやすいまちである」と「思う」と回答した人は、「そう思う」「少し思う」を合わせて99名(33%)であった。「どちらともいえない」との回答は71名(24%)であり回答数は最も多かった。「思わない」との回答は、「あまり思わない」「思わない」を合わせて56名(18%)であった。「わからない」との回答も41名(14%)あることから、全体的には住みやすさを実感している人の割合は低いと言える。

障害種別で見ると、「精神」は「そう思う」と回答している人が最も多く、他の種別では「どちらともいえない」と回答している人が最も多かった。

前回調査と比較すると、「少し思う(21%→17%)」の回答率が下がり、「あまり思わない(9%→11%)」「思わない(6%→7%)」「わからない(12%→14%)」の回答率が上がっている。「住みやすいまちである」と思う人が減っている状況がわかる。

住みやすいまちづくりとして「進んでいる」と思うものについて回答が多かった項目は、

「理解促進の教育・広報活動の充実」34件(7%)、「入所施設や病院の充実」33件(6%)、「道路・建物などの整備」32件(6%)、「就労支援の充実」30件(6%)、「地域生活支援の充実」29件(6%)であった。

前回調査と比較すると、前回同様に「理解促進の教育・広報活動の充実」が最も回答が多かった。全体として回答数が減り、また無回答の割合が増えているため、いずれの項目も回答率は減少傾向であった。その中、若干回答率が上がっていた項目は、「道路・建物などの整備(5%→6%)」、「通常学級に通う支援の充実(2%→3%)」、「ボランティアの育成・確保(1%→2%)」であった。

障害種別で見ると、以下の項目の回答が多かった。

「身体」	1) 「理解促進の教育・広報活動の充実」	8件(8%)
	2) 「住宅の整備」	7件(7%)
「知的」	1) 「道路・建物などの整備」	11件(6%)
	1) 「就労支援の充実」	11件(6%)
「精神」	1) 「入所施設や病院の充実」	13件(12%)
	2) 「就労支援の充実」	11件(10%)
「重複」	1) 「理解促進の教育・広報活動の充実」	7件(10%)
	1) 「道路・建物などの整備」	7件(10%)
「児童」	1) 「通常学級に通う支援の充実」	10件(10%)
	2) 「早期発見し適切な支援」	9件(12%)

住みやすいまちづくりとして「今後重点的に進めるべき」と思うものについて回答が多かった項目は、「専門的な人材育成・確保」65件(8%)、「地域生活支援の充実」61件(6%)、「入所施設や病院の充実」56件(7%)、「理解促進の教育・広報活動の充実」53件(7%)、「道路・建物などの整備」51件(7%)であった。

前回調査と比較すると、前回同様に「専門的な人材育成・確保」が最も回答が多かった。回答率が上がっていた項目は5項目あり、「地域生活支援の充実(6%→8%)」、「道路・建物などの整備(6%→7%)」、「入所施設や病院の充実(6%→7%)」、「障害福祉サービスや障害児支援の充実(4%→6%)」、「通常学級に通う支援の充実(1%→2%)」であった。

障害種別で見ると、以下の項目の回答が多かった。

「身体」	1) 「道路・建物などの整備」	16件(10%)
	1) 「入所施設や病院の充実」	16件(10%)
「知的」	1) 「専門的な人材育成・確保」	24件(10%)
	2) 「地域生活支援の充実」	18件(7%)
	2) 「理解促進の教育・広報活動の充実」	18件(7%)
	2) 「理解促進の教育・広報活動の充実」	18件(7%)
「精神」	1) 「地域生活支援の充実」	13件(10%)
	2) 「理解促進の教育・広報活動の充実」	12件(9%)

「重複」	1) 「入所施設や病院の充実」	11件 (11%)
	2) 「専門的な人材育成・確保」	8件 (8%)
「児童」	1) 「地域生活支援の充実」	14件 (11%)
	2) 「専門的な人材育成・確保」	13件 (10%)

住みやすいまちづくりについて、「専門的な人材育成・確保 (5%→3%)」「地域生活支援の充実 (7%→6%)」は「進んでいる」との回答率が下がり、かつ「今後進めるべき」との回答が多いことから、前回調査から継続した課題と言える。

1.4) 障害福祉や行政の取り組みについて (問5.1)

全回答者298名(無回答を除く)のうち34名(11%)の記載があった。障害種別で見ると、「身体」8名(24%)、「知的」9名(26%)、「精神」11名(32%)、「重複」3名(9%)、「児童」3名(9%)であった。

「身体」では、外出時の課題として、歩道の段差や冬場の点字ブロックの除雪など外出が困難になる要因についてあがっていた。

「知的」では、親の高齢化に伴い将来の生活の場についての不安が感じられた。施設の空きがない現状についての意見があげられていた。

「精神」では、障害への理解がないことを感じている意見があった。就労等の活動を行う際にも周囲の理解や病気への不安について、また生活を行うための経済的な不安についての内容があった。

全体として、居住支援についての意見が多く、保証人や緊急連絡先がない、家族と入居できる支援付き住居が欲しいなどの意見もあった。

また、情勢の影響を受け、新型コロナウイルス対策で短期入所が利用できない、物価高により金銭面での支援を希望する意見もあった。

また、本アンケートに対して、「質問が多い、難しい」などの意見が複数あった。

記載された内容を10項目に分け、主だった意見を以下抜粋した。

項目	主な意見
1) 支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスでの外出が大変(支援が足りない、費用がかさむ)。 ・入所施設に空きがなく、かなり待機している。 ・グループホームや賃貸契約等の保証人がいない(家族がいない、頼れる人がいない)。 ・重度障害者が入れるグループホームがなく、安心して暮らせる施設を増やして欲しい。 ・働きづらく、ひきこもりになっていく人が多い。 ・高齢な親との生活と親亡き後の不安がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所がコロナ対策で使えず、安心して預けられる施設がない。緊急時への不安がある。 ・事業所など、気持ちをわかってくれて、助けてくれる所があるといい。
2) 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道をフラットにしてほしい。 ・点字ブロックが冬は見えない。 ・除雪が良くない。
3) 相談支援・情報支援	<ul style="list-style-type: none"> ・割引や無料サービスについてインターネットを通じて教えてほしい。(帯広動物園やバス・映画館など) 情報を教えてもらえると助かる。 ・障害者対応(目、耳、心)の相談員が行政の窓口において、納得がいくまで相談にのってほしい。
4) 障がいや病気の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設での虐待事件を聞くと、弱い立場の障害者を守ってくれる社会であってほしいと思う。 ・障害を持つ人への理解がない。 ・ヘルプマークの理解のためにセミナーや、病院の先生の話を書く機会を作って欲しい。
5) 経済的な心配	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高で生活が苦しい。 ・生活保護、障害年金をあげてほしい。 ・入所できても障害年金だけでは生活できない。 ・介護タクシーが高い。 ・年金者の医療費無料化ができないか。
6) 行政	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者あての郵便物等の配慮してほしい(「障害」と表記しないでほしい)。 ・障害者にやさしい、もう少し働きやすい、暮らしやすい市になってほしい。
7) 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実においては進んでいるとは全く思えない。 ・教育現場との連携を強く要望する。
8) 地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校卒業後は、同年代の人と交流する場がない。
9) アンケート調査全般	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容が難しくよくわからなかった。 ・質問項目が多すぎる。

4. ③お世話をしている人（ケアラー）向け調査
 (1) お世話をしている人（ケアラー）向け調査結果集計表

1. あなたのことについて

問1 あなたの年齢を教えてください。

1	18歳未満	1	1%
	(小学生以下)	0	0%
	(中学生)	1	1%
	(高校生相当年齢以上)	0	0%
2	18-19歳	0	0%
3	20-24歳	3	2%
4	25-29歳	1	1%
5	30-34歳	9	6%
6	35-39歳	10	7%
7	40-44歳	21	14%
8	45-49歳	11	7%
9	50-54歳	20	13%
10	55-59歳	14	9%
11	60-64歳	14	9%
12	65-69歳	17	11%
13	70-74歳	12	8%
14	75-79歳	9	6%
15	80歳以上	6	4%
16	無回答	4	3%
	合計	152	100%

問2 あなたがお世話をしている人から見て、あなたはどのような関係ですか。

※義理の関係なども含む。(いくつでも○)

1	配偶者	22	14%
2	親	84	53%
3	祖父母	0	0%
4	子	31	20%
5	孫	0	0%
6	兄弟姉妹	6	4%
7	親戚	1	1%
8	その他	7	4%
0	無回答	7	4%
	合計	158	100%

問3 あなたがお世話をしている内容を教えてください
 (当てはまる項目すべての回答欄に○)

1	日常生活の介護や介助	73	5%
2	体調の管理	98	7%
3	医療的ケア	7	1%
4	家事の援助	109	8%
5	寝かしつけ	36	3%
6	通院の援助	105	8%
7	通学の送迎または付き添い	50	4%
8	金銭管理	95	7%
9	日常生活の支援	63	5%
10	心の安定	91	7%
11	安全のための見守り	61	5%
12	意思を伝えるための支援	40	3%
13	障害福祉サービスや介護保険医療サービスを利用するための援助	64	5%
14	障害福祉サービスや介護保険・医療サービスなどの利用中の援助	51	4%
15	書類の作成や提出	99	7%
16	趣味や余暇の支援	63	5%
17	散歩の同行	51	4%
18	催し物の同行	54	4%
19	映画館や美術館への同行	45	3%
20	旅行の同行	72	5%
0	無回答	17	1%
	合計	1344	100%

問4 あなたはお世話をどのくらいしていますか。(いずれか1つに○)

1	毎日	105	69%
2	週4～6日	8	5%
3	週2～3日	6	4%
4	週1日	2	1%
5	月2～3日	4	3%
6	その他	6	4%
0	無回答	21	14%
	合計	152	100%

問5 この1か月の中で、お世話をする時間が最も多かった日は、どのくらいの時間(1日の合計)をお世話にかけましたか。(いずれか1つに○)

1	1時間未満	25	16%
2	1時間以上 3時間未満	26	17%
3	3時間以上 6時間未満	18	12%
4	6時間以上 9時間未満	12	8%
5	9時間以上	45	30%
0	無回答	26	17%
	合計	152	100%

問6 あなたに次いで日常的にお世話を分担してくれる人はいますか。
(いずれか1つに○)

1	配偶者	58	38%
2	親	12	8%
3	祖父母	1	1%
4	子	11	7%
5	孫	0	0%
6	兄弟姉妹	7	5%
7	親戚	0	0%
8	その他	6	4%
9	いない	43	28%
0	無回答	14	9%
	合計	152	100%

問7 問6で該当した人の年齢を教えてください。

1	18歳未満	5	5%
	(小学生以下)	3	3%
	(中学生)	2	2%
	(高校生相当年齢以上)	0	0%
2	18-19歳	0	0%
3	20-24歳	2	2%
4	25-29歳	1	1%
5	30-34歳	3	3%
6	35-39歳	6	6%
7	40-44歳	13	12%
8	45-49歳	10	9%
9	50-54歳	4	4%
10	55-59歳	10	9%
11	60-64歳	8	7%
12	65-69歳	10	9%
13	70-74歳	6	6%
14	75-79歳	5	5%
15	80歳以上	6	6%
16	無回答	20	18%
	合計	109	100%

問8 お世話をすることで、あなたの健康状態に以下のようなことはありますか。
(いくつでも○)

1	体調を崩すことがある	41	15%
2	腰痛、腱鞘炎など肉体的疲労がある	32	12%
3	疲れがとれない	57	21%
4	運動不足である	13	5%
5	気分が沈みがちである	24	9%
6	睡眠不足である	27	10%
7	通院するようになった	7	3%
8	持病が悪化した	4	2%
9	お世話で時間がなくなり通院できない	1	0%
10	その他	8	3%
11	特にない	52	20%
0	無回答	0	0%
	合計	266	100%

問9 あなたは自分のための時間（趣味や休息など）を充分にとれていますか。
（いずれか1つに○）

1	とれている	38	25%
2	まあまあとれている	48	32%
3	あまりとれていない	46	30%
4	全くとれていない	7	5%
0	無回答	13	9%
合計		152	100%

問10 お世話をするのであなたの生活に以下のようなことはありますか。
（いずれか1つに○）

1	出費が増えた	47	31%
2	収入が減った	7	5%
3	仕事・学校に行けなくなった（遅刻・早退含む）	7	5%
4	転職・離職・失業（退学）した	5	3%
5	進学・就職をあきらめた	3	2%
6	その他	2	1%
7	特にない	60	39%
0	無回答	21	14%
合計		152	100%

問11 お世話で困ったことや、悩んでいることはありますか。
（5つまで○）

1	自分の心と体の健康	72	17%
2	お世話と仕事（勉学）の両立	32	7%
3	自分の将来が不安	30	7%
4	自分の代わりにお世話をしてくれる人がいない	47	11%
5	障害福祉サービスや介護保険サービスを利用しているが自分の負担が軽くない	11	3%
6	社会参加ができない	7	2%
7	相談する人がいない	15	3%
8	どのようにお世話が必要な人に関わったらよいのかわからない	7	2%
9	習癖等を受け止めきれない時がある	22	5%
10	障害について本人に自覚がない	26	6%
11	お世話が必要な人の心身の状態の悪化	14	3%
12	お世話が必要な人自身の将来	68	16%
13	他の家族のお世話をする時間がとれない	8	2%
14	配偶者や家族・親族の理解や協力が得られない	4	1%
15	配偶者や兄弟姉妹が不安、悩みを抱えている	14	3%
16	利用させたいサービスをお世話が必要な人が望まない	7	2%
17	お世話が必要な人に利用させたい医療サービスや福祉サービスがない	10	2%
18	その他	6	1%
0	無回答	31	7%
合計		431	100%

問12 日ごろの生活や障害のことなどで困ったときあなたは誰に相談しますか。
(いずれか1つに○)

1	家族や親族	71	47%
2	近所の人	0	0%
3	民生委員・児童委員	0	0%
4	知人や友人	8	5%
5	職場の上司や同僚	3	2%
6	市役所や保健所、児童相談所の職員	3	2%
7	病院の医師や看護師	8	5%
8	障害福祉サービス事業所の職員	20	13%
9	相談支援事業所の職員	10	7%
10	保育所・幼稚園・認定こども園の職員	0	0%
11	学校(小・中・高・特別支援学校)	4	3%
12	子育て支援センターやこども発達相談室	0	0%
13	親の会など当事者団体の関係者	0	0%
14	ボランティア	0	0%
15	相談できる人がいない	5	3%
16	相談する人がわからない	2	1%
17	その他	1	1%
0	無回答	17	11%
	合計	152	100%

問13 あなたが地域で生活していく上でどのような相談体制が必要ですか。
(いくつでも○)

1	地域の身近なところで相談できること	48	12%
2	電話、ファクシミリ、メールなどを使って相談できること	22	6%
3	いつでも(24時間)相談できること	26	7%
4	1か所で用件を済ますことができる窓口があること	59	15%
5	障害の特性を理解した専門の相談員に相談できること	71	18%
6	継続的に相談に応じてくれる人がいること	62	16%
7	訪問してもらって相談ができること	25	6%
8	同じ悩みがある人による相談ができること	38	10%
9	わからない	9	2%
10	その他	1	0%
0	無回答	25	6%
	合計	386	100%

2. 社会的な障壁について

問14 帯広市において次の障壁はあると感じていますか。

①物理的な障壁

1	感じている	48	32%
2	感じていない	36	24%
3	どちらともいえない	39	26%
0	無回答	29	19%
合計		152	100%

②制度的な障壁

1	感じている	28	18%
2	感じていない	37	24%
3	どちらともいえない	55	36%
0	無回答	32	21%
合計		152	100%

③文化・情報面の障壁

1	感じている	28	18%
2	感じていない	40	26%
3	どちらともいえない	53	35%
0	無回答	31	20%
合計		152	100%

④意識上の障壁

1	感じている	65	43%
2	感じていない	27	18%
3	どちらともいえない	32	21%
0	無回答	28	18%
合計		152	100%

3. 障害のある人も住みやすいまちについて

問15 帯広市は障害のある人もない人も住みやすいまちだと思いますか。

(いずれか1つに○)

1	そう思う	22	14%
2	少し思う	25	16%
3	どちらともいえない	33	22%
4	あまり思わない	22	14%
5	思わない	15	10%
6	わからない	13	9%
0	無回答	22	14%
合計		152	100%

問16 「進んでいる」または「ある程度進んでいる」と思うもの (回答は5つまで)

1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	16	6%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	11	4%
3	地域で生活するための支援の充実	15	6%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	10	4%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	8	3%
6	入所施設や病院の充実	13	5%
7	就労支援の充実	12	4%
8	障害を早期発見し、適切な支援が受けられること	23	9%
9	障害のあるなしにかかわらず、市民がふれあう場の提供	5	2%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	12	4%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	16	6%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	10	4%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	7	3%
14	悩みや福祉に関わるサービスなどについての相談体制の充実	9	3%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	4	1%
16	ボランティアの育成・確保	1	0%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	17	6%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	3	1%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	2	1%
20	福祉機器を普及・開発すること	0	0%
21	その他	1	0%
0	無回答	75	28%
	合計	270	100%

問17 「今後重点的に進めるべき」と思うもの (回答は5つまで)

1	障害や障害のある人への理解を広めるための教育・広報活動の充実	31	6%
2	障害福祉にかかわる専門的な人材育成・確保	57	12%
3	地域で生活するための支援の充実	38	8%
4	障害のある人に配慮した道路・建物などの整備	19	4%
5	障害のある人に配慮した住宅の整備	15	3%
6	入所施設や病院の充実	44	9%
7	就労支援の充実	36	7%
8	障害を早期発見し、適切な支援が受けられること	12	2%
9	障害のあるなしにかかわらず、市民がふれあう場の提供	12	2%
10	希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実	12	2%
11	学齢期児童に対する放課後活動の場の充実	9	2%
12	緊急通報システムなどの安全支援の充実	14	3%
13	災害時における避難支援体制や訓練の充実	20	4%
14	悩みや福祉に関わるサービスなどについての相談体制の充実	33	7%
15	同じ障害のある人に悩みなどを相談する機会の提供	14	3%
16	ボランティアの育成・確保	11	2%
17	障害福祉サービスや障害児支援の充実	37	8%
18	点字、手話、要約筆記、インターネットなどコミュニケーション支援の充実	6	1%
19	成年後見制度の活用支援など障害のある人の権利擁護の推進	25	5%
20	福祉機器を普及・開発すること	6	1%
21	その他	1	0%
0	無回答	39	8%
	合計	491	100%

4. お世話をしている人（ケアラー）向け調査

<その他記載>

1. あなたのことについて

問2 あなたがお世話をしている人から見て、あなたはどのような関係ですか。

重複	30～34歳	彼氏
身体	75～79歳	一人暮らしです。自立して居ます。
精神	50～54歳	職員
精神	65～69歳	グループホームスタッフ
知的	30～34歳	施設職員
精神	30～34歳	支援者
精神	55～59歳	支援員

問4 あなたは、お世話をどのくらいしていますか。

身体	45～49歳	家庭で高い所の作業本人が体力的に出来ない事のみ
身体	35～39歳	定期的ではない。自分が仕事が休みの時等。
身体	70～74歳	現在までは世話をする状況にはありません
重複	75～79歳	今のところ自分で出来る事は全部してもらっています
重複	70～74歳	一緒に住んでいます

問6 あなたに次いで日常的にお世話を分担してくれる人はいますか。

精神	50～54歳	職員
知的	40～44歳	ホームやケアマネさん
精神	65～69歳	グループホームスタッフ
知的	30～34歳	職員
精神	30～34歳	GHの支援者や管理者・世話人
不明	55～59歳	サービス事業所に行ってる間

問8 お世話をすることで、あなたの健康状態に、以下のようなことはありますか。

精神	80歳以上	自分が世話をできなくなったあとの子供の世話を誰がするのか心配することで常に不安感がある。
知的	60～64歳	精神的な疲れがある
児童	35～39歳	何をやるにもやる気が出ない
知的	80歳以上	高齢である
児童	50～54歳	ストレスが増えた
重複	70～74歳	私が肺癌のため休みながらやっている
児童	40～44歳	通院を考えている
知的	65～69歳	子は自閉症でその日の気持ちの波で世話をする私も影響を受ける。しつこい、わかるように話しても同じことを聞いてきて理解してくれない。私の体調に関係なくそれは日々繰り返されている。

問10 お世話をすることで、あなたの生活に以下のようなことはありましたか。

重複	65～69歳	自分の時間が思うようにとれない
知的	55～59歳	心の余裕がありません

問11 お世話で困ったことや、悩んでいることはありますか。

11-15 配偶者や兄弟姉妹が不安、悩みを抱えている→不安、悩みの内容

知的	65～69歳	将来誰が面倒見るのか？不安がある
身体	35～39歳	お世話レベルが高くなってきている事
重複	50～54歳	息子の送り向かえが車で出来なくなる時
児童	40～44歳	自身のこともしっかりとみてほしい
重複	65～69歳	親がいなくなった後の生活、姉との関わり
重複	60～64歳	1人親、兄弟ナシ
不明	50～54歳	仕事が忙しくてあまり家にいない
精神	65～69歳	将来の事

11-18 その他

不明	25～29歳	金銭的な不安
身体	70～74歳	困ったことや悩んでいることは現在ありません
知的	40～44歳	現在ホーム入居しているため大変助かっています
重複	50～54歳	送り、迎え、弁当がいつまで出来るか心配です。子どもに出来る仕事があれば家から母と暮らしたいと言うのでそのような所があればと思っています。今の所頑張っていますが高齢になりこの先あまり長く出来ないかと心配しています。
不明	50～54歳	用事があっても出られない。コロナのせいもあるけどショートステイ予約してもキャンセルになり全く出られない。祖母も高齢になり預かってもらえないし自分も体調悪くても預ける所もなく、不安しかない。この先不安しなくて子供と一緒に死ぬしかないのかと悪いことを考えてしまう。明るい未来は障害者のいる家庭にはありません。入所は予約した順なのでいつまわってくるかわからずです。
知的	60～64歳	働くことへの相談窓口

問12 日ごろの生活や障害のことなどで困ったとき、あなたは誰に相談しますか。

身体	70～74歳	現在まで特に困った状況にはありません
----	--------	--------------------

問13 あなたが地域で生活していく上で、どのような相談体制が必要ですか。

重複	50～54歳	町内の方が80才以上の人が多く老人会もなくなり私も相談が出来お年の方の家に出去行きお話しして良かったです。コロナになって家から出なく守っていますので早く終わってほしいです。
----	--------	--

3. 障害のある人もない人も住みやすいまちについて

問16 「進んでいる」あるいは「ある程度進んでいる」と思うもの

不明	35～39歳	わかりません。情報入りません。
----	--------	-----------------

<自由記載>

問18 障害福祉や行政の取り組みについてご意見やご要望

不明	35～39歳	何をもちて障害の重さを決めていいのかよく分からない。薬以外病院でもらえる事がない。夜中さわぐ、叫ぶ、壁蹴るなど、相談した時警察を呼ぶしかないとされた。具体的な事は何も教えてもらえないのかと思った。(病院で)相談出来る場所がいまいち分からない。上の子も同じように自閉症スペクトラムと言われたが、手帳ももらえなかった。学校も行かず家にいるのに"困っている様子が見られない"が理由だと。(児童相談所)家にいれば光熱費も食費もかかり朝の行きしぶりで仕事も遅れる。でも困ってないって。子も親もしんどいです。先が見えません。病院でも「学校へ行くようになる薬はないです」と言われる始末。
身体	35～39歳	介護認定を行う際に、世話をしている人の意見も取り入れてほしい。
重複	40～44歳	世帯主が高所得だと障害者になったとき、もしくは子供が障害者な時にかなり金額がかかってしまう(制度を利用しても所得制限が邪魔してます。)しっかりと税金を納め堅実に生活をしていても負担が大きいです。せめて医療費負担を1割で所得制限無しにしてほしいです。
児童	40～44歳	小学校の知的学級に在籍しているが国語の漢字と算数をやるだけで勉強をする機会が少ない。子供は通常学級で理科を勉強したいのだが、通常学級の先生が対応出来ないせいか授業を受ける事が出来なくてとても悲しい。人材育成や人材確保をして、知的学級の子供達がやりたい勉強出来る学校を作りたい。
不明	30～34歳	障害児の子育てをしている母です。出産を機に、以前勤めていた職場を離れ、子どもが1才になる頃にまた転職(再就職)できたら、と思っていた矢先に、出産時の検査で障害(重度)があることがわかり、子どもが2才になった今も、自宅にて子どもと毎日を過ごし、再就職の予定も目途が立たず、このままばかり経っていくのかと不安を感じています。多くを望むつもりは全くありません。ただ、障害児を抱えた母親(父親)の働きにくさ、復帰までのブランク、周囲の協力者の乏しさ(私の場合は夫と義父母がいてくれるので本当に助かっていますが、限界はあります)世帯収入も増やすことが難しく、悩んでいる人達がいることを知っていただきたいと切に願います。
児童	50～54歳	重度障害者が希望する施設に入所できません。施設を増やして下さい。
身体	40～44歳	高齢者又は障害者が金銭の不安なく、安心安全でござせる街づくりにしてほしい。(デイサービスや訪問看護など利用費無料など)介護をしている家族にも一時金などの金銭サポートをしてほしい。本当に生活が困ってる人がいます。働きたくても、介護をしなければならぬ・仕事をセーブしなければならぬ事もあり、生きていくのが不安で、つらい。本当に困ってる人に力になってほしい。宜しくお願いします。
児童	35～39歳	髪を切る場所が少ないのが不便です。どこで切れば良いのか、障害のある人でも嫌な顔せず切ってもらえる所が増えたらいいなと思います。
不明	40～44歳	ケアマネさんが少ない?とこのケアマネさんがいいのか、とどこが空いているのかの情報提供がほしいです。ただケアマネなら誰でも良いわけではなく、質の担保も同時にはかってほしいです。障害を持つ兄弟について～障がいの子に目が行くばかり、障がいのない子への子育てが不安です。おそらくそういう家族は多いと思うので、悩みを共有できるような場所や機会がほしいです。今後親なきあとの子どもの住む場所が心配です。多動なため入所施設を対処させられた人がいると聞きました。重い障がいのある人はどこで暮らせばよいのか不安です。入所施設やGHは足りるのでしょうか?市の広報や福祉課のリーフレットなど、フォントやレイアウトなどは工夫されているのか、とても見やすいです。今後も情報提供 発信(障がいのある人にも伝わるような)工夫を願います。
重複	70～74歳	出来るならば午前だけでなくコロナ前の時間にもどしていただきたい 私にも自由な時がほしいです
身体	60～64歳	障害者に尿取りパット、パンツのサービスをしてもらいたいです。(費用がはんばなくかかるので。)
児童	45～49歳	今後成長に合わせてサービスを利用していきたいが、相談できる事業所に限られる。(受け持ちがいっぱいと断られる)又、放課後デイ等の情報もっと公表して選びやすくして欲しい。リハビリテーションもっと受けさせたいが、小児に対応している所に限られる為利用回数を増やせない。ニーズに応えてもらえない。旭川まで療育を受けに行けないので、帯広でももっと力を入れて欲しい。

身体	70～74歳	<p>子供は重度自閉症の知的障害者ですが、幸いにも帯広市内の指定障害者支援施設に通所という形で毎日お世話になっており、また定期的に相談員の訪問相談を受けており、大変助かっています。さらに通所交通費支援や障害者年金等厚い支援を受けており、個人的には恵まれているほうだと思っています。ただ、最近保育士さんによる児童虐待や道内の知的障害者施設での入所者虐待等をニュースで知り、他人事ではなく心配になります。専門的な教育を受けた国家資格を有する人でさえこのようなことが起りえるわけですので定期的な研修による自覚の再確認や勤務が過剰にならないよう人材の確保等が必要かと思っています。</p>
児童	40～44歳	<p>療育手帳のアプリ化を早期に進めていただきたいです。（使用する時に手帳を見せるのを本人があまり良しとはしないので…。今後自分で使うようになった時にアプリの方がほかから見て違和感を感じないので）。</p> <p>手帳を申請・受け取りの時に対応して下さった方がとても丁寧で良かったのですが、障害者控除の説明をききに行った時の方が「今年のものにはなりません（9月申請、11月に来所しました）」との返答でしたが、会計事務所の方に確認すると控除対象になるとの事で、役所の窓口の方の制度に対する理解はどうなっているのか…と疑問に感じました。お金に関わる事ですので周知の徹底を図っていただきたいです。</p> <p>手帳をいただいている側としては制度と税金をつかわせていただける事にとっても感謝しています。通常の子育てとは違うので苦労する事も多いですが、社会に育てていただいた分、本人も家族も社会貢献できる様努めていきたいと思っています。</p>
児童	40～44歳	<p>障害を持っている人が参加できるもの（講座や習い事等）がすくないので、機会があればと思う。預ける場所もすくなく気軽にりようできないのもっと増えてほしいと思う。</p>
児童	50～54歳	<p>子どもが精神障害者保健福祉手帳を取得し2回目の更新のタイミングにて、今回初めてこの様なアンケートが届き、先に【障害のある人向け】を記載し、【お世話をしている人向け】に着手しました為、同じ様な意見・要望になり、持病の治療の事情により手を酷使出来ない為、手書きではなくこの様な形でご返答させていただきます。</p> <p>障害福祉や行政の取り組みについての要望について</p> <p>1 障害者福祉と教育と保護者を繋ぎ、学びの質の担保を強く要望します。2 行政のたらい回しに、時間が搾取され非常に不合理ですし、関係各所、特に教育委員会との横の連携を強く要望いたします。要望の理由としては、意見と重なりますが以下になります。まずこちらのアンケート自体の問合せ先が【18歳以上の方が障害福祉課】【18歳未満の方は子育て支援課】と、なっておりましたが、【帯広市教育委員会】や【北海道教育委員会】が入っていないのは問題なのではないでしょうか。管轄省庁が違う事もりかいておりましたが、そもそも家庭と教育と福祉の連携に取り組まなければならない時代になっているはずではないのでしょうか。（※家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト～障害のある子と家族をもっと元気に～厚労省・文科省HPより抜粋 尚、帯広市教育委員会には「トライアングル」プロジェクトの窓口は無いとの旨、回答経緯あります）福祉と教育の連携の姿勢だけでも関係各所間で見せていただきたかったと障害のある子の保護者として残念に思いました。特に、前頁3. 障害のある人もない人も住みやすいまちについての問-16及び問-17の回答に対して〈10. 希望すれば通常学級に通うことができるような支援の充実〉とありますが、こちらは〈進んでいる〉あるいは〈ある程度進んでいる〉とは全く思えません。現在小6の我が子は就学当初より特別支援学級在籍の上、交流級（通常学級）で学んでおりましたが、〈10〉の様な体制でサポートを受けている様に見える子たちに支援の人手が取られる事や学校の諸事情により、我が子のサポート迄手が回らず、小5の際に不登校寸前になりました。今年度より特別支援学級の固定クラスに通える事になってからは、殆ど休まずのびのびと登校しております。</p>
児童	50～54歳	<p>（公立の小中学生8.8%に発達障害の可能性 文科省調査より R4/12/13十勝毎日新聞他の記事も参照頂きたいです）【障害のある人向け】の12文化芸術活動、スポーツ、余暇活動についての問47今後、活動を始めてみたいことがあれば、ご回答ください）にも記しましたが、次年度より我が子が中学生になることを受け、部活動でデジタルを使用したイラストやデザインに取り組みたいと考えていますが、学校のwifiの使用が部活動では出来ない等の使用に際しての制限がある様なので困っています。（市教委の規定等で）例えば部活動でiPadやマジックキーボード及びアップルペンシルを使用するのが一番荷物も少なく最適と思われ提案をしましたが、部活では学校wifiを使えないため自身のキャリアのwifiを使うとなれば通信機器扱いになるので持ち込めない等の制限があり、大変残念におもっています。国から配布のchromeブックにつなぐことの可能な液タブを持ち込むなら検討の余地はある様子ですが、学校のwifiが部活動に使用できたらならば障害があっても芸術活動に参加出来るのにと、大変残念な気持ちです。大空義務教育学校には3Dプリンターがある様なので（十勝毎日新聞記事より）デジタル技術を使用した学びという点では大変不公平だと感じます。部活動等でもデジタル媒体を使用したイラスト・デザインの活動が認められる事を希望します。</p>

児童	40～44歳	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時支援の情報が少なく、積極的に取り組んでほしい。 ・1人親等コロナ助成金が何度も支払われているが、重心についても支援をしてほしい。 ・心障者が中学通学時の徒歩が困難時に公共のバス、タクシーの利用等柔軟に対応してほしい。
身体	70～74歳	今は自分の身体がどうなっていくかによってこれからがそばにはいず高齢の母は特老にはいています（色々な人と話をしても最後は私がきめないとならないんだと思います）。
重複	65～69歳	身体的な障害であれば家族や社会からも理解しやすいけれど、精神面での障害は難しいと思います。家庭や職場でうまくコミュニケーションがとれずに苦しんでいても、福祉窓口・病院での診察は壁が高いです。どこに、いつどんな形で相談したらベストなのか「困っている人窓口」的なものが一ヶ所あると良いのでは？と考えます。
知的	55～59歳	子（20代）の面倒みていますが子は元気いっぱいパワフルで50代（親）の私では、体力的にも精神的にもなかなかついていけません。子はしゃべれず、施設等入所できるようなことになっても、満足な世話をしてもらえないか不安でなりません。親としても気持ちが色々ゆらぎます。
不明	50～54歳	障害者のいる家庭はどこにも出かけられなくて、預ける場所がないと同じです。あっても、こちらの希望する日には預けられなく、施設側から一ヶ月のうち1日だけ日にちを決められ、その日に泊まることができますが、それもコロナのせいでキャンセルになり、この3～2年、そんなかんじの生活です。老人施設はたくさんあり、デイサービスにショートステイも充実していて、障害者施設が増えないのはなぜかと思います。親が若い頃は祖母も若くて、何かの時は祖母に預けたりできましたが、親が50才過ぎると祖母は80近くなのでとうてい障害者の孫の面倒など見れる年齢ではありません。そして、50才過ぎると色々、病気も出てくるので通院したり、自分の体の心配をしなくてはなりません。障害者のいる家庭の親が50才過ぎるとかなり家庭での暮らしが大変になって行きます。そーゆー家庭を優先的に施設を利用できるとか、障害の区分（重度）で優先できるとか、決めてほしいと思います。このままだと共倒れで、私は更年期で体の不調を抱えながら恒例の親の心配、障害者の子供の世話、毎日先の心配に頭を抱えながら暮らしています。1日2日、自由な時間が自分にあったとしたら、旅行にも出てみたいですね。体が元気うちに叶うといいなと思うことが夢で終わらないように助けてほしいと思っています。
知的	30～34歳	<p>文章がちょっとややこやくしく何回も読み返したりしました。もう少し、わかりやすく、かんたんをお願いできたらと思います。</p> <p>障害福祉課の方々（電話対応も）がとても話しやすく、ていねいに対応して下さい、以前より（以前も良かったのですが）気持ちが楽に相談できるようになりました。ありがとうございます。</p> <p>・平日は本人も（通所）私も仕事をしておりますので、週一とか月二とかで、夜間体を動かせる軽いゲーム（ポッチャ）とかあるといいなあーと思います。</p>
不明	55～59歳	<p>どの程度の障がい者に聞きたいのかわかりません。字を見ただけでもイヤなのに子供にとってストレスです。</p> <p>子供へのアンケート、障害者にする質問と思えません。意味がわからず質問も多すぎです。紙のムダ使い。集計は誰がするのか？業者に丸投げでは税金のムダ使いです。</p> <p>市役所の人が足を運んで現場を見に行くべき、話を聞くべき、こんな紙じゃダメ！！これ一番！！</p> <p>長くダラダラ質問してもわからないので短く、かんたんに質問するのが大事！枚数が多くて見ただけでイヤになるドン引きです！</p> <p>よく考えて答えやすい様にしてからアンケートをしてほしいです。</p> <p>市としてやってる感だけじゃダメ！</p> <p>事業所の職員の質が悪い！言葉使いだけ良くてダメ！笑顔が大事！</p>
知的	60～64歳	現在通所している施設では、生活介護の賃金が5年前の半分に減らされている。国の補助は変わっていないはずなのに、午後からは余暇活動や時には普通に働いて賃金が出ないこともあるようだ。市役所では、各施設の実態をご存じか？
知的	70～74歳	年末のアンケートは難しいことがある→別の時期に移動してほしい
重複	50～54歳	私自身、車が乗れないので子供が病院を利用したりするときは介護タクシーを使っています。前もって病院受診日はわかっている時は予約できるので良いのですが、子供が急病の場合、介護タクシーも台数も少ない、夜中は電話が繋がらない。たまたま一昨年、昨年夜中急病になった時は主人がいたので大丈夫でしたが、いざというときにいつでも利用できる体制にしておいてくれた安心です。
児童	50～54歳	災害時、一般の避難所に我が子を連れて行く事ができません。大きな声や多動etc他の皆さんのご迷惑になると思うので…。そのような考えを持つお母さんは多いです。この子供が安心して避難できる場所を確保して頂きたいです。

知的	65～69歳	<p>親が子の面倒みられなくなった時安心して暮らせる入所施設を希望します。</p> <p>障害者施設（就労継続支援Bなど）は小さなところがたくさん増えました。（市の監視（？）体制など安心です。）</p> <p>コロナ禍で子の通う施設からも感染状況の文書が来ることがたびたびありました。その時入所している方の負担（外出できない、買い物出来ない、帰省できない）職員の方の負担を（職員さんも感染すると利用者を世話する人が少ない負担増、手がまわらないなど）思いました。専門の方の園外の応援体制があればよいと思った。</p> <p>福祉の方ではいつもお世話になりありがとうございました。</p>
----	--------	--

4. ③お世話をしている人（ケアラー）向け調査

(3) ③お世話をしている人（ケアラー）向け調査

1) 回答者について（調査票：問1～問13）

回答者（お世話をしている人）152名のうち、40～44歳の年齢層の回答が21名（14%）であった。次いで50～54歳の層が20名（13%）であった。40代から60代の間の年齢層が約7割となっている。18歳未満（中学生）1名の回答があり、ヤングケアラーの実態があった。

お世話を受けている人から見た回答者の関係は、「親」が84名（53%）と最も多く、次いで「子」31名（20%）、「配偶者」22名（14%）となっている。

お世話の内容として回答が多かった項目は以下の通りであった。

「家事の援助」	109名（8%）
「通院の援助」	105名（8%）
「書類の作成・提出」	99名（7%）
「体調の管理」	98名（7%）
「金銭管理」	95名（7%）
「心の安定」	91名（7%）

お世話をしている頻度は、回答者の7割が「毎日」と回答しており、さらに一日の「9時間以上」をお世話に費やすこともあると答えた人が45名（30%）いた。

お世話を分担してくれる人については、「配偶者」と回答した人が58名（38%）と最も多かった。「いない」との回答も43名（28%）あり、一人でお世話を担っている人が少なからずいることがわかった。お世話を分担してくれる人の年齢層としては、40代前半が13名（12%）と最も多いが、18歳未満の子どももお世話を分担しているとの回答が5名あり、この問いからもヤングケアラーの実態がわかる。

お世話をしている人の健康状態は、「疲れが取れない」57件（21%）、「体調を崩すことがある」41名（15%）、「腰痛、腱鞘炎など肉体的疲労がある」32件（12%）の回答が多かった。「特にない」との回答も52名（20%）と多かった。

自分のための時間をとれているかとの問いでは、「とれている」と回答した人が86名（57%）と多かった。「とれていない」との回答は53名（35%）であった。

お世話をすることでの生活への変化は、「特にない」60名（39%）が最も多かった。生じた変化としては「出費が増えた」が47名（31%）と多かった。

お世話で困ったことや悩んでいることは、以下の項目の回答数が多かった。

「自分の心と体の健康」	72件（17%）
-------------	----------

「お世話が必要な人自身の将来」	68名 (16%)
「自分の代わりにお世話をしてくれる人がいない」	47名 (11%)
「お世話と仕事（勉学）の両立」	32名 (7%)
「自分の将来が不安」	30名 (7%)

自分の代わりがないことの身体的・精神的負担、お世話を受けている人や自身の将来への不安を感じている回答が多かった。

困ったときの相談先としては、「家族や親族」が71名（47%）と最も多く、次いで「障害福祉サービス事業所の職員（20名（13%）」「相談支援事業所の職員（10名（7%）」の順に回答が多くなっている。「相談する人がいない・わからない」との回答は7名（4%）あった。

希望する相談体制は、以下の項目の回答数が多かった。

「障害の特性を理解した専門の相談員に相談できること」	71件 (18%)
「継続的に相談に応じてくれる人がいること」	62件 (16%)
「1か所で要件をすませることができる窓口があること」	59件 (15%)

相談体制には、「専門性」「継続性」「利便性」が求められている。

2) 社会的な障壁について（調査票：問14）

「④意識的な障壁」を「感じている」と回答した人が65名（43%）と最も多かった。次いで「①物理的な障壁」を感じている人が多かった（48名（32%））。

「②制度的な障壁」「③文化・情報面の障壁」は、「どちらともいえない」「感じていない」との回答が多い。

3) 障害のある人もない人も住みやすいまち、について（調査票：問15～17）

帯広市が「障害のある人もない人も住みやすいまちである」と「思う」と回答した人は、「そう思う」「少し思う」を合わせて47名（30%）であった。「思わない」との回答は、「あまり思わない」「思わない」を合わせて37名（24%）であった。全体的に見ると住みやすいまちと思っている人の方が多いが、「わからない」との回答が13名（9%）あり「どちらともいえない」との回答33名（22%）と合わせると46名（31%）となることから、住みやすいとは言い切れない状況があると言える。

住みやすいまちづくりとして「進んでいる」と思うものについて回答が多かった項目は以下の通りであった。

「障害を早期発見し、適切な支援が受けられること」	23件 (9%)
「障害福祉サービスや障害児支援の充実」	17名 (6%)
「理解促進の教育・広報活動の充実」	16件 (6%)

「学齢期児童に対する放課後活動の場の充実」	16件 (6%)
「地域で生活するための支援の充実」	15件 (6%)

回答が少なかった項目は以下の通りであった。

「福祉機器を普及・開発すること」	0件 (0%)
「ボランティアの育成・確保」	1件 (0%)
「成年後見制度の活用支援など権利擁護の推進」	2件 (1%)
「コミュニケーション支援の充実」	3件 (1%)
「同じ障害のある人に相談する機会の提供」	4件 (1%)

支援や広報活動は進んでいると感じている人が多かった。

住みやすいまちづくりとして「今後重点的に進めるべき」と思うものについて回答が多かった項目は以下の通りであった。

「専門的な人材育成・確保」	57件 (12%)
「入所施設や病院の充実」	44件 (9%)
「地域で生活するための支援の充実」	38件 (8%)
「障害福祉サービスや障害児支援の充実」	37件 (8%)
「就労支援の充実」	36件 (7%)

専門的な人材や支援の充実を望む声が多かった。入所施設や病院の充実を希望する回答も多かった。支援については「進んでいる」との回答が多い一方、「今後進めるべき」との回答も多く、更なる充実が求められていると言える。

4) 障害福祉や行政の取組みについて (問18)

全回答者152名のうち29名(19%)の記載があった。年齢層は、「30歳代」5名、「40歳代」8名、「50歳代」8名、「60歳代」4名、「70歳代」4名であった。お世話を受けている人の障害種別は、「身体」5名、「知的」5名、「重複」4名、「児童」10名、「不明」5名であった。「児童」をお世話している人の回答が多い。

障害のある人をお世話する中で、介護負担や経済的不安を抱えている声が多かった。また、将来の親なき後を不安視する声も多く、全般的に支援の充実を望まれている。

教育については、障害があっても学びを担保できる場を求める声や、障害をもっている人が参加できる講座・習い事や活動・交流の場など地域での活動を希望する声があった。

その他、悩みを共有できる場・機会や、地域の理解促進を求める声があった。

記載された内容を10項目に分け、主だった意見を以下抜粋した。

項目	主な意見
1) 支援の充実	・重度障害者が希望する施設に入所できない。施設を増やしてほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネの質の担保を図ってほしい。 ・コロナの影響で通所時間が減っている。私にも自由な時間が欲しい。 ・小児対応のリハビリが限られ、利用回数を増やせない。 ・将来施設入所できても、満足な支援を受けられるか不安。 ・障がい者のいる家庭は、預ける場所がなく出かけられない。 ・1日2日でも自分の自由な時間が欲しい。 ・事業所の職員の質が悪い。 ・通院に介護タクシーを使っているが、急病の場合に使えない。いざというときにいつでも利用できる体制にしてほしい。
2) 相談支援・情報支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネが少ない。相談できる事業所が限られる。 ・事業所の情報が欲しい。 ・市の広報やリーフレットなど、工夫されていて見やすい。今後も障害のある人にも伝わるような情報提供、発信、工夫を希望する。 ・就学時支援の情報が少ない。 ・福祉窓口、病院での相談はハードルが高い。どこかに1ヶ所困りごと相談窓口があると良い。
3) 障がいや病気の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校も行かず家にいるのに「困っていない」と言われる。子も親もしんどい。 ・障害のある人でも嫌な顔せずに髪を切ってくれるところが増えたらよい。 ・最近の虐待事案は、他人事ではなく心配になる。研修や人材確保が必要。
4) 健康や将来の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・親なき後の子どもの住む場所が心配。重い障害のある人はどこで暮らせば良いのか不安。 ・親が子の面倒を見られなくなった時、安心して暮らせる入所施設を希望する。 ・年を重ねて自分の体調も心配になっている。障害者の子どもの世話、毎日先の心配に頭を抱えている。 ・障害児を抱えた母親（父親）の働きにくさ、復帰までのブランク、周囲の協力者の乏しさ、世帯収入を増やせない…、悩んでいる人達がいることを知ってほしい。
5) 経済的な心配	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費負担が大きい。 ・高齢者又は障害者が金銭の不安なく、安心安全で過ごせるまちづくりをしてほしい。 ・働きたくても介護をしなければならない。生活の不安がある。

6) 災害時の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の避難所では他の人の迷惑になる。安心して避難できる場所を確保してほしい。
7) 行政	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各所、特に教育委員会との横の連携を希望する。 ・市の職員の対応が良く、気持ちが楽に相談できる。
8) 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・知的学級の子どもが学びたい科目を学べていない。子供達がやりたい勉強をできる学校を作ってほしい。 ・福祉と教育と保護者をつなぎ、学びの質の担保を希望。
9) 地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の子に目が行きがちで、兄弟児の子育てが不安。同じ悩みを共有できる場所や機会が欲しい。 ・障害のある人が参加できる講座や習い事等が少ない。 ・仕事を終えた夜間に、体を動かせる軽い運動ができる場があると良い。
10) アンケート調査全般	<ul style="list-style-type: none"> ・文章がわかりづらい。もう少しわかりやすく簡単にしてほしい。 ・紙でなく市の人が足を運んで現場を見て話を聴くべき。